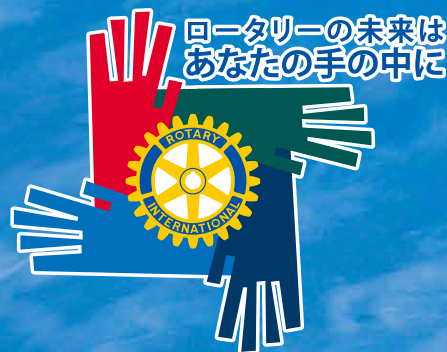


2009～2010

国際ロータリー第2510地区

地区大会 記録誌



開催日 /
2009年 10.3 ± 4 日

ホストクラブ/滝川ロータリークラブ



DISTRICT 2510 of ROTARY INTERNATIONAL



2009.10.3^{sat}・4^{sun}
IN TAKIKAWA

2009～2010 地区大会記録誌

国際ロータリー 第2510地区
2009年10月3日(土)・4日(日)

■国際ロータリー会長メッセージ	1
2009-10年度国際ロータリー会長 ジョン・ケニー	
■国際ロータリー会長代理挨拶	2
RI会長代理 田口 良一	
■ガバナー挨拶	3
第2510地区ガバナー 渡邊 恭久	
■祝 辞	5
RI第3700地区総裁 宋 俊 起	
■来賓挨拶	6
北海道知事 高橋はるみ	
■来賓挨拶	7
滝川市長 田村 弘	
■プロフィール	9
国際ロータリー会長代理・ガバナー・ガバナーエレクト・ガバナーノミニ	
■ホストクラブ会長歓迎の挨拶	12
滝川ロータリークラブ会長 川口 義弘	
■大会実行委員長挨拶	13
大会実行委員長 篠島 弘	
【10/3(土)】	
■会長・幹事会	
ガバナー挨拶	15
第2510地区ガバナー 渡邊 恭久	
RI会長代理挨拶	16
RI会長代理 田口 良一	
地区大会の運営について	20
大会実行委員長 篠島 弘	
報告・協議事項	21
議長 第2510地区ガバナー 渡邊 恭久	
■指導者育成セミナー	
ガバナー挨拶	25
第2510地区ガバナー 渡邊 恭久	
地区研修リーダー挨拶及び講師紹介	26
地区研修リーダー(PG) 塚原 房樹	
ロータリー財団の概要	27
RI日本事務局財団室長 片岡 暎子	
地区財団の現況と今後の諸問題	40
地区ロータリー財団委員長(PG) 岩城 秀晴	
質疑応答	41
謝 辞	49
第2510地区ガバナー 渡邊 恭久	
■RI会長代理歓迎晩餐会	50
晩餐会委員長 松原 章	

【10/4(日)】

■本会議

RI会長メッセージ及び現況報告	64
RI会長代理 田口 良一	
地区現況報告	68
第2510地区ガバナー 渡邊 恭久	
記念講演「あたり前の暮らしを求めて」	71
作家 倉本 聡	
そらぷちキッズキャンプへの支援のお願い	86
第2510地区ガバナー 渡邊 恭久	
ガバナーエレクト挨拶	92
ガバナーエレクト 佐々木正丞	
次期ホストクラブ会長挨拶	92
札幌ロータリークラブ会長 中田 輝夫	
ガバナーノミニ一挨拶	93
ガバナーノミニ一 熊澤 隆樹	
RI会長代理挨拶	93
RI会長代理 田口 良一	

■記念懇親会	94
--------	----

■表彰者名簿	103
--------	-----

■物故会員ご尊名	107
----------	-----

■来賓・招待者ご芳名	108
------------	-----

■特別参加者名簿	109
----------	-----

■地区大会登録者名簿	110
------------	-----

■記念囲碁大会	123
---------	-----

囲碁大会委員長 伊藤 和男

■記念ゴルフ大会	125
----------	-----

ゴルフ大会委員長 佐藤 茂

■スパウス・新世代プログラム	130
----------------	-----

新世代担当委員長 山崎 修

■地区大会資料

地区大会決議	133
--------	-----

地区資金収支決算書	135
-----------	-----

地区資金収支報告・監査報告	140
---------------	-----

地区年次大会収支決算書	141
-------------	-----

地区大会運営委員会役員	142
-------------	-----

地区大会実行委員会	143
-----------	-----

■編集を終えて	144
---------	-----



親愛なるロータリアン、 来賓の皆様へ

2009—10年度国際ロータリー会長

John kenny
ジョン・ケニー



Juneと私から、成功に満ちた素晴らしい地区大会を、心よりお祈り申し上げます。

渡邊恭久ガバナーとRI2510地区大会実行委員会は、ロータリー情報、親睦に基づいたプログラムの準備にご尽力され、喜びを実感されていくことを確信しております。

毎年500以上の地区大会が開催されます。そしてJuneと私は勿論これらの全てに参加を切望しておりますが、ご存じのようにそれは叶いません。そこで私たちはパストガバナーの田口良一・絢子ご夫妻を代理としまして派遣致しました。これを喜んで承諾頂き、御夫妻からのメッセージに感銘されることを確信しております。

私は田口パストガバナーに、本年度私が取り上げました最終的なポリオ撲滅キャンペーン、水、保健飢餓、識字率向上、職業奉仕の再言及、会員増強の支援の重要性を強調するように頼みました。渡邊ガバナーを初めとする第2510地区のロータリアンはこれらに重要な役割を担っています。

これはまさしく「ロータリーの未来はあなたの手に」です。

敬 具



R I 会長代理挨拶

R I 会長代理

田 口 良 一

(第2520地区PG)



日頃敬愛してやまない ガバナー 渡邊 恭久様
北海道知事 高橋はるみ様

滝川市長 田村 弘様

元RI理事 伊藤義郎様

伊藤義郎様には、私がガバナー・ノミニーの時、
米国ナッシュビルで開催されました国際協議会に
おいて、ご懇篤なご指導を頂きました。

遠路お越しく下さいました姉妹地区の韓国・国
際ロータリー第3700地区総裁、宋俊起様はじめ、
多くのご来賓の皆様、地区外からのガバナーご夫
妻様、地区内外のパストガバナーご夫妻様、親愛
なる当地区のロータリアンの皆様とロータリー家
族の皆様

おはようございます。アンニョンハセヨ

ご紹介いただきました盛岡北ロータリークラブ
の田口良一でございます。国際ロータリー第
2520地区、岩手県盛岡市から参りました。

この度、ジョン・ケニー国際ロータリー会長と
令夫人ジューンご夫妻の代理として、大空をグラ
イダーが鳥のように舞う風の街、滝川。歴史と伝
統を誇るこの第2510地区の地区大会に私と妻絢
子が出席できますことは、この上ない光栄に存じ
ます。

滝川市は、私が1926年に生を受け、少年期を
過ごした大変思い出の深いところです。この、我

がふるさとの地における地区大会に、会長代理と
して派遣していただきましたジョン・ケニー国際
ロータリー会長に心から感謝いたします。

また、私たちが温かくお迎えくださいました、
渡邊ガバナーご夫妻、エイドをしていただきます
柳ご夫妻、大会実行委員長・篠島様をはじめ、ホ
ストクラブの滝川ロータリークラブ会長・川口様、
会員に皆様に心より厚く御礼を申し上げます。

ジョン・ケニー国際ロータリー会長は、「ロー
タリーの未来はあなたの手の手に」とテーマを掲
げられました。

それを受け、渡邊ガバナーは、重点目標に難病
の子どもたちに大きな空の下で、生きる希望や喜
びを体験できる「そらぷちキッズキャンプ」を支
援する地区目標を高らかに掲げられました。

すばらしい勇気、決断であります。この計画は、
必ずや、地区の皆さまの支援によって成功するこ
とでしょう。

「環境・人・子どもに目を向けよう」のもと、地
区大会が盛大に開催されますことをご祈念いたし
まして、ご挨拶といたします。

ありがとうございました。



地区大会にあたり

国際ロータリー第2510地区

ガバナー **渡 邊 恭 久**
(滝川RC)



皆様おはようございます。

国際ロータリー第2510地区2009年－2010年度地区大会に、遠くは韓国からそして道内外からたくさんの方達が、滝川の花コスモスが風にそよぎ、そして爽やかな秋の滝川に大勢の皆様がようこそおいで頂きました。ありがとうございます。

この大会の開催にあたり、国際ロータリー会長代理としてジョン・ケニー氏のご出向をお受けになり、ここにご臨席を賜りました田口良一パストガバナーにこの地区大会をご指導頂きますことは、私どもの地区にとりましてこの上もない喜びであり、また誠に光栄なことと存じ、心から歓迎を申し上げます。

ご来賓として、空知支庁長坂井秀利様、滝川市長田村弘様、そして当地区と姉妹関係を結んでもう6年にもなります韓国第3700地区宋俊起総裁を始め、多数の方々のご出席を頂きました。さらに全国各地からここに多数の参加を頂きまして、主催者としてこの上もない光栄と嬉しく思っている次第でございます。

また、大会の記念講演に講師としてお迎えする倉本聡氏は、北海道のこの大地で環境や人、暮らしをテーマに活動されておりまして、当地区の今年度のテーマ「環境、人、子供に目を向けよう」それに繋がるものと確信を致しております。倉本聡氏に講演をお願い申し上げた由縁もそこにあります。ご多忙の中にも関わらず倉本聡氏はお引き受けを頂きまして、本日の講演を頂く訳でありますけれども、その講演の話の中から我々ロータリーの活動に示唆とか或いは感銘を受けるものが多くあると確信し、期待するものであります。

ここで、RI会長代理田口良一パストガバナーのご経歴をご紹介します。

田口良一パストガバナーは大正15年3月、当滝川でお生まれになりました。お家は大変古いお家柄でございまして、滝川の名門であります。三男としてお生まれになり、長じて盛岡では岩手フジカラー株式会社を創業され、更にロータリーでは1960年盛岡北クラブに入会。

1983年にはクラブ会長として、そしてロータリー歴ではマルチプル・ポール・ハリスフェロー、大口寄付者、米山功労者、今回のお役目に当たるR I会長代理を既に3回ご体験され、R I理事指名委員或いは招集者を2回ご体験なさるなど、更にまたゾーンのコーディネーターを過去に5度お勤めになり、正に輝かしいご経歴をお持ちの田口良一パストガバナーであります。当地区が氏の郷土ということもあって殊の外ご関心をお寄せ下さり、昨日は市の五校に教育資金として多額なものを寄付なされるなど、或いはまた地域振興についてこれからもいろいろご助言を頂いているところでもありますし、期待をしているところでもあります。ロータリーは勿論のこと、地域を上げてここにR I会長代理田口良一パストガバナー、絢子令夫人をご歓迎申し上げるものであります。

今年度R I会長ジョン・ケニー氏は「ロータリーの未来はあなたの手に」と我々に呼びかけております。そしてロータリーの先人達は、その時代その時代の奉仕の熱い思いを確実に実践し成果を今日まで繋いで参りました。それは丁度鎖の管で繋がっている鎖で表した強固な歴史であります。我々は更に年度の奉仕の成果を強固な鎖の管として次に繋いでいかなければなりません。「ロータリーの未来

はあなたの手に」であります。私は地区のテーマを「環境、人、子供に目を向けよう」と掲げました。そして、R I会長の7つの重点項目に従って、4つの重点項目を呼びかけております。1つはそらぶちキッズキャンプを支援しよう。2つ目は水、保健、飢餓を支援するWCSを支えるクラブを応援しよう。3つ目にはクラブは会員純増・維持をお願いしたい。4つ目には職業倫理を醸成し職業奉仕に努めよう、であります。

この地区大会でこの重点項目の推進への確認は勿論でありますけども、会員の新たな出会いや友情が一層深まり、実り多い地区大会になることを願っております。

最後になりますがこの地区大会のホストを致しました滝川ロータリークラブを始め、赤平、芦別、砂川ロータリークラブに心から労いとお礼を申し上げご挨拶と致します。

ありがとうございました。



祝 辞



国際ロータリー第3700地区

総裁 宋 俊 起

この度は国際ロータリー第2510地区地区大会にお招き頂き、紅葉日々に増す秋たけなわすがすがしい好季節の時期に、田口良一RI会長代理ご夫妻様、渡邊恭久ガバナーご夫妻様、篠島弘大会実行委員長様始め、多くのロータリアンとそのご家族皆様とお会いできますことは非常に嬉しく甚だ光栄に存じます。

Zone9韓国大邱3700地区全ての会員を代表いたしまして、御地区の大会が滝川にて盛大に開催されますことにお祝いを申し上げます。

2004年10月16日、第2510地区遠藤秀雄ガバナーと3700地区都載旭総裁との間で姉妹提携が結ばれて早くも5年…、毎年地区大会を絶好の機会にと相互親善訪問をして参りました。このような交流が重なる毎に両地区の友好の絆と会員同士の交情が堅固な基盤を築き上げ続けておるのであります。

今年の春4月24日に催しました3700地区大会にも渡邊恭久ガバナー、矢橋温郎直前ガバナー、佐々木正丞ガバナーエレクト、岩城秀晴パストガバナー、酒井正人パストガバナーご夫妻他、地区役員の会

員並びにご家族15名方々のご参席を頂き、お陰様で国際色豊かな大会昇華となりまして、今も尚深く感謝しております。このようなロータリーの友情をより一層深めることで、韓日両国間の国際親善友好関係発展に大きく貢献寄与するものと信じてるのであります。

ジョン・ケニーRI会長は今年度のテーマを『ロータリーの未来はあなたの手の中に』と提唱されました。我々両地区もこのテーマの趣旨に添いまして、国際奉仕共同事業に於いてもボランティア精神と誠実なる心を持って推進を図ることに依って絆をより一層確かなものにして行くことを念願、肝に銘じて居るところでございます。

結びに際し、第2510地区の更なるご発展と会員及びご家族皆様のご健勝とご多幸をお祈りしてお祝いのご挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

祝 辞



北海道知事 高橋 はるみ

皆様、ご紹介頂きました空知支庁長の坂井でございます。今日はお招き頂き大変ありがとうございます。

秋さわやかな青空の広がる本日、国際ロータリー第2510地区の地区大会がこのように盛大に行われることに対しまして心からお祝いを申し上げたいという風に思います。只今ご紹介があったように、高橋知事は所用で出席が叶いませんでしたので、私がメッセージを預かってきておりますので、代読させて頂きたいと存じます。

祝 辞

本日は国際ロータリー第2510地区の地区大会が多くのお客様及び会員の皆様のご参加の下、滝川市で盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。

渡邊ガバナー、川口滝川ロータリークラブ会長、篠島地区大会実行委員長を始め役員並びに会員の皆様には日頃から難病の子供たちへの支援、環境保全などに取り組まれており、その熱意と行動力に対しまして心から敬意を表します。

さて、世界的な経済危機の影響により、今一部に明るい兆しが見え始めてきたものの、本道の経済雇用情勢は依然厳しく、私たちの暮らしや未来に大きな不安をもたらし、地域の活力まで損ねかねない状況となっております。こうした中、道内各地では道民の皆様の弛まぬ努力と果敢な挑戦の積み重ねにより、ものづくり産業や物流機能を活かした関連産業の集積を始め、産商共同による農

林水産業の新たな展開が広がりを見せています。また、地域の課題に自主的、自発的に取り組むNPO等の活動が福祉、環境、教育、街づくりなど様々な分野で展開されており、2510地区の皆様が滝川市内において難病と戦う子供たちの生きる力や希望を育むために建設が進められている自然体験施設そらぶちキッズキャンプへの支援を活動の重点目標とされていることを大変心強く思っております。

道と致しましては道民の皆様と共に手を携え、こうした取り組みを大きく育て、地域の個性が輝く希望に満ちた元気な北海道作りを進めて参りたいと考えています。北海道には恵まれた自然環境、安全で美味しい食、豊富な水や自然エネルギーといった様々な地域資源があります。これらの資源を活用し、個性豊かで活力に満ちた地域社会の実現のためには、地域のリーダーとしてご活躍されているロータリークラブの皆様のお力が今後ますます重要になって参ります。

2510地区の皆様にはこれまで長年受け継いでこられた職業奉仕の精神を一層育まれ、新生北海道の創造に向け、引き続きご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、本大会の成功とお集まりの皆様のご健勝をお祈り申し上げお祝いの言葉と致します。

本日は本当におめでとうございます。

平成21年10月4日 北海道知事 高橋はるみ

代読 空知支庁長 坂井秀利



2009—10年度国際ロータリー 第2510地区地区大会を祝して



滝川市長 田村 弘

皆さんおはようございます。

国際ロータリー第2510地区地区大会。滝川ロータリークラブがホストクラブとして、こうして盛大にこの滝川の地で挙げて頂いておりますことを、市民を代表して心からご歓迎申し上げます。ありがとうございます。

先程のご紹介のように、滝川と深いご縁を頂いておりますR1会長代理田口良一様、令夫人。そして、国内外から或いは道内外から多くの皆様方をお迎えして盛大に開催させて頂いています事を滝川市民も大いに喜びとするところでございます。地方の小都市において、この大イベントが挙行される。こんなに嬉しいことはございませんが、しかし多少のご不便はあったのではないかと。滝川ロータリークラブ一丸となって是非この大会を地元において開催したい大きな夢がありました。同時に、滝川市民も大きな期待を持っておりました。その希望が叶って本当に嬉しく思います。ありがとうございます。

滝川は北海道の町のほとんどがアイヌ語によって由来する地名でありますように、滝のある川ソウラプッチというところから由来しておりますが、空知川の名前も空知支庁の名前も、この滝のある川ソウラプッチに由来しているものであります。来年は、開村120周年を迎えます。この間、先達の大変な努力がありました。この大地に対して大いに夢を持ち、この地域を愛し、そういう血と涙の120年だったという風に思います。私たちは皆様方に力を借りながらこの地域をよりよいものとして高めていく、その責任を感じております。

滝川は先程も映像がありましたけれども、日本一のグライダーの拠点でもありますし、春には菜の花の日本一の真黄色な絨毯が誕生いたします。そしてまた、味付きジンギスカンの発祥の地でもあります。新潟から米作りはどうなっているのかという風に視察をして頂く、北海道の米作りの拠点でもあります。文化勲章の岩橋英遠氏を始めとして多くの芸

術家も輩出致しました。滝川の町にはロータリークラブの心が至るところに現れているという風に思います。この文化センターの会場の前庭にも4つのテストの碑があります。ロータリアンの目で街を見つめて頂いて、何を必要かを見極めて、善意として届ける。大変ありがたいことであります。或いは企業活動を通して社会に懸命な貢献をして頂き引き続き滝川の120年の歴史がそうでありましたように、皆様のお力をお借りしたいという風に思います。

私たちは世界に、そして日本に、或いはわが町に、それぞれの企業に、自分の人生に大きな夢を持って望んできたという風に思います。しかし、それが行動で保障されない限り、夢は単なる夢でしかありません。そらぷちキッズキャンプは大きな夢を持つ数人の皆様方によって企画をされました。10年ほど前、私はその夢を語り合う場にいました。今、そのときを思い出して恥じ入っております。補助金も無い、みんな寄付に委ねなくてはならない、ボランティアをお願いしなくてはいけない、飛行機賃を持ってボランティアに来てくださる、本当にそういう皆様方がこの日本にいるのでしょうか。いたんです。皆様方です。私は思います。そういうものを応援してくださる皆様方は実に日本にたくさんいらっしゃる。日

本は素晴らしい国だということをつくづく思います。

夢が無ければ理想は無い。理想が無ければ目標は無い。目標が無ければ行動は無い。行動が無ければ成果は無い。成果が無ければ喜びは無い。こう語ったのがマラソンランナー谷口博美でございます。大きな夢を皆様方の手で一步一步行動して実現に近づけていく。その新たなエネルギーが本滝川大会を通じて改めて確認が出来ればこんなに素晴らしいことはないと思います。

多忙な日々の中でひと時の滝川ライフをお楽しみ頂ければこれに願う幸せはございません。心から皆様をご歓迎申し上げ大会の成功をお祈りして地元市長としての歓迎の挨拶と致します。

本日はありがとうございます。



国際ロータリー会長代理

プロフィール

RI 会長代理 田口良一
(第2520地区PG)



■氏名：田口 良一

■現住所：盛岡市下米内1-1-26

■生年月日：1926年3月23日

■ロータリー歴

- 1960年12月 盛岡北ロータリークラブ入会
- 1983年 7月 盛岡北ロータリークラブ会長
創立25周年
マルチプル・ポールハリスフェロー
大口寄付者・米山功労者
- 1987年 7月 国際ロータリー第2520地区
(岩手・宮城) ガバナー

■国際ロータリー在日委員

- 1995年 家庭及び社会の関心事項実行グループ
ゾーン1・コーディネーター
- 1996年 新会員教育実行グループ
ゾーン1・コーディネーター
- 1997年 会員教育グループ
ゾーン1・コーディネーター
- 1998年 地域社会考察グループ
ゾーン1・コーディネーター
- 2001年 飢餓追放グループ
ゾーン1・コーディネーター

■国際ロータリー会長代理

- 1988年国際ロータリー第2730地区大会
(鹿児島・宮崎)
- 1995年国際ロータリー第2770地区大会
(埼玉)
- 1996年国際ロータリー第2640地区大会
(大阪)

■理事指名委員

- 1992年国際ロータリー理事指名委員
- 2004年国際ロータリー理事指名委員・招集者

■規定審議会委員

1998年国際ロータリー規定審議会地区代表議員
(ベネズエラ・カラカス)

■経歴

- 1944年 北海道庁立美幌農林学校林科卒業
- 1944年 北海道庁 林政部 就職

■現在

- 1967年 株式会社 岩手フジカラー創立
代表取締役
- 2003年 株式会社 たぐちメデカル創立
代表取締役

■公職歴

- 盛岡地方裁判所 民事調停委員
- 盛岡簡易裁判所 民事調停委員
- 社団法人 岩手県法人会連合会 会長
- 社団法人 盛岡法人会 会長
- 社団法人 盛岡商工会議所 常議員
- 社団法人 岩手県経済同友会 常任理事
- 財団法人 盛岡市国際交流協会 常任理事

■業界歴

- 全国写真材料商組合連合会東北会長
- 全国ラボ協会連合会東北会長

■褒章

- 仙台国税局長表彰
- 国税長官表彰
- 大蔵大臣表彰

■叙勲

- 勲五等双光旭日章

- カナダ・ビクトリア市 名誉市民
- 盛岡市政振興功労者
(姉妹都市) 盛岡・ビクトリア友好協会 会長

家族

妻 絢子

盛岡北ロータリークラブ会員

クラブ会長エレクト

ロータリーの友地区委員

国際ロータリー在日委員 (2006~09)

公共イメージ支援グループゾーン1・

コーディネーター

長男 壮一

職業 たぐち脳神経外科クリニック院長
(脳外科専門医)

盛岡北ロータリークラブ会員

(元ローターアクト)

長女 博子

職業 岩手大学 非常勤講師

(ヴァイオリン科) 元ローターアクト

元国際ロータリーローターアクト委員

(アジア担当)

国際ロータリー第2510地区 ガバナー

プロフィール

ガバナー 渡邊 恭久

(滝川RC)



【経歴】

生年月日：昭和10年4月15日

出生地：北海道滝川市

職業分類：塗装工事

自宅住所：滝川市東町4丁目116番地9

勤務先：株式会社ミクニ舎 取締役会長

最終学歴：北海道学芸大学札幌分校

(現北海道教育大学札幌校)

一類中学課程卒業

【ロータリー歴】

1976年：滝川ロータリークラブ入会

1992年：滝川ロータリークラブ会長

1997年：地区ロータリー財団委員

2000年：第2分区 ガバナー補佐

2000年：地区会員増強委員

2007年：ガバナーノミネー

2008年：ガバナーエレクト

2009年：ガバナー

【称号】

ロータリー財団 (M.P.H.F)

米山功労者マルチプル3回

【主な経歴】

北海道職業訓練審議会 (職業能力開発審議会) 委員を異例の20年。滝川地方高等職業訓練校校長を20年の後、スキルアップセンター空知会長を20年。著書に「匠の系譜」を発刊するなど、職業訓練、人材育成をライフワークとした。

他に滝川市教育委員長。滝川経営者協会会長。滝川音楽協会会長。中空知ソフトテニス連盟会長。

社団法人日本塗装工業会筆頭副会長などを経て現在、滝川商工会議所会頭。



ガバナーエレクト

プロフィール

ガバナーエレクト **佐々木正丞**
(札幌RC)



【経歴】

生年月日：1934年4月21日
出生地：島根県浜田市
職業分類：都市ガス供給
勤務先：北海道ガス株式会社 取締役相談役
最終学歴：横浜国立大学経済学部卒業

【ロータリー歴】

1982年：札幌ロータリークラブ入会
1991～92年度：札幌ロータリークラブ副会長
1998～99年度：札幌ロータリークラブ会長
2008～09年度：ガバナーノミニー
ポール・ハリス・フェロー
米山功労者

【公職等】

北海道経営者協会会長
在札インドネシア共和国名誉領事

ガバナーノミニー

プロフィール

ガバナーノミニー **熊澤 隆樹**
(小樽RC)



【経歴】

生年月日：1940年1月6日
出生地：北海道小樽市
職業分類：歯科補綴
勤務先：医療法人社団 熊澤歯科 理事長
最終学歴：東京医科歯科大学歯学部卒業
東京医科歯科大学大学院終了

【職歴】

1968～69年度 東京医科歯科大学文部教官
1969～87年度 熊澤歯科勤務
1969～99年度 北海道大学歯学部非常勤講師
2001～06年度 小樽歯科衛生士専門学校学校長
2007～現在
1987～現在 医療法人社団熊澤歯科 理事長

【ロータリー歴】

1980年3月 小樽ロータリークラブ入会
1985～86年度 幹事
1989～90年度 地区副幹事
(粉谷ガバナー年度)
1992～93年度 副会長
1996～97年度 地区副幹事
(野口ガバナー年度)
1998～99年度 地区国際奉仕委員
1999～2000年度 地区趣味・職業別
親睦活動委員会副委員長
2004～2005年度 会長

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
米山功労者マルチプル

歓迎の挨拶



滝川ロータリークラブ

会長 川 口 義 弘

2009-2010年度、国際ロータリー第2510地区、地区大会の主管クラブを代表致しまして心より歓迎のご挨拶を申し上げます。本日は、RI会長代理田口良一様ご夫妻をお招きし、北海道知事高橋はるみ様・滝川市長田村弘様、遠くは韓国第3700地区より宋俊起総裁、他地区ガバナー・パストガバナー皆様のご来場をいただき、また地区内外より多くのご登録をいただき、ただただ感謝申し上げます。

当クラブにとりまして、地区大会主管は初めての経験でございます。渡邊ガバナーの指導のもと96名のメンバーが全力で準備致して参りましたが、本日の会場をごらんいただいてもおわかりのように、人口44,000人の当市にとりましてこのように大きな大会を主管するには施設も経験も不足している点が多くございます。又、広い地区の北に立地するという点を考慮させていただき、従来と同じ内容を短時間で効率的にという目標を掲げさせていただき、スムーズ・コンパクト・シンプルな大会運営に努力をさせていただきます。しかし、何

かと不行き届きの点やご移動等のご不便が多々あるかと存じますが、ご容赦下さいますようよろしくお願い申し上げます。

この大会が、本年度国際ロータリーテーマ「ロータリーの未来はあなたの手に」のもと、クラブと御参加していただいたロータリアンの皆様にとりまして、和が更に広がる有意義な大会であることを祈念いたしまして、歓迎と御礼のご挨拶とさせていただきます。



歓迎の挨拶



大会実行委員長 篠 島 弘
(滝川IRC)

2009-2010年度国際ロータリー第2510地区の地区大会開催にあたりご挨拶を申し上げます。

本日はR I 会長代理・田口良一様、絢子様ご夫妻をお迎えし、また、北海道知事高橋はるみ様、滝川市長田村弘様、R I 第3700地区宋俊起総裁をはじめとする韓国の皆様他、地区内外よりガバナー、パストガバナー、インターアクター、ロータリーアクター、交換留学生、ROTEX、米山奨学生、米山学友、RCCそして当地区の会員および御家族の皆様、総勢1,400余名のご出席をいただきR I 第2510地区本年度の地区大会を開催できますことを心より感謝申し上げます。

ジョン・ケニーR I 会長は本年度のテーマを「ロータリーの未来はあなたの手の中に」と掲げられ、これを受け、渡邊恭久ガバナーは「環境・人・子どもに目を向けよう」という基本方針を示されました。この基本方針の下、富良野自然塾を主宰している作家・脚本家・演出家でもある倉本聰氏をお招きして記念講演会を開催いたします。また、配偶者プログラムは、一般財団法人（注：現在は

公益財団法人）そらぷちキッズキャンプを訪問していただき、丸加高原での昼食、コスモス、紅葉、散策を楽しんでいただきます。

今大会については第2510地区第2グループ内では初めて、当然滝川ロータリークラブとしても初めての地区大会開催であります。宿泊設備は少なく、会場の収容人員も限りがあり、また昼食会場に関しましてもご不便をおかけいたしますこと、大変心苦しく感じております。ロータリーの友情と寛容を賜り、ご容赦いただきますようお願いを申し上げます。

最後に、有意義な地区大会とロータリーの発展を祈念いたしまして簡単ではございますが歓迎のご挨拶とさせていただきます。

会長・幹事会

会場／ホテルスエヒロ

		司会：地区代表幹事	神 部 洋 史
12：30	登録受付開始		
13：30	点 鐘	ガバナー	渡 邊 恭 久
	ロータリーソング「奉仕の理想」	ソングリーダー	鷲 尾 昌 法
	R I 会長代理・ご来賓の紹介	ガバナー	渡 邊 恭 久
	ご 挨 拶	ガバナー	渡 邊 恭 久
13：45	R I 会長代理挨拶	R I 会長代理	田 口 良 一 様
14：10	協 議		
	大会決議案上程審議	大会決議委員長	丸 山 淳 士
	大会決議案上程承認	ガバナー	渡 邊 恭 久
	大会運営について	大会実行委員長	篠 島 弘
	2008-09年度決算報告	前年度地区財務委員長	北 島 清
	2008-09年度決算監査報告	パストガバナー	酒 井 正 人
14：30	大会委員会報告		
	大会登録委員会報告	大会登録委員長	矢 橋 温 郎
	大会信任状委員会報告	大会信任状委員長	酒 井 正 人
	大会選挙管理委員会報告	大会選挙管理委員長	塚 原 房 樹
14：45	「そらぷちキッズキャンプ」について	地区社会奉仕委員長	阪 崎 健 治 朗
	点 鐘	ガバナー	渡 邊 恭 久
	諸事お知らせ	大会S A A	石 黒 安 雅





ガバナー挨拶

国際ロータリー第2510地区

ガバナー 渡邊 恭久 (滝川RC)

こんにちは！

第2510地区2009～2010年度地区大会は既に大会記念行事の囲碁大会、ゴルフ大会も終わり、いよいよ公式のプログラムが本日よりの会長幹事会から始まります。

この会議は、地区大会において協議すべきことなどを、たとえば地区内クラブやR I全般に関する問題があればその解決を図って、ロータリーのプログラムを推進することや、規定審議会への提案、前年度の監査済みの財務報告を審議して、あるいは討議し協議をするようにと示されている会議でもあります。

どうぞ、明日の本会議に向けて、よろしくご協議下さいますようお願い致します。

本日は、ご多忙の中この地区大会にご出向下さいました国際ロータリー会長代理 田口良一パストガバナーにはこの会議にもご臨席を賜り、誠に有り難うございます。心からお礼を申し上げ、よろしくご指導を賜りますようお願い致します。

さて私は、7月9日から、地区内73クラブのうち50クラブをカバーし、約70%のクラブ公式訪問が終わりました。2510地区の広さは勿論ですが、それぞれのクラブに味わいがあり有意義な訪問であったと感じております。

これまで、おおよそ60日くらいを使いながら、ガバナー補佐さんに助けられ、行く先々では会長、幹事さん、エレクトの皆さんが暖かく迎えてくださり、お陰で胸襟を開き、十二分にお話を交わす事も出来たと思っています。この場を借りてお



礼を申し上げます。

更に「キッズキャンプの支援」について、ほとんどのクラブが好意的にご理解いただき支援の意思を頂戴出来ましたことはとても有り難いとお礼を申し上げます。

報告については、明日の本会議でお話をしたいと思っていますので、ここでは割愛させていただき、以上を申し上げ、ご挨拶とします。

ありがとうございました。



司会 地区代表幹事 神部洋史

R I 会長代理挨拶

R I 会長代理

田 口 良 一 (第2520地区PG)



渡邊恭久ガバナー パストガバナー様 ガバナーエレクト様 ガバナーノミー様 各地区委員長の皆様 ガバナー補佐、クラブ会長、幹事の皆様こんにちは。ただいま、ご紹介にあずかりました、国際ロータリー第2520地区、盛岡北ロータリークラブの田口良一でございます。

昨日、渡邊ガバナー、柳エイドご夫妻には千歳空港にお迎えいただき、ありがとうございました。

この度、ジョン・ケニー国際ロータリー会長、ジューン夫人の代理と致しまして、大空をグライダーが鳥のように舞う風の街たきかわ、ここ滝川市で開催される地区大会に参加させていただくことになり、大変光栄に存じております。渡邊ガバナーの卓越したリーダーシップと、地区のロータリー諸先輩のご協力の下、今年度、皆様の第2510地区が大きな成果をあげられることを期待しております。この会長・幹事会、地区指導者セミナーは、クラブの枠を超えて、ロータリーに奉

仕するために必要な技能、知識、意欲を持つ地区指導者を育成することを目的に開かれるものです。ご出席の皆様は、このセミナーを受けました後は、それぞれ地区委員・ガバナー補佐・地区ガバナーとして活躍する機会が多くなるでしょう。そして、地区の指導者として成長した後は、さらに国際ロータリーの要職として現在の渡邊ガバナーのように地域のために活躍されることでしょう。皆様の更なるご活躍を心から祈念いたします。

さて、ジョン・ケニー国際ロータリー会長は、今年度のテーマとして「ロータリーの未来はあなたの手に」を掲げました。これについてジョン・ケニー会長は、インド独立の父、マハトマ・ガンジーの言葉「未来は、私たちが現在成すことによって決まる」という言葉を引用しています。言い換えれば、ロータリーの未来は私たちの行動にかかっているということです。

今、世界で起こっているさまざまな出来事を見るにつけ、このときこそロータリアンとしての本来の精神に立ち帰り、ロータリアンとしての仕事に全力を傾けなければならないと思います。国際ロータリーは、確かな未来を築くため、世界中のロータリアンの協力を得て、7つの優先目標を掲げた長期計画を立てています。この計画を、私たちの手によって、いよいよ実行に移すときがやってきたと、しっかりご認識いただきたいと思います。



優先目標は まず、

【ポリオを撲滅する】

果たすべき約束の一番目は、もちろん、ポリオ撲滅です。ポリオ撲滅は、達成されるまでロータリーの最優先事項となります。

【ロータリーに対する内外の認識と公共イメージを高める】

ロータリーはポリオ撲滅のような世界的な奉仕活動をしています。メディアと地域社会に広めて国際的なロータリーの地位を築かなければなりません

【他者に奉仕するロータリーの能力の増大を図る】

四大奉仕部門に沿って、今まで以上に、水、保健、飢餓救済、識字率向上に時間と労力と熱意を捧げましょう。

【質的にも量的にも会員組織を世界的に拡大する】

ポールハリスが初めてロータリークラブを立ち上げた今から104年前のことを思い起こして下さい。親睦と友情を楽しむことが出来る場所作りからスタートしたのです。異業種の人々が集まり、やがて自然の成り行きで奉仕が生まれました。新しい会員を迎えることは、ロータリアンの責務なのです

【ロータリー独特の職業奉仕への取り組みを強調する】

職業倫理は難しいことではありません。一人ひとりが自分の職業に対して高い倫理観を持ち、日々の行いの中で従業員や同僚、顧客にたいしてその模範を示すことです。

【国際ロータリー内の指導的才能を最大限に活用し、育成する】

すべてのロータリアンは職場においては指導

的な立場にある人なので、ロータリーにおいてもその指導力を発揮すべきです。

【組織全体を通じて継続性と一貫性を保つために、長期計画の手順を完全に実施する】

ロータリーの役職は一年で交替します。しかし引き継ぎが大事なことを忘れてはなりません。

以上、7項目について簡単に申し上げましたが、この中で私は特に次の3点について、若干、申し述べさせていただきます。1つは、言うまでもなく、最優先事項である、ポリオの撲滅です。ポリオとは、脊髄性小児麻痺、略して小児まひのことです。日本では1980年、昭和55年に根絶され、一般の人々の記憶からは薄れつつあります。国際ロータリーが、ポリオ撲滅の奉仕事業を決定したのは1985年、昭和60年です。1987年、私のガバナー年度に本格的に募金活動が始まったのですが、最初の頃はまだ理解されず大変苦労しました。1988年、昭和63年には、ポリオ感染者は世界で35万人以上でしたが、昨年2008年には1,650人にまで減りました。常在国は125カ国から、現在4カ国になりました。世界の一人ひとりのロータリアンの活動によって、これまでに世界の20億人以上の子どもたちにワクチンを投与してきたのです。

しかし、世界ではまだ現在も、アフガニスタン、



インド、ナイジェリア、パキスタンで発生しています。実は、根絶されたはずの国に再び流入する兆候があると見られているのです。

国際ロータリーは、南スーダンからエチオピア、ケニア、ウガンダへと飛び火した野生ポリオウイルスの感染を食い止めるための緊急補助金を支給することを承認しました。目標は99%まで達成されました。あともう一步です。ウイルスの新たな発生を食い止めるだけでなく、感染ゼロを目指さなければなりません。第2510地区ロータリアンの皆様の更なるご努力、奉仕の活動をお願いするものであります。

ジョン・ケニーRI会長は、健康や福祉に関しては、子供たち、およびその家族や、それぞれの地域の人々にも広げて活動するようにと、呼びかけています。これに呼応して渡邊ガバナーは、地区の基本方針として「環境・人・子どもに目を向けよう」を掲げられました。そして、小児ガンの子どもに夢や希望をあたえる「そらぶちキッズキャンプ」の建設を支援することを、重点目標として掲げられました。すばらしい勇気、決断であります。この計画は、必ずや、地区の皆さまの支援によって成功することでしょう。

私がここでもう1点、申し上げなければならないのは、職業倫理の問題です。

あえて申し上げるまでもなく、企業経営者によるさまざまな事件が頻発しています。残念なことに、ロータリーのバッジを付けた企業経営者が関与しているケースも少なくありません。先ほど上げました7つの優先項目の中に、職業奉仕への取り組みを強調するとありました。職業倫理への高い水

準を保ち、日々実践することと述べられています。

世の中には人道的な活動に取り組んでいる奉仕団体がたくさんありますが、職業を基盤とした倫理と人道的な奉仕とを車の両輪として同等に重要視している団体はロータリーにおいて他にあまりありません。皆様の胸に付いている歯車のロータリーバッジは、高い職業倫理を掲げている人のバッジです。人のために奉仕をする、そして世界平和の心を持っている人のバッジです。その意味するところをいま一度、確認し、高い倫理観をもって日々行動していただきたいと思います。

それから一つ付け加えますが、会員組織の拡大、ということです。親睦と奉仕活動が活発で、多くの会員が時間と労力を奉仕に費やしている魅力あるクラブ、地域に評判のいいクラブ、地域社会になくはない存在感のあるクラブであることが会員増強に繋がることでしょう。クラブの皆様のさらなるご尽力を賜りたいと存じます。

さて、地区大会が開催されますこの滝川市は、私のふるさとです。私はこの長い歴史を持つ国際ロータリー第2510地区の地区大会に臨むにあたって、少し歴史を紐解いてみました。さまざまなことが判明致しまして、その縁（えにし）の不思議さと言いますか、何か1本の線で結ばれたような歴史を感じたのであります。

北海道で最初のロータリークラブ、札幌ロータリークラブが誕生しましたのが1932年、昭和7年でした。このとき初代会長となったのが北海道帝国大学の総長を務められた佐藤昌介男爵ですが、佐藤男爵は岩手県花巻市の出身であります。佐藤男爵は、日本の第5代ガバナーに選ばれています。言うまでもなく、初代ガバナーは米山梅吉です。



日本のロータリーがまだ全国一地区だった時代で、当時、ガバナーは東京と大阪から交互に選出されるのが恒例であったわけですが、この北海道から選出されたということは画期的なことだったと思います。



この佐藤男爵は、北海道帝国大学の前身、札幌農学校の第1期生で、クラーク博士に学んでいます。札幌農学校で佐藤男爵に続く第2期生に、同じく岩手県出身の新渡戸稲造博士がおられます。博士は盛岡市に生まれ、長じて札幌農学校に学び、同校の教授となりました。

1920年、大正9年から国際連盟事務次長を務め、風雲急を告げる国際状態の中で、「我、太平洋の橋とならん」と、身を挺して国際平和を説き、世界を奔走し、1933年、昭和8年、バンクーバーで開かれた国際会議に出席した後、カナダ・ピクトリア市において亡くなりました。新渡戸博士は人生の半分以上を、奉仕に費やしました。「人のために尽くすことが、この世の中に生まれてきた大きな目的である」と明言しています。新渡戸博士の志、行動は、こんにち我々ロータリアンが目指すものと共通する点があるように思います。

岩手と北海道、この不思議なご縁によって、会

長代理として滝川で開催される地区大会に出席できますことは、私にとりまして無上の喜びであります。

最後になりますが、あなたの胸についているロータリーバッジ、このロータリーバッジの光に頼るのではなく、高い職業倫理の心と、人のために尽くす心と、平和の心を持って、ロータリーのバッジに光を当ててください。

貴方の行動がロータリーのバッジに光を与えるのです。

「ロータリーの未来はあなたの手に」
ご静聴ありがとうございました。



地区大会の運営について

大会実行委員長

篠 島

弘 (滝川IRC)



今大会については、第2510地区第2グループ内では初めて、当然滝川ロータリークラブとしても初めての地区大会開催であります。72クラブより1,460名の登録をいただきました。ここにおられます各クラブの会長、幹事さんには多数の登録にご尽力いただきましたことに深く感謝を申し上げます。

記念囲碁大会は去る9月20日(日)に日本棋院北海道本部囲碁会館に於いて行われ、また昨日10月2日(金)は記念ゴルフ大会が空知カントリークラブで無事終了いたしました。

本日のこの会長・幹事会ならびに午後3時からの地区指導者育成セミナーはこのホテルスエヒロのこの会場で、また今夕、午後6時からのR1会長代理ご夫妻歓迎晩餐会はここから約200m離れた滝川ホテル三浦華園にて行います。

明日10月4日(日)、大会第2日目のプログラムは午前10時、この場所から約800m離れている「たきかわ文化センター」で執り行います。

午前の部の本会議場の座席は例年の如く各クラブ毎に指定してありますので、表示に従ってお座りください。

また、配偶者プログラムは小児がんや心臓疾患などの難病とたたかう子供たちを支援している日本で初めて、そしてアジアで初めての施設、一般財団法人(注：現在は公益財団法人)そらぶちキッズキャンプを訪問していただき、丸加高原での昼食、コスモス、紅葉、散策を楽しんでいただきます。

出発は明日11時30分頃を予定しておりますが、明日改めてご案内をさせていただきます。明日の大会での昼食の件ですが、正午から午後1時半の

間を取っていただきますが、昼食は文化センター内では狭すぎてとれませんし、食べ物を本会場内ですることは禁じられておりますので、バスにて昼食会場へ送迎致します。

昼食をとった後、午後1時30分より大会記念講演会を開催しますが、午後の部の会場座席は自由席とさせていただきますのでご協力の程、よろしくお願いを申し上げます。

講演者は私費を投じ、プロの脚本家と俳優を養成する富良野塾を主宰している作家・脚本家・演出家であります倉本聰氏をお招きしております。「あたり前の暮しを求めて」という演題でお話をされる予定です。

講演会終了後の本会議プログラム終了後、バスにてこのホテルスエヒロに移動していただき、午後4時30分から大会記念懇親会を開催いたします。ホテルは全館貸し切りで、1階、2階、9階の3フロアで分散して行いますが、メイン会場はこの2階になります。

滝川市には大きな建物が無く、各会場間の移動に関しましてご不便をおかけしますこと、大変心苦しく感じております。

また、第2グループの赤平、芦別、砂川ロータリークラブの会員の皆様には明日の午前の部は本会議場ではなく、ロビーでの参加となることに対しお詫びを申し上げますとともに、ご協力をいただけることに深く感謝を申し上げます。

ロータリーの友情と寛容を賜り、ご容赦いただきたく存じます。以上簡単ですが、大会参加のお礼とお願いとのお詫びを申しあげ、今大会の概要について説明をさせていただきました。



■大会委員会報告 議長挨拶

ガバナー 渡 邊 恭 久



ここからの協議と大会委員会報告につきましては、私が議長を務めまして議事を進行いたします。よろしくご協力のほどお願い申し上げます。

これは、明日の大会本会議に上呈するかどうかの審議であります。それでは順次報告をお聴きしまして、決議案などの審議に入ります。



■大会登録委員会報告

大会登録委員長 矢 橋 温 郎



登録委員会から本会議の登録数をご報告申し上げます。登録総数1,477名となりました。

内訳を申し上げますと、

ご 来 賓 4名

地区外会員 10名 ご家族 6名

地区内会員 1,394名 ご家族 11名

青少年交換学生 ROTEX（ローテックス）を合わせて 12名

インターアクター、顧問教師を含めて 9名

ローターアクター 13名

米山奨学生及び米山学友 12名

財団奨学生 4名

苫小牧北RCC 2名

となっております、合計1,477名でございます。以上、ご報告申し上げます。

■大会信任状委員会報告

大会信任状委員長 酒井 正 人



ご指名によりまして、信任状委員会からご報告を申し上げます。
本大会に各クラブより選挙人の信任状の提出をしていただきました。
これを国際ロータリー細則第15条第5節第1項に基づき、慎重審議をいたしました結果、提出されました信任状の選挙人は、いずれも皆適格であることが確認されました。
当地区内のクラブ総数は73クラブ、7月1日現在の会員数は2,700名でございます。
さらに先程申し上げました信任状提出の選挙の数は1,012名でございました。
以上のことが確定致しましたので、ご報告申し上げます。

■大会選挙管理委員会報告

大会選挙管理委員長 塚原 房 樹



大会選挙管理委員会からご報告を申し上げます。
当地区の2010年から2011年のガバナー・エレクトには、札幌ロータリークラブの佐々木正丞（ささきまさつぐ）君が決定しております。
2011年から2012年のガバナー・ノミニーには、小樽ロータリークラブの熊澤隆樹（くまざわ たかき）君が決定しております。
2012年から2013年のガバナー・ノミニーについては、現在、ガバナー月信を通じ12月1日必着で候補者の推薦を依頼しております。
以上、選挙管理委員会からご報告申し上げます。



会長幹事会で報告・協議された内容は、ここに掲載した事項以外に「地区大会決議」と「2008-2009年度地区資金収支決算」について審議され、本会議に上程し承認された。「地区大会決議」と「2008-2009年度地区資金収支決算書」は巻末に資料として収載した。



「そらぷちキッズキャンプ」への支援方法

地区社会奉仕委員会

委員長 阪崎 健治郎



以下の提案はいくつかの例です。クラブ事情に応じ最もふさわしい方法を選択して、支援の輪の中に入れて戴ければ幸いです。

■支援選択の9項目（自由選択）

- ①クラブ会員とそのご家族、さらに社員の方、友人・知人への啓発活動をお願いします。（必要なチラシやポスターなどは地区のホームページをご利用ください）また全国のドラッグストアに置かれる募金箱へ、小口募金の協力などへも支援下さい。
- ②ロータリーのネットワークを用いて地区を越えて関係者への協力のご依頼をお願いします。
- ③クラブ例会やさまざまな活動の場で募金箱を置いて、自主的な小口募金の実行をお願いします。（十分な管理をお忘れなく）
- ④ロータリアンのご家庭、職場に募金箱を置き、一般の方々からのご協力をお願いします。
- ⑤「そらぷちキッズキャンプ」の維持会員としてご登録戴く方法。
（この場合は直接キャンプ側に申込用紙をご請求下さい）
- ⑥「そらぷちキッズキャンプ」へのボランティア登録（実際にキャンプ場に出向く。ただしワーキングの種類などは事前にキャンプ側によく相談の上お決め下さい）
- ⑦クラブ独自で企画し、直接「キャンプ」側に支援金をキャンプ側の口座に送金する方法。
- ⑧その他クラブご自身が考えた自由な方法。
- ⑨感心はあるが当面は支援計画を見送ります。

■展開する上でのお願い事項

- ①すでに具体的な協力項目の9項目（前記）が提示されています。この中からご協力戴く項目をご自由に選択して頂きます。
- ②9項目やクラブ独自でご協力戴くケースの選択は自由です。取組み項目に関する進捗報告は11月と5月を目途に集計を致しますが、それまでは報告の義務はありません。
- ③募金箱による活動に関しては管理上の問題があり、以下のように統一させて頂きます。
募金箱は各クラブでご用意願います。例えばCDが入っていた空のケースや100円ショップで

販売しているような軽便なものが適当かと存じます。お手元にある廃物をご利用頂くのも一つです。

■地区のホームページからの情報取得

- ①募金箱には地区で作成したハガキサイズのシールをダウンロードしてご活用下さい。（ロータリーマーク、地区名入りで、各クラブは、グループ名、クラブ名・管理責任者名および連絡先電話番号を明示して頂けるように製作しています）
- ②この措置はロータリーの責任において実行していることを明示しているもので、関係のない団体や個人に悪用されないように、キャンプ側にさまざまな負担をかけないための措置であることをご理解戴きたいと存じます。
- ③募金の送金はその都度、または11月と5月に地区からお願いをするまでの管理を願います。
- ④ポスターはそらぷちキッズキャンプが作成したオリジナルを基礎とし、募金箱と同様にロータリーマーク、地区・グループ名・管理責任者名および連絡先電話番号を明示出来るものを用意しておりますのでご利用下さい。
- ⑤募金のご送金先は以下の通りです。
お振込先：北洋銀行 滝川支店（店番号061）
普通預金 3940419
RI第2510地区 代表幹事 神部 洋史
（お願い）送金の際には、判別のため送金者のお名前の前に“SSKC”とお入れ下さい。
- ⑥募金箱用シール、ポスターなど一連の資料の入手は地区のホームページをご覧ください。
まず<http://www.ri2510.gr.jp/>を開き、左側サイドの下部にあります「そらぷちキッズキャンプ」の項目を選んで下さい。そこからクリックして必要な資料を取り出して頂けるようにしてあります。募金箱用シール、ポスターなど一連の必要な資料をご自由にプリントして頂くことができます。
- ⑦この事業の連絡先は
rid2510@rotary.gr.jp 地区ガバナー事務所
qqw88e59@ceres.ocn.ne.jp
地区社会奉仕委員長 阪崎 健治郎
<http://www.solaputi.jp/>
そらぷちキッズキャンプのホームページ

指導者育成セミナー

会場／ホテルスエヒロ

司会：地区代表幹事 神部 洋史

15:00	点 鐘	ガバナー	渡 邊 恭 久
	ご 挨拶	ガバナー	渡 邊 恭 久
	講師紹介・主旨説明	地区研修リーダー（PG）	塚 原 房 樹
15:10	基調講演・「ロータリー財団の概要」		
		RI 日本事務局財団室室長	片 岡 暎 子
16:40	地区財団の現況と今後の諸問題		
		地区ロータリー財団委員長（PG）	岩 城 秀 晴
		関係委員長からの質疑と応答（進行）	岩 城 秀 晴
	質 問 者	地区国際親善奨学金委員会 委員長	菅 原 秀 二
		地区財団学友委員会 委員長	斎 藤 博 司
		地区GSE委員会 委員長	沼 舘 菜
		地区補助金委員会 委員長	須 田 義 雄
		地区世界社会奉仕委員会 委員長	出 村 知佳子
	謝 辞	ガバナー	渡 邊 恭 久
17:30	点 鐘	ガバナー	渡 邊 恭 久
	諸事お知らせ	大会SAA	石 黒 安 雅





ガバナー挨拶

国際ロータリー第2510地区

ガバナー 渡邊 恭久 (滝川RC)

ご苦労様です。

先ほどの会長・幹事会に引き続いての会議でお疲れになった方もいらっしゃると思いますが、この先まだまだ続きますので、どうか一つ気を抜かないようにこのセミナーに参加して頂ければというふうに思います。

このセミナーに地区外のパストガバナー、更には地区内のパストガバナーのご臨席を戴きながら、このセミナーを開催させて頂く訳でありますけれども、私が公式訪問で各クラブを回った折に一番質問の多かったのは財団の事とか或いはRIの内容等についてであります。

また委員会の委員長、地区の委員長ともいろいろお話をする機会がありましたけれども、それもやはり財団の仕組み等についての質問が一番多かったようであります。

そのようなことから、この地区大会の指導者育成セミナーには是非財団をテーマに持ちたいというふうに考えておりました。

2017年にロータリー財団が100周年を迎えることとなります。それに備えて新しい時代の財団が継続性と重要性とそして簡素化を目指し、未来の夢計画が昨年来発表されて参りました。

更にそれに加えて世界恐慌とか或いはサブプライムローンによる世界経済の変化が財団のいろいろな仕組みにも影響していったのではないだろうかということが皆さん方の推測でありました。

私どもは財団とそれからRIは指導者の両輪であり、この仕組みをしっかりと理解しないと事業をスムー



ズに実践できないというように気が付いております。

財団についてのセミナーを是非実行してくれというお話があったことから、この指導者育成セミナーについては財団に絞った訳であります。

講師につきましては、日本ロータリー事務局財団室長の片岡暎子女史をお願いするという事は、始めからその気持ち一つでありましたけれども、女史の体調の問題とかいろいろなことがあって、なかなか女史から快諾を得るのに時間がかかりました。

しかし、私の意が通じたのか先達っての会合の折に塚原パストガバナー、岩城パストガバナーのお力をお借りしまして、片岡女史をこの地区大会にお招きすることが出来ました。私もほっとしている一人であります。

どうかこの地区大会における指導者育成セミナーの財団をテーマにした今日のこのセミナーが本当に実りの多いセミナーになることを念じながら開会のご挨拶と致します。ありがとうございました。

指導者育成セミナー 地区研修リーダー挨拶及び講師紹介



今日の基調講演を頂戴いたします片岡暎子氏をご紹介します。思い返しますと、当地区では何遍も片岡さんにはお出でを戴いております。ほとんどの方が片岡さんをご存知だと思います。日本に34地区ありますが、その34地区の中で一番片岡さんにお世話になった、ある意味では一番ご迷惑をおかけした地区、これは私どもの第2510地区ではなかろうかと思えます。

今日は他地区の方もおられますので内輪の恥は申し上げませんが、もうどうにもこうにも困ってならない時、もうこれは片岡さんに神頼みでございます。お願いして何遍救われたことか、今思い出しているところでございます。片岡さんは、今は財団室長でありますけれども、以前は翻訳室の室長を務められておりました、あの難しい手続要覧をずっと翻訳されておりました。

石垣年度だと思えますけれども、その時にお出で戴いたときには翻訳物語ということで手続要覧を翻訳する難しさについて、いろいろなお話を聞いたのを覚えております。いずれに致しましても日本のロータリーを支えてくれた第一人者でおられます。

国際ロータリー第2510地区

研修リーダー 塚原 房 樹

(札幌東RC・PG)

それでは片岡暎子氏のご略歴を紹介致します。

東京大学文学部卒業

1974年 国際ロータリー東京文献事務所に入所
1983年 国際ロータリー日本支局の翻訳室長になる

1984年、1986年、1989年、1992年、1995年、
1998年 手続要覧を翻訳

1999年 日本サービスセンター西日本担当奉仕室長になる

2000年 日本サービスセンター財団室長になる

2001年 川口西ロータリークラブ入会のロータリアンでございます。

ご趣味としましては、日本舞踊藤間流の名取でございます。また常磐津の名取でございます。大分前になりますが、私は片岡さんの素晴らしい踊りを拝見したことがあります。

どうぞ今日は宜しくお願い致します。








ロータリー財団の概要

2009年10月3日
第2510地区指導者育成セミナー
RI日本事務局 片岡暎子


1



ロータリー財団の位置づけ

ロータリー財団の正式名称
国際ロータリーのロータリー財団

2




ロータリー財団

国際ロータリーは米国イリノイ州の下に非営利法人であり、国内歳入法第501項(C)〔4〕の下に非課税の組織

ロータリー財団は同じく米国イリノイ州の下に非営利法人であり、国内歳入法第501項(C)〔3〕の下に非課税の**人道的**組織です。


3



ロータリーの理念

国際ロータリー ロータリー財団

4




国際ロータリー

人頭分担金を集めることができます

ロータリー財団
任意の寄付を集めることができ、米国の寄付者に税制上の優遇措置を与えることができます

5



ロータリー財団の設立

1917年
6人目のRI会長のアーチ・クランフが基金の設立を呼びかける。

『ロータリーが基金を作り、全世界的な規模で慈善、教育、その他社会奉仕の分野で、何かよいことをしようではないか』

6




ロータリー財団の標語

「世界でよいことをしよう」
Doing Good in the world



7



アーチ・クランフ

1989年6月6日－1951年6月3日

ポール・ハリスと同世代で、ポール・ハリスの死の3年半後
82歳の誕生日を迎える直前に亡くなった

貧しい少年時代を送り、事業で成功を収めた立志伝中の人物

8



アーチ・克蘭フ

Thinks Rotary, sleeps Rotary,
and dreams Rotary

寝てもさめてもロータリー、夢を見る
のもロータリー

9



アーチ・克蘭フ

ロータリーの歴史に大きな足跡を残し
ました。

地区ガバナー制度、地区大会
ロータリー・クラブ定款細則の起草

10



アーチ・克蘭フ

われわれはこの財団を今日明日
の時点ではなく、何年、何世代の
尺度で見つめるべきです。なぜな
ら、ロータリーは幾世紀にもわた
る運動だからです。

11



アーチ・克蘭フ

アーチ・克蘭フはロータリー財団
をどう定義しているでしょうか。

生命保険と定義しています

12



ロータリー財団の定義

アーチ・克蘭フは、

ロータリー財団を現在または今後起
りうる非常事態、災害の保険と定義し
ています。

13



年次寄付



毎年
あなたも
100ドルを

14



停滞するロータリー財団

世界恐慌、第2次世界大戦と続きロータ
リー財団は停滞します。

1936年には米貨200万ドルの募金キャン
ペーンが提案されましたが、成功しませ
んでした。1951年にアーチ・克蘭フの亡く
なった年にこの目標を達成できました。

15



ポール・ハリスの死

1947年1月にポール・ハリスが亡くな
ると、全世界がその死を悼み、寄付金
がロータリー財団に寄せられました。
1948年6月30日までに寄付金は100
万ドルに達しました。1947年-48年
には、最初の奨学金が18名に授与さ
れました。

16



財団週間

1956年に11月15日を含む1週間がロータリー財団週間に指定されました。

1988年には11月がロータリー財団月間に指定されました。

17



ポール・ハリス・フェロー

1957年にポール・ハリス・フェローの認証制度スタート、1年目は12名

当時から1,000ドルでポール・ハリス・フェロー

18



奨学金プログラム

奨学金プログラム 1947年に発足
1965年まで唯一のロータリー財団プログラム

1965年
研究グループ交換、
専門的訓練補助金(後の職業研修補助金、奨学金プログラムの一つ)、
ロータリー財団の目的に沿った補助金(後の特別補助金、同額補助金、マッチング・グラント)

19



以後の重要なプログラム

1985年にポリオ・プラス・プログラム(3-Hプログラム)

Corporate Project

2002年に世界平和フェローシップ・プログラム

20



財団プログラム

1947-48年度 奨学金

1965-66年度 研究グループ交換
マッチング・グラント

1984-85年度 ポリオ・プラス

2002-03年度 世界平和フェローシップ

21



ロータリー財団の寄付

皆さまの寄付金



奉仕プロジェクト(ロータリー財団プログラム)

22



寄付金の使い方

追加奨学金(Additional Scholarship)



褒賞枠(Reward Unit)



シェア・システム(Share System)

23



シェア・システム

追加奨学金	口数
褒賞枠	口数
シェア・システム	金額(米貨)

24

シェア・システム

地区の利用できる金額

プログラムの必要金額
 例えば、1学年度奨学金 **US\$25,000**
 3カ月 **US\$12,000**
 6カ月 **US\$19,000**
GSE **US\$13,000**

25

シェア・システム

2009-10 プログラム年度

26

シェア・システム

DDF District Designated Grant
地区財団活動資金
 ロータリー財団の方針にのって、世界のために使われます。

WF World Fund
国際財団活動資金
 ロータリー財団の方針の範囲内で、地区の希望するプログラムに使われます

27

シェアの用例

1983 - 84年度

スケルトンRI会長のテーマ

Share Rotary みんなにロータリーを
Serve People みんなに奉仕を

28

ロータリー年度

7月1日が新年度のため
2009 - 10年度と表記します。

寄付をした年度: 寄付年度
 3年後にプログラムを実施する年度: プログラム年度

2010: 2009 - 10年度を意味します

29

シェア・システムの利点

寄付金を運営費や人件費に使わずに
 ずみます。

30

シェア・システムの利点

地区側から見ますと、財政状況にか
 かわりなく

3年分のDDFを確保できます。

31

第2510地区のDDF

2009 - 10年度	US\$225,962.39
2010 - 11年度	US\$160,696.57
2011 - 12年度	US\$158,038.14

32



国際親善奨学金の所要額

2009－10年度	US\$24,000.00
2010－11年度	US\$25,000.00
2011－12年度	US\$26,000.00

33



第2510地区のDDF

2009－10年度	US\$225,962.39
2010－11年度	US\$160,696.57
2011－12年度	US\$158,038.14

34



DDFの引き落としはいつか

国際親善奨学金	申請書の提出時
マッチング・グラント	申請書の承認時
地区補助金	申請書の承認時
ポリオ・プラスへの寄贈	申請書の提出時

35



DDFの使途の公表

前年度のDDFの使途は地区大会で発表することが義務付けられています。

36



2008－09年度DDFの使途

2005－06年度の年次寄付の50%	US\$169,260.20
2005－06年度末までの恒久基金寄付の収益	3,524.27
前年度の繰越	206,103.56
収入合計	US\$378,888.03
6人分の6ヶ月の文化研修奨学金	US\$75,000.00
1人分のマルチイヤー奨学金	23,000.00
地区補助金	33,000.00
次年度への早期繰越(地区補助金の財源不足のため)	10,000.00
支出合計	141,000.00

37



2008-09 年度DDF残高

残高 US\$237,888.03

マッチング・グラントに活用しますか？
ポリオ・プラスに寄贈しますか

38



運営費の財源

皆さまの**年次寄付**を3年間投資して、その投資収益が**運営費**となります。

ロータリー財団は**運営費**が少ないと言う定評があります。

39



ロータリー財団に対する評価

米国の格付け会社のcharity navigatorによりますと、

ロータリー財団は四つ星
運営費は全支出の6.3%

ライオンズは三つ星
運営費は全支出の8.4%

40

寄付の種類

年次寄付	3年間使わない
恒久基金寄付	元金は使わない
用途指定寄付	必要に応じて使う

41

寄付の種類

	投資収益	シェア・システム
年次寄付	運営費	元金DDF
恒久基金寄付	プログラム	利息DDF
用途指定寄付	投資しない	DDFにならない

42

年次報告

ロータリー財団の年次報告
Annual Report

冊子でもWebでも見ることができます。

43

年次プログラム基金

年次報告の決済報告の右の欄に年次プログラム基金と言う項目があります。

そこにDDFとWFの合計が載っています。

44

年次プログラム基金

	2008年6月末	2009年2月末
DDF	1億7,200万ドル	1億8,200万ドル
WF	1億7,600万ドル	1億300万ドル
投資収益	8,600万ドル	ゼロ

45

DDF

ロータリー財団：地区の指示があつて初めてDDFを使えます。

地区：たとえ有意義な奉仕事業であっても、ロータリー財団のプログラムの上にDDFを使います。

46

ロータリー財団への寄付

寄付総額で見ますと、

2007-08年度 US\$166,099,577
2008-09年度 US\$158,915,949
 前年比**4.32%**の減少です。

日本の寄付

2007-08年度 US\$14,047,656
2008-09年度 US\$15,439,909
 前年比**9.9%**の上昇です。

47

2008-09年度の寄付上位5カ国

国名	寄付総額	1人当たりの寄付
米国	US\$139,178,567	US\$101.10
日本	15,439,909	123.81
韓国	8,555,269	116.18
インド	8,162,486	45.65
ドイツ	7,102,759	75.86

48



第2510地区の寄付

世界の1人当たりの寄付 US\$82.30
 日本の1人当たりの寄付 US\$123.81
 第2510地区の1人当たりの寄付
 US\$116.32

49



ロータリーの2億ドルのチャレンジ

2009年9月22日現在で、現金、DDF、誓約の合計で

米貨9,520万ドル集まりました。

50



DVD The Final Inch

Vermillion Films(ヴァーミリオン・フィルムズ)とGoogle Foundation(グーグル基金)が制作したポリオ撲滅活動に焦点をあてた素晴らしいドキュメンタリーがDVDとして発売されました。これは、インドでの努力を追ったもので、2008年のベストドキュメンタリー(短編)賞にノミネートされた作品です。上映時間は38分、2009年購入分につきましては、購入価格\$7.5のうち\$2がGoogleよりロータリー財団に寄付されることになっています。

51



2007-08年度ロータリー財団の財政

寄付金収入	2億4,570万ドル
投資損失	4,430万ドル
支出	2億4,740万ドル
資産の減少	4,630万ドル

52



2007-08年度投資の内容

	2007-08年度	2006-07年度
現金および短期投資	8,330	2,880
債券	17,350	15,000
株式	37,870	46,810
代替的投資	12,320	9,300
金利分離同意	2,730	2,720

53



ロータリー財団の財政

2009年2月の投資損失
 2億2,200万ドル

4月末で1億8,700万ドルに減少

6月末で1億6,400万ドル(監査前の数字)に減少

ロータリー財団の資産は国際ロータリーの5倍のため、損失も大きくなっています。

54



財団プログラムの変更

地区補助金はDDFを使うので、ロータリー財団の財政危機にかかわらず、使うことができます。

予算も削減されていません。

55



地区補助金

人道的の定義

1. その奉仕活動や寄贈品は、地域でかなえられていないニーズを満たしていますか。
2. 恵まれない人々の役に立ちますか
3. 補助金がなければ、このニーズを満たすことができませんか。

56




プログラム

財団プログラム

- 教育的プログラム
- 人道的プログラム
- ポリオ・プラス・プログラム

57




地区補助金とマッチング・グラントの資格条件の違い

地区補助金の場合、環境保全プロジェクトが人道的に入ります。

植樹
駅前や公園の美化
清掃
講演会

58



地区補助金の例

識字プロジェクト

文字を覚えることは人間らしく暮らすうえで最低限必要なことですので、人道的とみなされます。

59




地区補助金の例

医療器具贈呈プロジェクト

AEDの贈呈など、日本各地で実施されています。

献血キャンペーンも可。

60




地区補助金の例

社会的弱者に便利かな、と言う物品を贈呈するプロジェクト

バスの停留所にベンチを置く

61




地区補助金の例

障害者に役立つプロジェクト

車椅子や杖を市役所や病院に贈る
障害者のためのピクニック

62




地区補助金の例

養護施設に何かを贈るプロジェクト

洗濯機、掃除機、暖房設備、扇風機、ソファ、テレビなどを贈る

63



地区補助金の例

専門職ではないが、職業訓練になるプロジェクト

パソコンを求職者センターや学校に贈ること

64



地区補助金の問題プロジェクト

スポーツ

コンサート

65



ロータリー財団補助金全般

すべてのロータリー財団補助金について共通のこと。
・ロータリー財団または国際ロータリーに補助金授与以外の責任を負わせないこと。

・既に開始したプロジェクトには補助金を授与しないこと。
承認されてから補助金を使うこと。

・ロータリー・マークを適切に使用すること

・Conflict of Interest (利害の衝突)の方針に従うこと

66



Conflict of Interest

1. ロータリアンやロータリー従業員の親族が、国際親善奨学生やGSEのチーム・メンバーになれないこと。
2. ロータリアンが地区補助金やマッチング・グラントの受益者になれないこと。

67



長万部ロータリー・クラブ

公園環境整備の一環として

花時計を設置

68



岩見沢東ロータリー・クラブ

少年サッカー大会の実施

バラの植栽と公園整備事業

69



白老ロータリー・クラブ

桜の苗木植樹

サッカー大会の実施

70



札幌西ロータリー・クラブ

高校へのトロンボーン寄贈

71



札幌南ロータリー・クラブ

高齢者福祉施設に、壁面緑化や平面緑化に効果があるミズゴケリバーウォールを寄贈

72



札幌東ロータリー・クラブ

細菌性髄膜炎の予防のためのヒ
ブワクチン接種促進運動

73



滝川ロータリー・クラブ

難病と闘う子供たちのキャンプ施設
そらぶちキッズキャンプ場の支援

74



千歳セントラル・ロータリー・ クラブ

アイドリング・ストップ推進運動

75



函館北ロータリー・クラブ

青函連絡船海難慰霊碑清掃事業

76



銀行口座

申請の時の銀行口座を変えない
で下さい。

不正行為と思われる。

77



地区補助金

最終報告は出せばよいというものでな
く、ロータリー財団の条件を満たしてい
る報告です。

2010年3月末までに
2008-09年度地区補助金をclosed
2010-11年度地区補助金を申請

2010年5月15日までに
2009-10年度補助金を受領

78



地区補助金

25,001ドル以上の地区補助金の場合

補助金を受け取るために、地区補助金授与計画
(*spending plan*)の提出が必要

今年度の分は早急に提出して下さい。

次年度の方は**2010年6月までに提出して下さい。**

79



最終報告提出率(*World Reporting*)

2009年4月の時点で100 %

80



ロータリー財団の財政の影響(1)

マッチング・グラントの予算を70%削減
2007-08年度 US\$30,361,000
2008-09年度 US\$9,500,000
 追加予算 US\$2,300,000

8月末で予算は枯渇

81



ロータリー財団の財政の影響(2)

パイロット地区を除いて、ロータリー財団プログラムの一部が利用できなくなりました。

マルチイヤー国際親善奨学金
 文化研修国際親善奨学金
 ボランティア奉仕活動補助金
 大学教員のための補助金

82



未来の夢アンケート調査

- 2006年に、あらゆるレベルのロータリアンを対象にアンケートを実施
- オンライン調査に10,000人以上のロータリアンが参加
- 日本のロータリアンからは非常に高い回答率

83



ロータリー財団の使命

ロータリアンが、人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることである



84



パイロット地区とは

2010-2011年度より
新補助金制度が始まります

2013-2014年度より
全世界でスタート

85



パイロット地区

日本では1ゾーン2地区、計6地区がパイロット地区に選ばれています。

第1ゾーン: 第2830地区と第2770地区
 第2ゾーン: 第2580地区と第2760地区
 第3ゾーン: 第2650地区と第2690地区

86



パイロット地区

国	パイロット地区の数
イギリス	4地区
フランス	3地区
インド	7地区
韓国	3地区
米国	22地区

87



パイロット地区

世界の地区は

パイロット地区
 ノンパイロット地区

88

ロータリー財団プログラムの柱

- 国際親善奨学金
- マッチング・グラント(特別補助金)
- GSE

89

未来の夢計画

- 新補助金
 - グローバル補助金
 - 新地区補助金

90

新補助金

- グローバル補助金
 - 新地区補助金
 - 人道的プロジェクト
 - 奨学金
 - 職業研修チーム

91

グローバル補助金

重点分野(areas of focus)

平和と紛争 予防・紛争解決	疾病予防と 治療	水と衛生 設備	母子の保健	基礎教育と 識字率向上	経済開発と 地域開発
------------------	-------------	------------	-------	----------------	---------------

グローバル補助金の種類

- TRF/ISP パッケージ・グラント
- クラブ&地区計画補助金

92

新補助金制度の下では

国際親善奨学金 (Ambassadorial Scholarship)	奨学金 (Scholarship)
マッチング・グラント(特別補 助金、同額補助金) (Matching Grant)	人道的プロジェクト (Humanitarian Project)
GSE (Group Study Exchange)	職業研修チーム (Vocational Training Team)

93

ノンパイロット地区

ノンパイロット地区は

パイロット地区にもノンパイロット地区にも国際親善奨学生を派遣できますし、GSEを行うことができます。但し、マッチング・グラントはノンパイロット地区同士です。

94

日本が派遣する奨学生の減少

2000-01年度 372名の奨学生を海外に派遣

2009-10年度 160名の奨学生を海外に派遣予定

95

日本が派遣する奨学生の減少

理由の一端

- 語学テストが厳しい
- 自分の希望する大学を指定されない
- 奨学金の額が少ない
- その他

96



新補助金

この問題解決を解決できるか。

97



奨学金の場合

語学テストの問題

国内の高校、大学、大学院で学べます。

98



奨学金の場合

指定校制度

廃止されますので、志望校を自由に選べます。

99



国際親善奨学金の所要額

2009－10年度	US\$24,000.00
2010－11年度	US\$25,000.00
2011－12年度	US\$26,000.00

100



奨学金の場合

奨学金の金額

新地区補助金なら、地区の裁量で金額を決めることもできますし、グローバル補助金なら、DDFとWFを組み合わせて2倍にできます。

101



従来補助金とどう違うか

新地区補助金

従来の地区補助金より地区の裁量が増します。

グローバル補助金

従来のマッチング・グラントより手続きが厳しくなります。

102



認証ポイント

2009年7月1日より

100ポイントをミニマムとして移譲することになりました。

亡くなった人の認証ポイントは移譲できません。但し大口寄付者は除く。

103



クレジットカードのロイヤルティ

	発足年度	ロイヤルティ
世界	2000－01年度	650万ドル
日本	2002－03年度	1,600万円

104

地区財団の現況と今後の諸問題

国際ロータリー第2510地区

ロータリー財団委員長 岩城 秀晴

(札幌南RC・PG)

ご紹介頂きました財団委員長の岩城でございます。
札幌南ロータリークラブの所属でございます。

1時間半にわたりまして片岡室長さんのお話を
受けさせて頂きましたが、講師としましては1時
間喋りますと大変なご精力だったと思います。そ
れからまた聴いている方も、初めての方は白紙で
すのでよく解ったと思いますが、2回目の方は少
し解ったような、解らないような感じになるの
ではないかと思いますが本当にお疲れ様でございま
した。

ありがとうございました。

財団というのは、皆様方寄付する方が優先的で
ございまして、11月は財団月間ですが、寄付を
どうするのか、どんな事をやって財団は金を使
っているのかという事につきましては、先ほど1
時間半にわたりまして片岡さんから非常に詳細な
ご説明を戴いた訳であります。

皆様方が何を常に考えていらっしゃるかという
事を地区財団委員長としてお話を承りますと、や
はり財団が今財政的に困っているのではないかと
思います。そして、4,400万ドルものペーパーロ
スと言いながらもロスを出したのではないかと
いう問題を含めて、寄付する意欲が失われたとい
うようなご発言も私は聴いております。それにしても、
やはりどうやって寄付をするか、そしてこの不景
気な北海道から寄付をするかということでござい
ますけれども、先ほどアーチ・クランフさんが仰
っておりました、「寝ても覚めても財団だ」とい



うような考え方もいらっしゃると思いますので、
どうかその辺のところを含めて、今後認識して頂
きたいかなと思っております。また、これから6
人の委員長の皆様方に、常日頃考えていらっしゃる
プログラムにつきまして、片岡さんにご質問と
現状を話しながら、皆様方によく解るように説明
させて頂く事を皆様方に最初に申し上げまして、
財団委員長としての現状と報告にさせていただきます。

ありがとうございました。



質疑応答

質疑応答 - その1

質問者：地区国際親善奨学金委員会
菅原 秀二 委員長



今日は片岡先生の講演をお聴きしまして、国際ロータリーとロータリー財団の違いから始まり、財団の歴史、それからお金の流れ、それから新補助金の形、そういったものについて多様なお話を伺いまして、自分自身の頭の中が整理され、非常に明快になってきたというところでございます。その点に関しまして感謝致したいと思います。ありがとうございました。

当地区は今日のお話にもありましたように、私が地区国際親善奨学金委員会委員長になった最初は2008-09年の奨学生なのですが、文化研修が6名、マルチが1名でした。ところが文化研修の1名が途中辞退しましたので、実際の文化研修は5名、マルチが1名の6名ということになっております。このように1学年度の奨学生がいなかったという年で始まりました。

現在、2009-10年がスタートしております。その形は、文化研修が2名、1学年度が2名、マルチが2名です。

実はマルチが3名だったのですが、行った学生さんがお金を持っていなかったという話がありました。マルチの奨学金というのは2年間ですので、それを半年ずつ4等分にしてお金を渡すようになっております。その学生さんは授業料等を払ったら全然お金がない、持ってきていないという状態で、アメリカから財団室に問い合わせがあり、それから私の方に回ってきてまして、マルチを1年間に変えたらどうか、という提案がございました。1年

間になるとマルチと金額が同じですが、2年間分を1年間で渡すことになり、結果としてお金が2倍になるということなので、財団室の片岡先生にご協力頂きまして、マルチの方を1年に変えて頂いたという経緯がございます。そういったことで、今年度は文化研修2名、1学年度2名、マルチが2名となっております。

2010-11年の奨学生については、募集は例年のように文化研修の3ヶ月、6ヶ月、それから1学年度、マルチと4つの区分で募集しました。ところが上に記載したような、様々な事情がありまして、結局全部1学年度にしなさいと。文化研修とマルチは1年前倒して廃止するという決定がありました。そのために応募された方には大変なご迷惑をおかけしましたけれども、結局全員に1学年度の奨学生でも良いかということを確認した上で、1学年度6名の奨学生を選出いたしました。

文化研修の方はもともと語学研修を希望して応募された訳ですが、いきなり1学年度になってしまいますと、大学院ですから語学のハンデが多々ありまして結構大変だと思います。

現在、大学・大学院への準備をしているところで、かなりハンデがあるのではないかという感じがしておりますので、こちらの方でも支援していきたいと思っております。

これから奨学金は、2013-14年度に新補助金がスタートします。それまでは文化研修やマルチがありませんので、全部1学年度の奨学生として募集するという形になるだろうと思います。

当地区は文化研修の希望者、志望者が結構多い地区です。そのために2013-14年度の新補助金スタートのときに、その辺をどのように活かしていたら良いのか、ということについて質問・ご相談をしたいと思います。

先程の新補助金のお話しの際に、グローバル補助金と新地区補助金の両方から奨学金、及び奨学生を出せるというお話があったと思います。グローバル補助金に関しては、大学院の奨学生であるかと思いますが、その部分と新地区補助金の奨学生は、文化研修でも復活できるだろうと思いますが、それが本当かどうか確認したいところでありませう。

その際に、従来はロータリー奨学金の特徴として、送る方のクラブのカウンセラーと受け入れる側のクラブのカウンセラー、スポンサーとホストのカウンセラーですが、そういったカウンセラーが付いて、抑えすぎない奨学金という形が特徴だった訳ですが、グローバル補助金を使った場合には、従来のように向こうのホストのカウンセラーが付くのかどうかという部分を確認させてください。

それと同時に、新地区補助金を使った場合に奨学生には付かないのかどうか、或いはそういったときに送った地域にどのような接し方をしたら良いのか、その点について質問したいと思います。

まとめますと、

- ・新地区補助金で文化研修が出来るのかどうか。
- ・新地区補助金で文化研修に送る場合に、海外の相手国のホストクラブはスポンサーを付けるのかどうか。その場合、相手国のロータリークラブとどのように付き合うかということ。
- ・グローバル補助金の場合には従来通りホストのクラブにカウンセラーが付くのかどうか。

この3点についてご回答を戴ければこれからの奨学金を作っていく際の参考になりますので宜しくお願いしたいと思います。

回答：片岡暎子財団室長

新地区補助金というのは、奨学金を幅広くして

います。要するに高校生から大学院まで行けます。国の内外も問わない、それから文化研修というのは新地区補助金の中に入っています。ですから、パイロット地区の場合は依然として文化研修もマルチチャーも使えます。

ホストの問題というのは、新地区補助金の下での奨学金ではホストはいません。ですが一応、奨学生を迎えた場合は従来のホストとは違いますが、パンフレットを作って受け入れ側の地区に渡す。その程度です。奨学生というのは派遣側は楽なのですが、受け入れは手間がかかるので大変です。

日本の場合はほとんどが東京に行っているのです。東京の側ですと言語の問題があるので、言葉の出来るロータリアンがホストになるなど、いろいろなことで苦勞しています。他の地区はほとんどが派遣だけなのですが、新地区補助金の場合、両方の役割を派遣側がするので、全く見も知らないところに奨学生を送り出すのが不安だと思った場合は、年齢の高いしっかりした人を選んで、自分一人でも外国でやっていけるような学生さんを選ばないといけないと思います。



ただし、年齢が高ければ良いというものでもありません。ロータリー財団最大の不幸事というのは日本人留学生なのです。パスポート・ビザも切れているのに、アメリカに行ったまま帰ってこないという例もありますので、学力だけではなく生活する力も見極める必要があります。いまパイロ



ット地区になった地区では、姉妹地区に送るのが良いのではないかと考えておりますが、そうすると必ずしも学生の志望校と合わない場合があります。

グローバル補助金の場合はホストカウンセラーが付きますし、今まで通り任命されます。

質疑応答 - その2

質問者：地区財団学友委員会
齋藤博司 委員長



国会答弁ではありませんが、1人3分以内というメモが回ってきましたが、その時間内で質問させていただきます。

丁度、こちらの国際親善奨学金委員会とGSE委員会との狭間に入っている財団学友委員会でございます。ものすごく地味なところでやっているのですけれども、私たちは派遣されたOG、OBの学友達という組織を盛り立てて、なおかつそれをロータリアンの仲間に入れようと浅ましい考えを持っているのですけれども、その中で客観的に私がロータリアンとして見た時に、「ア、米山学友」という風にみなされることがすごく悔しい。こっちとしては、この学友というのは国際的にも認められた国際的な組織の中の一つとして、ロスアンゼルス国際大会でロータリアン財団学友世界大会というのが開かれているにも拘わらず、あんまり目立たない存在です。そういう委員会をどういう風に盛り上げていったら良いかということをお聴きしたいと思います。

回答：片岡暎子財団室長

私たちも、学友からロータリアンになったという人数というデータを掴みたいと思うのですが、

世界の報告は比較あるのですが、日本の場合はうまく報告が取れないのです。多分GSEのチームリーダーは元々ロータリアンなので、日本で報告されている学友でありロータリアンである人というのは、ほとんどGSEのチームリーダーです。最近学友のクラブが出来ましたので、その人達はまた別ですけども、あとは報告がないというのが現状です。ですからデータベースが正確でないのです。

齋藤博司委員長

よく学友とも話すのですが、やっぱりどうしても留学から帰ってきたら、それぞれの現場に行くと尻切れトンボになっている。一生懸命データを集めようと思っても、やっぱり掘り起こすのもプライベートなこともあるから、あまりそれも出来ないというようなことで、今悩んでいます。我々もデータベースを作り始めているんですが、毎回毎回尻切れトンボになっているのが現状です。

片岡暎子財団室長

そうですね。私の地区でもやはり学友が名簿を作ってWEBに載せたら苦情がきたということがありました。住所は入れてないのですけれども、名前だけでやはり想像がついちゃうと、やはり何となくお金を貰って留学したというのが嫌だという学生もいるんですね。

齋藤博司委員長

我々の寄付で成り立ってる訳じゃないですか。

片岡暎子財団室長

私もそう言ったら、そういうこと言うんですかと、憤慨しておりました。

斎藤博司委員長

解りました。ありがとうございました。

質疑応答 — その3

質問者：地区GSE委員会
沼 館 葉 委員長



先程片岡室長のお話を伺いまして、お聴きしようと思っていたことの大半のお答えを戴いてしまいましたので、当地区のGSEの現況でありますとか将来に向けてのGSEの考えなどを少し話させて頂きたいと思えます。

私たちの地区におけますGSE活動は、1970年から71年度にアメリカはアイオワ州の当時597地区への派遣をかわきりに、これまで14回に亘る派遣・受け入れを行ってまいりました。これまでの14回に亘る活動において、総数66名の団員を派遣し、65名の海外からの団員をお受けしております。アメリカ、オーストラリア、カナダ、フィリピン、タイ、マレーシアにおける、それぞれの地区との交換事業において地区の皆様には大変なご支援、ご協力を賜り、心より感謝とお礼を申し上げます。

GSEといえますのはGroup Study Exchangeの略ですが研究グループ交換と日本語では訳されております。すなわち40歳未満のロータリアンではない職業人を他国に派遣して、専門技量の向上、指導力の蓄積を目指すという、ロータリーの真髄でありますところの職業奉仕に真に則った活動でございます。また、他国より若い職業人を受け入れ、ホストファミリーとして、またホストクラブとして彼らの職業的知識の向上に資するための活動を

行うことにより、国際親善活動を地区内に広めるという素晴らしい効果もございます。

現年度は第15回目のGSE活動としまして、スウェーデンの国際ロータリー第2360地区との事業を進めております。これは来年2010年4月に受け入れ、5月に派遣というこれまでにない時期に行うことになっております。現在既に受け入れ業務におきましてコーディネータが輩出され、去る8月に第1回のコーディネータ会が開催されております。今回は当地区としては初めての試みですが、重点的GSEとして、医療・介護・福祉の分野に絞り団員を募集しましたところ、地区内より広く14名の応募者があり、厳正な選考の結果、現在4名が派遣団員としてリーダーの下、熱心に研修を受けております。

明日の地区大会におきましても派遣団員をリーダーと共にご紹介して頂けると思いますが、このような若者が新しい知識を得るために、自らが努力をしている姿を見ることが出来るのもGSE活動の恩恵であると感じております。

現在地区のGSE委員会では私が委員長を務めておりますが、このガバナーを輩出しております滝川ロータリークラブや、ガバナーノミニを輩出されておられます小樽ロータリークラブなどからの委員を含め、総勢10名の委員で運営を行っており、派遣・受け入れに係る業務やその報告の取りまとめなどに多くの時間を費やしております。

今年の7月2日にロータリー財団地域セミナーハンドブックが出され、そこにはGSEの文字は無くなっております。どのような経緯でGSEというものを廃止しますのか、その経緯は解りませんが、その代わりに職業研修チームという新しい事業が提示されております。すなわち職業研修チームは必ずしも交換である必要はない。GSEの



ようにホスト地区がG S Eチームの受け入れ費を持つとは限らない。派遣側が申請時に予算を組んで申請書に明記すればホスト地区での滞在中の費用をグローバル補助金の中から支払うことも可能と説明されており、これを行う条件としましては5つありまして、ちょっと5つ読むと長くなりますので1つだけ言わせて頂きます。

・チームは重点分野の範囲内で自らの職業能力を高めるが、他の人に専門的研修を行うかのいずれでなければならない。

・職業研修チームが明確な目的を持ち持続性のある成果・中期計画を提案するものでなければならない。

・派遣側がチームメンバーを選ぶために委員会を設置する。クラブ継承の場合はクラブ会長が、地区継承の場合は地区ガバナーが委員会を率いる。

・チームの構成につきましては、経験豊富なロータリアンのチームリーダーとロータリアン以外の3人以上のチームメンバーで総数についての上限はない。従来のG S Eのように年齢制限もない。申請者は重点分野の1つに経験や専門知識があることを示し、出来れば重点分野に関連する専門職が事業に雇用されていることが望まれる等々。年齢制限の撤廃や交換である必要はないということで、より専門的な研究を行うことが許されています。しかし交換でなくても良いということは国際親善という観点からは少々効果が薄れることが予想されます。ただ、実際の研修作業をどのように決めるか研修先の地区、すなわちホスト地区の関わりは、どのようなものになるかなど、まだ詳細は解からず今後の情報を待たなければなりません。

国際ロータリーによるプログラムの変更により、当地区のG S E委員会にとりまして、今回R I



2360地区と行う第15回派遣受け入れが最後のG S E活動となります。また次年度以降、委員会の名称も変更となると考えておりますが、これまで派遣してきました64名に、今回派遣します4名を加えた総勢68名のG S E学友とのつながりは今後も消えることはございません。また彼らの一人でも多くがロータリアンとして活動に参加されますよう継続的なつながりを維持することも重要な役割だと考えております。これまで派遣団員のスポンサーとなられました各クラブの皆様におかれましては、是非派遣後の継続的なつながりを大切にして頂き、ロータリー活動への参加を呼びかけて頂きたいと存じます。また、将来職業研修チームを結成していく上で、各クラブによる推薦、スポンサーシップは欠かざる要素でございます。何卒ご支援ご協力のほどを申し上げ、私からの報告とさせていただきます。

回答：片岡暎子財団室長

G S Eはまだ3年間続くので、そのように載っています。3年間続きますからハンドブックにはG S Eが載っています。要するにあと2年間あります。3年間のうち2年間は受け入れと派遣を1年ずつやるというのが基本ですが、もしDDFを使っても良ければ1年でやっても良いんです。受け

入れと派遣の両方を行うことが出来ます。次年度も、次々年度も3年間出来ます。職業研修チームになるのは2013年度からです。G S Eはまだ出来るのです。次年度と次々年度で組み合わせて、派遣と受け入れをするのが基本です。

3年目のものについては、ロータリー財団の財源を見ながら、1年間での派遣と受け入れを認めるかどうかをまだ決めかねているところで、ともかく3年間はG S Eはなくなりません。

2013年の7月から無くなるということです。

沼舘 葉委員長

2011年度ですね、ですから次々年度。次々年度に、例えば受け入れとか派遣とかした場合に、2012年度のガバナーになられる方のOKを戴かないと出来ないという事ですか。

片岡暎子財団室長

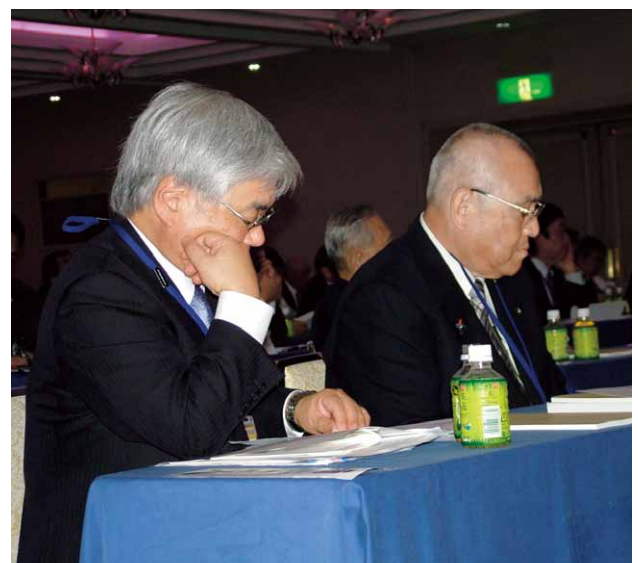
あと3年間ありますよね、G S Eが。今年度を除いてG S Eが3年間あって、3年目の詳細が決まっていないのですけども、次年度と次々年度で派遣と受け入れを行うことが出来るということは決まっているのです。

3年目については財団の予算次第なのです。

にも拘わらず、どのクラブにもその認識がない。使っているクラブは毎年使っているのですが、特に地方なんかは全く申請が無い。私は2年目になりますけれども、去年が厳しくなって、今年は驚くべきことに、その厳しさが更に増した状況です。

それで皆さんに出すのは非常に簡単ですから、審査して有効に使ってください、と言いましたら、皆から文句が来る訳ですね。そして、結局何も使えないという状況になって来ています。

今年特に変わったことは、今年度から地区補助金授与計画に名前がない人だと地区補助金が受けられないと、ということになりまして、そのことを含めて73の全クラブに流しました。そのことを言って是非、補助金を完全に申請する前に、その意思があるかどうかだけを伝えるということでありました。73クラブ中17クラブの回答がございまして、それにまた説明しましたら、今日現在でも8クラブしか申請書が来ていない。それで毎年、31,000ドル戴いていますけれど、これを本当に有効に余さないで使うという方法をぜひ教えてほしいと思います。



質疑応答 - その4

質問者：地区補助金委員会
須田 義雄 委員長



地区補助金を担当しております札幌南ロータリークラブの須田です。手短にということでございますので、私が1番疑問に思っていることですが、地区補助金という、こんな良い立派な制度がある



回答：片岡暎子財団室長

地区によっては、足りないというところもあるのです。地区補助金例えばマッチング・グラントを経験した人は解かると思うのですが、地区補助金というのはマッチング・グラントに比べて、手続が非常に簡略化されていて、簡単に補助金が貰えるのです。ですから皆さんの立場からすると、例えば町の中を歩いていて困っていきそうな人がいたならば、それを助ける方法は何かということを考えてそれを書くだけなんです。そして自分が絶対良いプロジェクトだと信じたならば、それを書けば余りルールはいらないのです。要するに私なんか読んで、また食事だけかと思わせないで、これは良いプロジェクトだと私たちに思わせてくだされば、私たちも本部と戦えるわけです。

これは良いプロジェクトではないかと。ですから、まず良いプロジェクトを。なるべく一般では手の届かないところで、ロータリーだからこそ手の届くプロジェクトを選んでくれれば良いと思うのです。

日本は人道的プロジェクトを探すのが下手だと本部の職員によく言われます。

上野駅のあたりにホームレスがいっぱい居るじゃないかと、なんでああいうところを救うプロジェクトをしないのかと言われます。

私はテレビを見ていますと、困っている人がたくさんいるのに、そういう人達に手を差し伸べて職業訓練でも良いのですが、手を差し伸べるプロジェクトは出来ないのかな、と思います。

食事はいけないと言いますが、一人暮らしの高齢者に食事を届ける、とかのプロジェクトは良いわけです。ですから人道的というのは人の役に立つことと考えれば、いっぱいあるかなと私個人としては思っています。



須田義雄委員長

報告書について昨年度の10例についての解析、ご教授を戴き、しかもご配慮戴きまして、そこで感じたことは、要するに文章は人道的ということのポイントにして出す。スポンサー以外にも高齢者とか障害者とかに焦点を合わせると通るという事ですか。

そういうことですよ、皆さん。

ですから、是非それに焦点を合わせて、これから申請しても間に合うのでしょうか。よろしいですか。

片岡暎子財団室長

原則としては優秀な人の優秀性を伸ばすのではなくて、むしろ優秀でない人をなんとか生活を出来るようにするという事です。皆さんは優秀でそういう気持ちが多分解からないのではないかなと思うのですけれども、成績のいい子、スポーツ能力の優れている子をもっと伸ばそうとするよりも、無い人のことを、スポーツしたくても出来ないような人たちに何かさせてあげるといように発想を逆にすれば良いのではないかと思います。

それならスポーツ大会はスポーツ大会で良いのですけれども、スポーツ大会を目的にしないでスポーツ大会を手段にする工夫、そういう風に行けば良い訳です。

質疑応答 — その5

質問者：地区世界社会奉仕委員会
出村 知佳子 委員長



マッチング・グラントについての現況は、先程片岡室長の方からお話がありましたが、今年度は3340地区・3400地区での子供たちに対する医事事業のご意見、ご承認を戴いたということで、その後すぐに財団の資金の潤滑の連絡が入りましたので、一先ずはラッキーだったと思っております。今アグリーメントの提出を見ましたので、事業開始を待っている状況でございます。

質問は一つだけですが、次年度以降パイロット地区とノンパイロット地区のマッチング・グラントが出来ない形になりますが、先日の変更でノンパイロット地区のDDFをパイロット地区に対して使用できるということは、出来ないのですか。

次年度以降はそのノンパイロット地区とパイロット地区での事業というのは基本的にはどうなるのでしょうか。

回答：片岡暎子財団室長

奨学金や別の形の何かで派遣したり、GSEの職業研修も受け入れたり出来るのですけれども、マッチング・グラントや、グローバル補助金については、要するに未来の夢の成果というものを測りたいのです。その測る手段というのがお金なのです。ですから未来の夢計画のグローバル補助金では、これだけのDDFを使ったとって言うのが、ノンパイロット地区のDDFが入ると、計算が難しいというのが1つの理由です。

新しい新地区補助金ですと、例えばパイロット地区がノンパイロット地区に援助したりすることは出来ます。





謝 辞

国際ロータリー第2510地区

ガバナー 渡 邊 恭 久

聴講された会長幹事の皆さん、大変お疲れ様でございました。

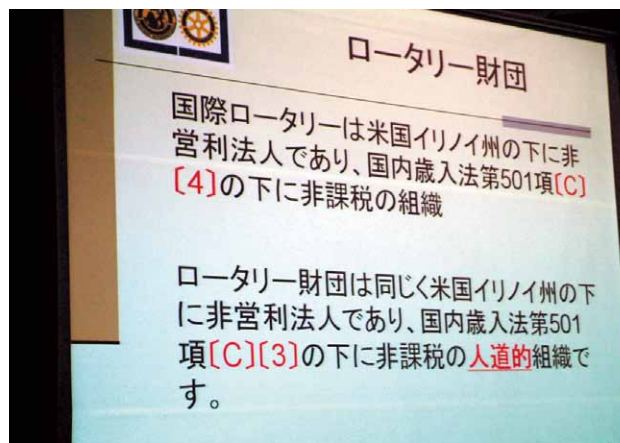
先程来1時間半に亘る片岡女史の講演。105頁のパワーポイントをお作りになって頂きました。非常に難解な話を具体的でかつまた論理的で、しっかりとしたお話を頂戴致しまして、解かった方は良く解かったのではないかなという風に思いますし、静かなざわめきもそれから話し声も聞こえておりませんでした。お疲れになった方はお疲れになったままであったのかなと、そんな想像をしております。ともあれ、この財団の問題について片岡女史にここに来て戴く事は非常に歴史的なことになるだろう、そんな風に思っております。

今年の11月で定年退職なさるというお話でございしますが、先程のお話にもありましたように、どうか退職金が全額支給されることを心から念じたい、そんな風に思っております。

当第2510地区はDDFを使うのが非常に消極的だというお話を頂戴しました。伺いますと、残高が2,000万円近くあるというお話であります。私の後ろの方におりましたパストガバナーも「是非積極的に使わなきゃダメだよ。」「ポリオなんかには是非使った方が良くはないかな。」というようなお話も頂きました。私もそのように思っております。財団の金を使わないと、財団の仕組みが理解できないという片岡女史のお話もありました。積極的に理解するためにも使っていきたい。そんな風に思っております。

いずれにせよ、本当に長い昼からのセミナー、

そして会長幹事会でもございました。大変お疲れ様と申し上げてセミナーを閉じたいと思います。お疲れ様でした。



晩 餐 会

国際ロータリー会長代理 ご夫妻 歓迎晩餐会

2009年10月3日(土) 18:00 於 滝川ホテル 三浦華園「オーロラ」

式 次 第

17:45	オープニング	弦楽四重奏 演奏開始	札幌交響楽団員
17:59	国際ロータリー会長代理 ご夫妻入場		
18:00	開 会		
	国歌斉唱	韓国国歌 日本国歌	
	来賓紹介・歓迎ご挨拶	国際ロータリー第2510地区ガバナー	渡 邊 恭 久
	来 賓 挨 拶	国際ロータリー会長代理 国際ロータリー第3700地区 総裁	田 口 良 一 様 宋 俊 起 様
	乾 杯	国際ロータリー第2510地区ガバナーエレクト	佐々木 正 丞
	開 宴		
	音楽の調べ	弦楽四重奏	札幌交響楽団員
19:40	閉会挨拶	国際ロータリー第2510地区ガバナーノミニ 「手に手つないで」	熊 澤 隆 樹 ソングリーダー 鷲 尾 昌 法





国際ロータリー会長代理ご夫妻歓迎晩餐会

2009年10月3日 滝川ホテル三浦華園「オーロラ・ホール」

晩餐会委員長 松原章

田口良一RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会は、場所を滝川ホテル三浦華園に移して開催された。

ロータリー旗の両脇に韓国と日本の国旗がメインステージに配置され、田口良一RI会長代理ご夫妻が参加者全員の万雷の拍手に迎えられてご入場された。

最初に韓国国歌そして君が代を斉唱したが、音の出だしに不手際があり、遠路韓国からご参加された宋総裁をはじめとするRI第3700地区の皆さま方にご迷惑をお掛けしたことをお詫びする。

さて、渡邊ガバナーによるご来賓の紹介と挨拶で始まり、続いて田口RI会長代理のウィットに富んだスピーチを戴いた。またご同行された田口ファミリーとご友人の方々のご紹介があった。次い

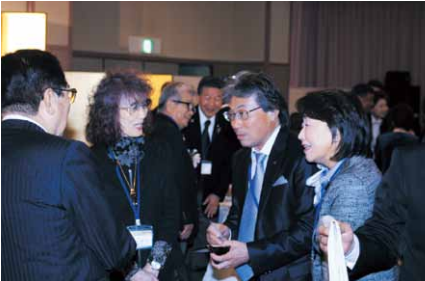
でRI第3700地区宋総裁（ガバナー）のスピーチを崔研修リーダーの流暢な日本語訳で翻訳された。

宴は佐々木ガバナーエレクトの乾杯の音頭で開始となり歓談となった。札幌交響楽団メンバーによる弦楽四重奏も軽やかな雰囲気盛り上げた。220名ほどの参加者は三浦華園総力を挙げての料理を堪能した。宴が盛り上がったところに第3700地区の李家族委員長が日本の歌のカラオケで美声をご披露された。

熊澤ガバナーノミニーの閉会挨拶で、明日の本会議の盛会を祈念され乾杯を行い、「手に手つないで」を声高らかに、そして和やかに歌い上げて閉会した。





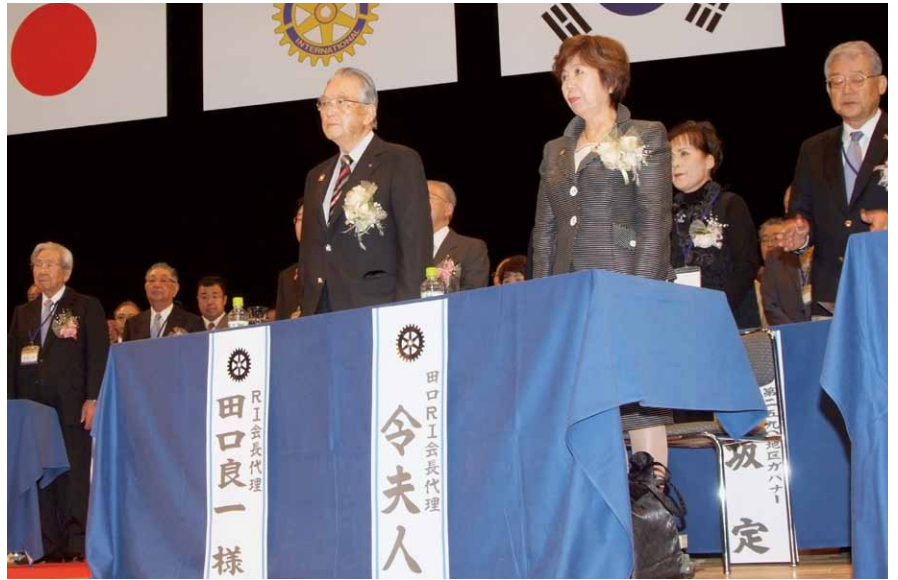


本 会 議

会場／たきかわ文化センター

9:00	登録開始			司会：松原 章（滝川RC）・庭野あけみ			
10:00	オープニング						
10:05	開会の言葉	大会実行委員長	篠島 弘	12:00	諸事お知らせ	大会SAA	石黒 安雅
	点鐘	ガバナー	渡邊 恭久		昼食		
	国歌斉唱			13:30	記念講演		
	ロータリーソング「我等の生業」				講師紹介		
	ソングリーダー	鷲尾 昌法			講演「あたり前の暮らしを求めて」	作家	倉本 聡
	物故者追悼				謝辞	ガバナー	渡邊 恭久
	歓迎の言葉	ホストクラブ会長	川口 義弘	15:00	閉会		
	RI会長代理・ご来賓の紹介及びご挨拶				「そらぶちキッズキャンプ」映像		
	ご挨拶	RI会長代理	田口 良一様	15:10	表彰	ガバナー	渡邊 恭久
	来賓祝辞	知事	高橋はるみ様		RI会長表彰、ロータリー財団他		
		市長	田村 弘様	15:25	直前ガバナー記念品贈呈		
10:35	ご挨拶	第3700地区総裁	宋 俊起			ガバナー	渡邊 恭久
	特別参加者紹介					ガバナー	渡邊 恭久
	参加クラブ紹介					ガバナー	渡邊 恭久
11:10	RI会長メッセージ及現況報告			15:37	記念事業発表	大会実行委員長	篠島 弘
		RI会長代理	田口 良一様	15:40	次期ホストクラブ紹介		
11:30	地区現況報告	ガバナー	渡邊 恭久			ガバナー	渡邊 恭久
11:45	大会決議案上程	大会決議委員長	丸山 淳士		次期ホストクラブ会長挨拶		
	大会決議案採択	ガバナー	渡邊 恭久			札幌RC会長	中田 輝夫
	前年度決算報告			15:45	RI会長代理所感	RI会長代理	田口 良一様
	前年度地区財務委員長	北島 清			お礼の言葉	ガバナー	渡邊 恭久
	前年度決算監査報告				RI会長代理へ記念品贈呈		
	パストガバナー	酒井 正人				ガバナー	渡邊 恭久
	大会登録委員会報告			16:00	点鐘	ガバナー	渡邊 恭久
	大会登録委員長	矢橋 温郎			諸事お知らせ	大会SAA	石黒 安雅
	大会信任状委員会報告						
	大会信任状委員長	酒井 正人					
	大会選挙管理委員会報告						
	大会選挙管理委員長	塚原 房樹					









クラブ紹介













RI会長メッセージ及び現況報告

RI会長代理

田 口 良 一 (第2520地区PG)

私の役目として、始めにジョン・ケニー国際ロータリー会長のメッセージを、皆様にお伝えしなければなりません。

初めてスコットランド出身の国際ロータリー会長となられたジョン・ケニー会長は、本年度の国際ロータリーのテーマとして

「ロータリーの未来はあなたの手に」
を掲げられました。これについてジョン・ケニー会長は、インド独立の父、マハトマ・ガンジーの言葉

「未来は、私たちが現在成すことによって決まる」という言葉を引用しています。

言い換えれば、ロータリーの未来は私たちの行動にかかっているということです。

今、世界で起っているさまざまな出来事を見るにつけ、このときこそロータリアンとしての仕事に全身全霊を傾けなければならないというのが、ジョン・ケニー会長の心の中であります。

まずこのことを皆様にお伝え致します。

国際ロータリーは、7つの優先項目を挙げた長期計画を立てました。今こそ、この計画を実行に移すときが来たことは、皆様ご存知のことと思います。その中でも最優先事項として掲げられています「ポリオを撲滅する」について、私の経験をお話したいと思います。ご存知と思いますが、昭和30年代、北海道夕張炭鉱で、たくさんの子供たちがポリオに罹りパニックになりました。札幌医科大学教授でパストガバナーの今は亡き整形外科医・川邨文一郎先生が、医療チームを編成し



て治療に全力を尽くされました。当時、日本にはワクチンがなかったために、政府はソビエトからワクチンを輸入して子供たちに投与しました。その後、アメリカからワクチンを緊急輸入しました。

1987年、アメリカ・ナッシュビルにおいて国際協議会が開催され、私はガバナーノミニーとしてその協議会に出席し、その折り、東京麹町ロータリークラブの山田彝（ツネ）さんにお会いしました。私たち日本からのガバナーノミニーは国際協議会で直接、山田さんのお話しをお聴きしました。山田さんは涙ながらに語りました。

1980年、山田さんはインドにおいて、現地の家庭に寝泊りしてポリオの実態調査をしていました。夕暮れ、案内人と公園を歩いておりましたら暗がりの向こうで何かがゴソゴソと動いている。案内人に訪ねたところ「ポリオに罹った子供たちです」と云われました。山田さんは本当に驚いて声もでなかった、と申されました。

インドでは、当時ポリオに罹った子供たちは、神の祟りに遭った子として、早くから家の外に出



され、公園に小屋を建てて住まわせられたのです。食事は家族と近所の人を作って与えていました。インドでは明日の食料がなくても、小鳥に餌を与えるような慈愛の精神があります。なぜポリオに罹った子供たちは、暗くなってからゴソゴソと這い出してきたのでしょうか。子供たちは熱い日中は小屋の中でじっとして、夜暗くなってから人目を避けて、小川に水浴に行くため地表を這っていたのです。手足の不自由な子どもたちは、醜い自分の姿を見られなくなかったのです。

山田さんはその悲惨な様子を国際ロータリーに報告され、1985年（昭和60年）、国際ロータリーはポリオ撲滅運動を決定、「世界の子供たちをポリオから救おう」と、撲滅キャンペーンが始まりました。

1987年、私のガバナー年度に募金活動が始まりました。ところが、初めは必ずしも会員の皆様から理解してもらえませんでした。私は山田さんをお願いして、何度か一緒に公式訪問に行き、ポリオの悲惨さを話して頂きました。

ある日のことです。仙台のホテルで地区の会長、幹事さんたちと募金開始について会議をしていました。丁度、妻が受付をしていましたところに、身体の不自由な若い女性が「お手伝いしたい」と申し出たので、受付の後、会議にも出席してもらいました。その日、ホテルでは華やかな結婚式が行われていてロビーは大勢の人でにぎわっていました。

後日、その女性から手紙が来ました。それには、こうありました。「私はポリオに罹って身体が不自由です。でも幸い先生方のおかげで症状が軽くてすみません。ロータリーの会議を聞いて、世界にはまだ重いポリオで苦しんでいる子供たちがいることを知り、私はその子供たちに励ましの言葉

をかけたかったので、ロータリーの医療チームに入れてください」こういう嘆願の手紙でした。

医療チームに入って頂くことは出来ませんでした。私はその女性から頂いた手紙をたずさえて各クラブを訪問しました。すると状況は一変しました。5年計画の募金を1年でほぼ達成することができたのです。このような心のあたたかい子供を育て上げたご両親は、どんな方だろうと思いましたが。後でお聞きしたところ、この女性はあるロータリアンのご家族だったのです。体が不自由なものにも負けずに、他の人を励ましたいというすばらしい奉仕の心を、ご両親は立派にお育てになったのです。ロータリーの奉仕の心、人を助ける超我の奉仕の心に私と妻はあらためて感激し、忘れられない感動の出会いとして今でもその思い出を大切にしています。

私たちのポリオ撲滅の目標は、99%まで達成されました。ポリオ感染者は1988年（昭和63年）の35万人以上から、昨年2008年には1,650人にまで減りました。常在国は125カ国から、わずか4カ国になりました。この間、私たちは世界の20億人以上の子供たちに、ワクチンを投与してきたのです。しかし、ポリオは現在も、アフガニスタン、インド、ナイジェリア、パキスタンに常在しています。険しい地形や社会不安、内乱、遠隔地、不衛生、極度の貧困が予防接種を妨げています。私たちは、この運動の手をゆるめるわけにはいきません。

10月24日は世界ポリオデーです。この日は、これまでの進展を振り返り、今後の課題に対して決意をあらたにする日であります。第2510地区ロータリアンの皆様のさらなるご努力、奉仕の活動をお願いするものであります。

私はここで、敬愛する渡邊ガバナーに対して、

改めて心からなる敬意と称賛の言葉を贈らなければなりません。それは言うまでもなく「そらぶちキッズキャンプ」のことであります。

いま、滝川市江部乙の丸加高原の一角に、日本初、アジアでも初めての施設、「そらぶちキッズキャンプ」をつくる計画が進められています。この施設は、全国に20万人いると言われる、小児ガンなどの難病にかかった子供たちが専門のお医者様や看護師の加護のもとで、大自然の中、安心して、楽しく生活できるキャンプだということです。敷地は滝川市が無償貸与されるとお聞きしました。

この「そらぶちキッズキャンプ」の建設に渡邊ガバナーは率先、手を挙げられ、第2510地区の今年度事業の重点目標に掲げられました。折りしもジョン・ケニー会長は、「水、保健と飢餓救済、識字率の向上」を今年度の強調事項としています。「自分の庭の外に目を向けよ」というスコットランドのことわざを引用して、健康や福祉に関しては、子供たち、およびその家族や、それぞれの地域の人々にも広げて活動するように呼びかけています。第2510地区の重点目標は、まさにこの意に沿ったものであり、この「そらぶちキッズキャンプ」建設計画が一日も早く完成されることを期待するものであります。

渡邊ガバナー、あなたの行動を会長代理として心から讃えたいと思います。そして私は、「そらぶちキッズキャンプ」について、ジョン・ケニー会長にまっ先にご報告することを約束します。

次に、国際ロータリーの現況について報告します。

世界のロータリアンの総数 123万3,017人
クラブ数 3万3,081クラブ
地区数 531地区
国と地域 200以上

ローターアクト会員数 17万8,043人
クラブ数 7,741クラブ
国と地域 160以上
インターアクト会員数 27万8,231人
クラブ数 1万2,097クラブ
国と地域 120以上

国別の会員数は、1位アメリカ、2位インドで日本は世界の3番目です。

今年度からゾーン編成が変更になりました。

日本は4ゾーンから3ゾーンに変更いたしました。第2510地区のゾーン1は変わりありませんが、12地区の編成だったのが、新たに埼玉県の2つの地区が加わり、14地区の編成となっています。

残念ながら、日本においては会員数が減少しています。このことは、世界的な経済変動と無関係ではないと思います。

しかし、ひるがえって思いを致せば、こんにち私たちが直面しているいろいろな問題の多くは、ロータリー誕生以来、大切にされてきた高い倫理性というものが欠如したことによってもたらされたものではなかったでしょうか。ロータリーの四大奉仕部門にある職業奉仕は、その倫理性に献身的であることを意味します。これこそロータリーを特徴づける独自のものです。

世界には数多くの奉仕団体が存在しますが、ロータリーほど歴史が古く、成功しているものはほとんどありません。これだけ長く続き、成功している理由の一つが職業奉仕です。この職業奉仕は、四大奉仕部門の中でもとかく忘れられがちです。今年度の特別な強調事項に置いていただきたいと思います。そして、事業と専門職務にたずさわるリーダーを新会員として誘い、クラブの輪を広げていってほしいと思います。



私は冒頭、ここ滝川市が私のふるさとであると申しあげました。今は岩手県盛岡市に住んでおりますが、年を経て、こうしてふるさとの地に立つことの不思議な縁（えにし）を感じております。

歴史をひもどきますと、日本のロータリーがまだ全国1区だった時代の1932年（昭和7年）、札幌ロータリークラブが誕生しました。そのとき初代会長だったのが佐藤昌介男爵で、岩手県花巻市の出身であります。この佐藤男爵が、第5代ガバナーに選ばれています。東京と大阪から交互に選出されるのが恒例であった時代にあって、これは日本のロータリー史における画期的な出来事でした。

佐藤男爵は札幌農学校第1期生で、のちに初代の北海道帝国大学総長になられました。これに続く札幌農学校第2期生に、同じく岩手県出身の新渡戸稲造博士がおられます。博士は盛岡市に生まれ、長じて札幌農学校に学び、同校の教授となりました。国連事務次長を務め、風雲急を告げる国際関係の中で、「我太平洋の橋とならん」と身を挺して国際平和を説き、世界を奔走し1933年国際会議の後、カナダ・ビクトリア市において亡くなりました。

その志は、今日我々ロータリアンが目指すものと共通する点があるように思います。

「橋は決して一人では架けられない。何世代にも受け継がれてはじめて架けられる」と言われ、私たちに夢を託されたのです。まさにこのことばこそ「ロータリーの未来はあなたの手の中に」なのです。

このような歴史を知るにつけ、今回の地区大会は、47年間の私のロータリー活動の中で最も感激する、生涯忘れることのできない最良の日となりました。

終わりに、この思いやりにあふれる地区大会が、会場の皆様にとりましても、明日へのロータリーを語る時に「ロータリーの未来はあなたの手の中に」あることを確信いたしております。

この地区大会を通して知り合いを広め、友好を深めることによって、ロータリーの究極の目的である国際理解と平和を推進されることを、心から願っております。

「ロータリーの未来はあなたの手の中に」

ありがとうございました。



地区現況報告

国際ロータリー第2510地区

ガバナー 渡 邊 恭 久

只今、田口良一RI会長代理から、私どもの地区の事業について非常に高いご評価と、更にまた大変お褒めの言葉を頂戴致しまして、心が熱くなる嬉しさであります。本当にありがとうございました。

それでは地区の現況を項目ごとにご報告させて頂きます。

1. クラブ数と会員数

最初にクラブ数と会員数であります。地区の会員数は減少の一途を辿っておりまして、8月末の数につきましては、クラブは73クラブ、会員数2778名、女性会員104名であります。

2. 国際奉仕活動

2つ目には国際奉仕活動についてご紹介を申し上げます。昨年度のマッチング・グラントの69323における第3360地区及びランナ・チェンマイRCとのチェックダム事業及び大型貯水槽の設置の実施を完了し、札幌東RC、深川RC、蘭越RC、函館五稜郭RCがこのサブ事業に参加致しました。洪水の防止、村人や子供達の水の確保に大きく寄与致しました。このチェックダム造成作業については、当地区WCS委員及び検証ツアーに参加されたメンバーが、地元の方々やロータリアンと共に作業致しました。

札幌西北RCがタイのチェンマイRCと小学校図書館事業を行い、生活が厳しく本を読むのが難しかった子供達のために小学校に図書館を設置し、子供達が大変喜び、基本的な初等教育の充実に大きく貢献致しました。



第3340地区タイ東北部のノンカイRCとの地元小学校に対する水濾過装置プロジェクトに札幌南RC、札幌北RC、新札幌RC、三石RC、伊達RC、室蘭RC、白老RC、苫小牧RCが参加し、子供達の安全な水の確保に大きく貢献致しました。

第3400地区インドネシア・ジョグジャカルタRCと孤児院水濾過装置設置のプロジェクトにつきましては、砂川RC、函館五稜郭RC、滝川RC、岩見沢RCが参加して、孤児院寝具設置プロジェクトに札幌北RC、新札幌RC、小樽RC、三石RC、伊達RC、函館五稜郭RCが参加して孤児院の子供達の生活環境の向上に役立ちました。

また、ここジャカルタで、図書館がなく本を読めない子供達への移動図書館支援事業に、函館セントラルRCが参加致しました。

岩見沢東RCがスリランカ・コロネボリージェンシーRCと共同で教育向上のための黒板事業を行い、札幌大通公園RCがモンゴル・ニーセルRCと日本語児童書の贈呈事業に継続して参加しております。



昨年度に引き続き国際奉仕委員会、世界社会奉仕委員会を中心としてウォータープロジェクト事業の拡大、保健衛生・識字率の向上を中心に多くのクラブの皆様方に参加を頂いております。また、本年度は、第3340地区タイ・ノンカイの小学校8校へ設置するマッチング・グラント、第3400地区でのインドネシア・ジョグジャカルタの18の孤児院へ浄水器装置の事業と、2つのマッチング・グラント事業に対して承認を頂戴しております。当地区は、これらの事業がしっかり完了するまでサポートをしていきたいと思っております。また、当地区大会に参加されています姉妹地区韓国第3700地区との友好事業も、発展するよう努力をしていきたいと思っております。

3. ロータリー財団国際親善奨学生とGSEの現況

ロータリー財団国際親善奨学生として、当地区からは今年度6名が留学しております。内訳は6ヶ月文化研修生としてアメリカ1名、オーストラリア1名であります。1学年度の奨学生としてはルクセンブルクに1名、アメリカ1名、マルチイヤー奨学生はアメリカ1名、オーストリア1名、現在留学しております。

GSEにつきましては、今年度は2010年4月にスウェーデンの第2360地区よりGSEチームを受け入れます。この受け入れについては第1、第5、第7、第9グループが中心となって行います。今回の当地区からの派遣チームは医療介護・社会福祉の分野を重点に、チームリーダーには札幌東RC奥貫一之会員と4人の団員が決定されており、5月初旬にスウェーデンに派遣されます。

4. 米山奨学生の現況

現在米山奨学生として中国から留学生9名、韓国5名、台湾、ベトナム、インドネシア、フランスより各1名、計18名に奨学金が支給されてお

ります。この内、前年度より継続して支給されている奨学生は4名、クラブ米山奨学生は1名となっております。

5. 青少年交換留学生の現況

青少年交換留学生の現況につきましては、昨年の受け入れ学生が4名、オーストラリア1名、アメリカ1名、フィンランド1名、カナダ1名であります。昨年度の派遣学生5名につきましては、オーストラリア1名、アメリカ1名、フィンランド1名、カナダ1名であります。

6. インターアクトクラブ、ローターアクトクラブについて

インターアクトクラブ、ローターアクトクラブにつきましては、室蘭大谷高校、希望学園札幌第一高校、駒沢大学付属岩見沢高校、北海高校、登別大谷高校、札幌龍谷学園高校、北海道静内高校、札幌山の手高校であります。ローターアクトクラブは9クラブございますが、現在活動しているのは、岩見沢、函館大学、室蘭北、札幌幌南、赤平、千歳であります。

7. 各種の寄付状況について

各種の寄付状況につきましては、2009年8月末現在であります。ロータリー財団に対する寄付の内、年次寄付は12,467ドルで、ポリオ・プラスへの寄付は3,210ドルです。恒久基金寄付は現在ありません。合計15,677ドルが現在の寄付の状況であります。なお、昨年度に引き続きロータリーカードの申込みを奨励しております。6月末の実績でロータリーカードの有効会員数は351名。2007年10月からの累計では利用額が40,477,228円あります。ロータリーカードからくる寄付額は、121,465円となっております。

(財)ロータリー米山記念奨学会に対する寄付につきましては、普通寄付金は3,822,100円で、特

別寄付金は735,000円となっております。

今年度の米山普通寄付金の目標につきましては、
普通寄付4,000円、それから特別寄付月1,000円
の12,000円であります。

ロータリー財団、米山記念奨学会へ暖かいご支
援を宜しくお願い申し上げます。

以上現況報告と致します。ありがとうございました。





記念講演

「あたり前の暮しを求めて」

作家
倉本 聰 氏



【プロフィール】

- 1935年 東京に生まれる
東京大学文学部美学科卒業
- 1959年 ニッポン放送入社
- 1963年 退社後、シナリオ作家として、主にテレビドラマを手掛ける
- 1977年 富良野に居を移す
- 1984年～私費を投じ、プロのシナリオライター・役者を養成する為の富良野塾を主宰している
- 2006年 植樹と環境教育を行うNPO法人富良野自然塾を、閉鎖されたゴルフ場に開塾し塾長として活動している

【代表作】

- テレビ：「文五捕物絵図」「赤ひげ」「前略おふくろ様」「6羽のかもめ」「うちのホンカン」「幻の街」「北の国から」「昨日、悲別で」「ライスカレー」「優しい時間」「風のガーデン」他多数
- 映画：「冬の華」「駅-STATION-」「時計」「海へ-See You-」他
- 著書：「さらばテレビジョン」「新テレビ事情」「新・新テレビ事情」「北の人名録」「いつも音楽があった」「ニングル」「左岸より」「ゴールの情景」「愚者の旅」「富良野風話・この国のアルバム」「ニングルの森」「北の動物園」他多数

倉本でございます。

たいした話をいたしませんので、どうぞお疲れの方は安らかにお休み下さい。

「あたり前の暮し」というタイトルを一応つけたのですが、あたり前でない暮しが余りにも定着し過ぎてているような気がします。あたり前って何なんだろうかと色々と考えますと、英語で言うと「ナチュラル」だと思うのですが、「ナチュラル」は「ネイチャー」から来ていまして、やっぱり自然というものに基づいた生活が、あたり前なのだろうと僕は考えております。

最近良く聞く言葉で嫌いな言葉があります。

一つは「そうは言っても」という言葉です。偉い方たちと話すと、「おっしゃることは良く解ります。しかし、そうは言っても」と必ず続くのです。「そうは言っても暮しがあるから」とか、「そうは言っても云々かんぬん」……。

もう一つは「前例が無い」という言葉です。これもよく、お役人さん方に言われます。「そうは言っても前例が無いから」って言っていると、オバマさんが言う「チェンジ」は絶対に出来ないことです。

僕たちの仕事を創作といいます。

「創」という字と「作」という字を思い浮かべて頂きたいのですが、「創」も「作」も「つくる」という意味です。しかし、「つくる」という意味

は「創」と「作」とでは違います。知識と金で作るのが「作」であって、金が無くても知恵で生み出すことを「創」と呼ぶのだと僕は考えております。つまり、前例の無いところから始めることを「創」と我々は言っている訳です。あの手を使おう、この手を使おうと云うのは「創」には入らない。そして、知恵でもってつくっているということが「創」であろうと思います。そういう考えに基づいて、僕は26年前に富良野塾というものを始めました。

富良野塾というのは、シナリオライターと役者のための塾なのですが、お金は一切取らないで自分たちで生活をして貰って、生活費は各々で稼いで貰い、住むところは自分で建てて、できるだけ自給自足的の暮らしをしようということでスタートしたのです。稼いだお金を彼らが全部自分たちで自主管理するのですが、最初の年に半年間の農繁期に稼いで一年間暮らすとなると、ガソリン代まで入れると三食あわせて280円しかお金が出ないのですが、「どうしましょう」と言ってきました。

「それしか出ないのだったら、それでやるしかないじゃないか」と言ったら「そうですね」と言って、馬鹿に簡単に引き下がりました。

以来26年間、280円以下でやって参りました。これが出来ちゃうんですね。何故出来るかという、今、農産物って言うのは4割方捨てられています。人参なんかも規格外品と云うやつは、ほとんど捨てられています。ですから、その捨てられた野菜を戴いてくる訳です。戴くと言ってもタダでは貰えないものですから、一度捨てたものを拾って来るという戴き方です。もちろん米は、うちでは作っていませんので米屋で買って来なければなりません。でも米はいっぱい食いますので、最初の年はレッド米という一番最下級の米を食べていました。2年目にレッド米を買いに行ったら米屋に断られました。「今年から農協のお達しで、レッド米は豚の飼料専門になった」と言われました。人間の食用としては売れなくなったと言われました。今まで食べていたのは豚の飼料だったのかと一寸ム





ッとしたのですが、それでも次の位の米を買いました。農作物・野菜類は本当にドンドン捨てられていますので、それを拾ってきて食うことは出来ます。玉葱なんかは相場制ですから、ドンドン採ったものを玉葱倉庫に溜めていって、戸が閉まらなると倒れてしまいます。溢れたものを山の奥とか土場なんか捨てますので、そういうときシンパの農家さんからこっそり電話がかかってきて、どこそこの山の裏に捨てるといふ情報が入りますと、トラックで先回りしておりまして、トラックからトラックに移すと、農協さんに怒られるので、一度捨てて貰って、拾い上げて塾に持って帰って大きな穴を掘っておいて、そこに流し込んで毛布を被せて土を薄く被せて、そこに雪が降ると空気穴だけしっかりしておく、一冬もってくれます。人参、南瓜、じゃが芋、玉葱、これらのものはほとんどそうやって食べます。従って280円で成立していたのですが、さすがに魚とか肉は余り食べない訳です。

それが10年ほど経ちまして、ある年から突然食卓に魚とか肉とかが付くようになって、どうしたのだろうなと思っていたら、リーダーが来まして、「今年から三食190円で出来るようになっちゃいました」と言うのです。何故だとビックリして聴きましたら、大きな声では言えないのですが、マァ大きな声で言っていますが、その年に入ってきた塾生に一人、東京のコンビニで店長をやっていた男がいて、コンビニでは夜の11時とか1時になると賞味期限切れというのを廃棄する。それをアルバイトとか店長は家へ持って帰って夜食にする。5分前まで売っていたものを5分後に食って中^{あた}るわけがないと。富良野には幸いに3軒コンビニがあったものですから、そこに話をつけたらしく、これも戴くのではなくて一度捨てて頂いて、後は

自己責任においてそれを拾い上げてきて食うと。そうしたら突然食卓が豊富になってしまったのですけれども。

そのころ僕が『北の国から』の取材で、ごみの処理の問題を扱うので、ごみ車に乗って生ごみの収集なんかをしていたのです。そのときに富良野に山部地区というのがありまして、その山部の山麓に粗大ごみの集積所があって、そこに出入りしているうちに、入ってみたらビックリしちゃったんですね。2、3年前の家電製品がズラッと並んでいる訳です。古くなって出されたものも勿論ですが、新製品がズラッと並んでいるんですね。型が古くなって電気屋で売れなくなったみたいな物が。それでソファとか自転車とかそういったものがふんだんに入ってきます。さらに4月の転勤時期になるとピアノからエレクトーンまで出るそうです。日本とはどういう国なのだろうと思いましたが、とにかく塾に帰って皆に「すぐにあそこへ行け」と。「あれは粗大ごみの集積所なんかじゃないよ」と。「山部山麓デパートだ」と言って。しかもタダだというんですぐに皆が行きまして、色々と持ってきまして、どんどん塾の中がリッチになっていきました。

思いますに、僕らは一寸した農業をやって、自給自足、弥生式みたいな暮らしを目標として始めたのですが、やってみましたら農耕をやる以前に採取、拾って来る、つまり縄文式の暮らしの方が今の時代には合っているんだということが判明致しました。それが証拠に、その頃新宿のホームレスの間に糖尿病が横行して問題になっていましたけれども。今の時代というのは本当に拾って来る事が一番効率のいい食い方なんですね。

富良野には、2年ほど前に亡くなりましたけども、

武辺^{ぶへん}のホームレスという方がいらっしゃいまして、ずっと武辺で富良野の真冬まで暮らしていたのですけれども、この人はなんでも、悠々と拾って食べていました。ですから皆さん、会社が潰れても誇りさえ捨てれば、今の世の中では全く怖いものは無いのだとご認識下さい。



僕が富良野塾を作ったときに二つだけ自分で掟をつくりました。
一つは借金をしないという掟です。その当時周りにいる連中が、こんなことやるのは大変だから借金しなさいと。銀行で金貸してくれますよと言い、借金も財産の内ですよと言われたのですが、僕にはその借金が財産の内という言葉が全く考えても理解できませんでした。

宮沢賢治という人が、花巻農学校で生徒に向かってこう云う質問をします。

「2-1は幾つだ」「1です」、「2-2は幾つだ」「0です」、「2-3は幾つだ」「-1です」、すると賢治が違うと言うんですね。「2つのリンゴから3つ取ろうとしてみろ。2つは無くなる。もう1つは取れない。すなわち答えは0だ」と言うのです。

この考えは、僕の中に非常に深く幼児期から染み付いていました。つまりマイナスという概念は、結構昔からあった概念なのですが、これはあくま

で机上の概念です。現実にマイナスというものはあり得ないものです。このマイナスという概念は、多分経済人が生活に応用し始めたのだと思いますが、これが実生活の中に普通の経済人ではない素人のところまで喰い込んで来たのは、多分丸井のクレジットあたりからだという気がするのですが、その内どんどん進みまして今やクレジット社会になって、3ヶ月先の決算、半年先の決算、住宅ローンに至っては何十年先の決算という話になっています。そのとき自分に金があるか無いかというのは、本当に取らぬ狸の皮算用なんですね。

つまり砂上の楼閣のような計画の上で、お金を動かして、そして物をやっているというのは、僕にはどうしても納得が行かなかったのです。一番最初、僕の持ち金は400万円だったのですが、400万で出来るとこまでやって、金が無くなると作業をストップして、また金が出来ると少し進むという、そういうやり方でやってきたために、26年間存続致しました。

富良野塾は来年で閉鎖するのですけれども、この間、僕の同業者である三船敏郎とか勝新太郎とか杉良太郎とか、いっぱいそういう演技塾みたいなものをつくりましたけども、保っているのはやっぱり借金をしなかった仲代達矢の無名塾と僕の所だけで、やっぱり借金しなかったということが良かったんだと僕は思っております。

もう一つの掟は、管理責任ということに関する事です。

僕は文部省とか色々なところの認可を受けるのを止めて、一切自費で新塾としてスタートしたのですが、その理由は文部省の規制とか色々な規制を受けると、必ず管理責任とか色々な規制に縛られるからです。



特にこの管理責任という問題は大きくて、何か事故があったときにすぐに責任を問われたり、PTAから訴えられたりして、そしたらたちまち新塾なんかは潰れてしまいます。親御さんたちからお金を取らない代わりに、入塾のときに、” At your own risk ” という一文にサインだけをして貰っていました。こんなこと書いたって日本の法律で勝てるか勝てないか判らないのですが、多分負けると思うのですが一応取りました。

以来、26年の間に様々な事故がありました。居眠り運転で顔をグシャグシャにってしまった女の子もいましたし、指だけで7本飛んでおります。自分で丸鋸で切っちゃったり、ベルトに挟まれて腕をやっちゃったり、そういうときに、こちらはもちろん父兄の方のところに電話をして慌てて謝るのですが、向こうから「子供のせいで大変ご迷惑をお掛けしました」という言葉だけが返ってきて、一度としてトラブったことがないのです。このことはとても僕にとっては嬉しいことでした。また、そういうしっかりした信頼関係さえ築ければ、なにも管理責任ということをそんなに言わなくても大丈夫なものなのではないかと希望が持てました。



塾を作った時に、一つの起草を書きました。こういう起草文です。

「あなたは文明に麻痺していませんか」「車と足はどっちが大事ですか」「石油と水はどっちが大

事ですか」「知識と知恵はどっちが大事ですか」「批評と創造はどっちが大事ですか」「理屈と行動はどっちが大事ですか」「あなたは感動を忘れていませんか」「あなたは結局何のかんのと云いながら、わが世の春を謳歌していませんか？」という起草文を創ってスタートしたわけです。

スタートして1年目に大きな事件が起きました。それは水枯れです。40人からの生徒が一つの谷で暮らそうとすると、人里離れた谷なのですが水が絶対に必要です。その土地には明治から続いている、大したことの湧き水があるということの子供から聞きまして、探したところ事実ありまして、その水は200人分位賄える水で、市の水道課に調査して貰ったのですが、非常に水質も良くて、その水でもって生活を始めたのです。

ところが1年目に濁水がありまして、それがパタッと出なくなりました。うちばかりでなくて、4キロ四方の農家さんの井戸が全部枯れました。人参工場なんていうのはとっても水を使うのですが、人参工場の井戸まで枯れてしまいました。これが何故だろうということから、結局は原因が最終的には突き止められなかったのですが、丁度その塾の上流の富良野岳と近隣が農地開発事業というもので数年に亘って、非常に大規模な伐採に遭っていました。これが水枯れと関係があるのではないかということから、僕は森、水との関係そして森林というものに興味を持つようになりました。

そして4、5年前に自然塾というものを興したのですが、これは丁度たまたま富良野のゴルフ場が、アーノルドパーマー設計の良いゴルフ場なのですが、18ホールのゴルフ場が閉鎖することになって、そのうちの6ホール34分を預かって、森に替えさせてくれということをお願いしまして、そのOKが出まして、同時にそこで環境教育をしたい

という計画を立てました。そしてNPO法人を立ち上げたのです。

水に関して少しお話すると、我々の人体の70%は水です。今日もこうしてお集まりの方の前でお話していますが、ほとんど僕は水に向かってしゃべっているような感じなんです。1人が大体都会で400ℓの水を使っていると言われております。地方で300ℓ。1人400ℓというのは風呂桶一杯の水です。飲み水だけではなくて、色々な水ですね。東京都でいうとほぼ1200万人、もう少しいるのですけれども、1200万人の人間が1人400ℓ使っていると、東京都は48億ℓの水を使っています。しかし東京都というところは水を溜めることが出来ません。降った水は全部アスファルトの上を流れて海へ行ってしまいます。では東京都の水はどこから来ているのかというと、1日48億ℓの70%は利根川の水を使っています。残りの30%は多摩川と相模川を使っています。

では何故川っていうのは年がら年中水を溜めておけるかということ、奥に水源の森があるからです。森がなぜ水を貯められるのかということ、木の葉っぱがあるからなんです。木の葉っぱが何十にも層をなしてあります。一つのところに落ちた雨が次の葉っぱに行く、次の葉っぱに行く、次の葉っぱに行く、時差をもってゆっくりと地べたへ流れて行きます。ですから森の下の地べたはいつもしっとりと湿っています。それが3つの流れをとって下流へ流れて行きます。1つは表面を流れる沢から川への流れです。もう1つは地中に少し入って表層地下水という、いわゆる伏流水というやつですが、地下の水脈を通って行って泉、湧き水として噴出するもの。これが2つ目の流れ。3つ目はもっとずっと下の破碎帯あたりまで1000m

位まで行き、そこでゆったりと流れたり止まったりしています。これが下のマグマに暖められると温泉になるわけです。この3つの流れというものがあつたのですが、地球の水はそもそも何処から来たのか、地球が出来たときに水はあつたのかと。

地球が出来たときには水は無かつたのです。ところが地球というのは、最初は今の15分の1位の大きさだつたのですが、色々な惑星や小惑星が衝突して、つまり岩石が一杯ぶつかつて大きくなつたものですが、マグマ放射の時代というんですか、ドロドロに溶けた火山が噴火したような状態です。そこに集まつてきた石、岩。岩っていうのは全部水を含んでいるのです。ですから岩っていうのは重いのです。それが火山などで噴火してウンと熱せられたときに軽石になるのは、水の抜けた石だから軽くなる訳です。この岩石の中に含まれた蒸気が岩石蒸気となつてマグマに熱せられて上に上がつて、そして雲になつて、それが降り注いだのが最初の原始の海です。そこから始まるわけですが、それが海から蒸発し、雲を出し、そして台風になつたり、低気圧になつたりして日本列島に降ろしてくれて、またそれが海に戻つて行くという循環をしている訳です。

襟裳の方の鵜川の漁師さんと漁業の主婦たちと占冠の人が共同で、10年に亘つて魚作りのための森創りというものをしています。先だつて僕もそれに参加してきました。鵜川という川が占冠のあたり、つまりトマムのあたりから流れて、ずっと鵜川の方へ行くのですが、その水が森から運んだ栄養で魚を育てるということで、襟裳岬の方の漁村の主婦たちが森創りを上流でやりたいと言うので、上流の人たちと一致してこれを行っている



訳です。昔から森が海をつくるという言葉があります。森の栄養素が海に流れて海の魚を育てます。これは事実なんです。

カナダのIWYというハイダイインディアンのグループなのですが、そこに先住民の親しい人がいるので、僕はよく通いつめていました。ここは本当に太古の森で世界遺産に認定されていますが、秋になると鮭が一杯遡^あがって来ます。これを見に行きますと、森の中に熊が鮭を捕って鮭の頭と尻尾部分が散乱しています。熊は非常に贅^あ沢で腹しか食べないんで、あと全部ほっぽり出すんです。そこへハクトウワシとかレイバン、ワタリガラスとか、カモメなんか来て食い荒らします。更には卵を産んだ後のほっちゃんれ、つまり死んだ鮭を食い荒らします。これをまた木の上に持って行って落とします。ですから森の中が鮭のカスだらけです。



ところがこの森が、普通の森より1.5倍の成長を見せるのです。そのことをヴィクトリア大学の研究グループが何年も研究していたのですが、そこで発見したことは1.5倍の生育をする森の木の中の成分に、海でしかほとんど見当たらないN15という窒素分が一杯含まれていることが解ったんです。つまり鮭の死骸が、鮭が海から持って来たものが森を育てていた訳です。ですから森が海を育てるのではなくて、海も森を育てていた訳です。

ところが日本では、これが中々そうはいきません。

日本にはダムが一杯あります。ですからダムが魚を遡^あがらせなくしているのです。大体鮭の遡^あがる川はほとんど鮭の孵化場でやなを仕掛けていて、獲れるだけ獲ってしまっ^あって稚魚をつくって放流するという形をしているので、魚が上流まで遡^あがって行きません。昔は遡^あがって行ったものが。

僕は去年、カヌーで空知川の源流近くから、ずっと空知川を下って来て、滝川で石狩川に合流して、そして石狩の河口までカヌーで出てみたのですが、幾つあったでしょう。物凄い数のダムがあります。上流には更に砂防ダムがあります。

今、渡島の方で磯焼けという現象がありますが、これは磯の岩に石灰藻というものが付いてしまっ^あて、昆布が着床できないんです。そのために魚が育たないんです。この原因を探っている人もいらっしゃいます。2つの川があって、片方は昆布が着床している、もう片方は昆布が着床していない川。着床していない方の川を遡^あるとそこには一杯砂防ダムがあって、降りて来る鉄分が全部溜まっ^あて、海まで流れてない。これが原因ではないかという事をおっしゃった方がいらっしゃいます。海と川は循環しているのだけでも、その血管を断ち切るような作業を人間がしてしまっ^あています。話を戻すと、つまり水をなぜ森が溜めるかということ、木の葉っぱが溜めてくれている訳です。

一方、皆さんそこで呼吸を止めて頂けるとわかるのですが、お見掛けしたところお年寄りが多いので、いつも子供たちの相手をするときには口を押さえて呼吸を止めろと言うのですが、もしものことがあってはいけませんので止めさせませんけども、多分1分間持つ方は滅多にいらっしゃらないと思います。息を止めると苦しいです。大体人間は1

分間に14回から17、18回呼吸をしています。それが当たり前過ぎますから、皆さん忘れていてるんです。多分今、こう言われるまで呼吸していることを忘れていた方が一杯いらっしやると思います。ところが呼吸をしていないと、我々は本当に1分間生きていられないんですね。でも大体3分間止めますと脳死します。消防庁の調べによると、今までの例では8分間で大半の方がお亡くなりになるそうです。つまり呼吸をして年中酸素を摂っていないと人間は生きていられない訳ですね。

でも、この一番当たり前のことを国会で論じたことも聞きませんし、皆さんも余りお考えになっていないと思うんです。

酸素というのは何が作っているのかと言ったら、植物が、特に木の葉っぱが光合成で、CO₂を吸収して酸素を出しています。動物は酸素を摂ってCO₂を吐きます。植物はCO₂を摂って酸素を吐きます。これをやってくれているのが主に木の葉っぱです。勿論昆布とか色々なものもやりますけれども。そうしてみると、水と酸素という我々の生きること一番大事なものというのは、全て木の葉っぱがやってくれているのです。ところが古今東西人類というのは森を見るときに材木になるところの「幹だけを見て、葉を見ず」だったのです。このことが非常に今の、当たり前でない暮らしを生んでいるような気が僕は致します。

日本の林野庁は、終戦直後に木材の需要が多かったものですから、手に入れまして独立採算制にしてしまいました。それで外材が輸入されたりなんかしたときにやっぱり失敗しまして、3兆円の赤字を抱えて破綻寸前に追い込まれて、旭川の営林署なんて閉鎖になっています。今、森林管理局なんてものになっているのですが、特に里

山は今、危機にさらされています。

うちの近所では、元営林署の署員の農家が里山を使わなくなりました。薪を拾ったりすることがなくなりましたから里山は荒れ放題。それを切らせてくれと営林署の人が言うてくる。いくばくかの端金が出来れば嬉しいからって言うんで、すぐに許可しちゃう。それをバーツとバリカンで切るように山を裸にしちゃいます。これはもう随時起きています。この切った木を木材屋さん売っていく訳ですが、ほとんど木材と言うよりチップにしかありません。

大体木というのは木高で見るのですけれども、胸の高さの直径で言います。胸の高さで20㍍というと大体30年、40年経っています。30㍍つまり胸高30㍍と云うと、もう4、50年経っています。この木を木材屋に持って行って今幾らで売れると思われませんか。20㍍と言っても結構高いです。直径20㍍の木の引き取り値が270円です。30㍍でつまり4、50年の木で390円位です。

今、うちの自然塾には、今日は輪切りにした見本をおいてありますが、50㍍位の直径のハルニレの輪切りがあります。これが年輪で数えると90年です。それから70㍍ぐらいのセンノキ、ハリギリという木がありますがこれが大体260年経っています。

旭川の林産試験場に行くと、こんな大きな桂の木の輪切りがありますけれど、500年です。500年、260年と言ってもピンとこないかもしれませんが、500年の木と云うのは安土桃山です。織田信長と同じ頃に芽を出した木なんです。その木がそれからずっと葉っぱでCO₂を吸収し、酸素を出してくれ、そして我々に水を溜めてくれていたんですね。でもその木を今や本当に10分から15分で切ってしまう。そう云う状況の中で林野庁が10年位



前になりますか、森と云うのは木材だけでなく、もっと公益的な価値があるのではないかと気がつきました。

空気とか水とかを、お金に換算したら幾ら位になるのかということ、日本学術会議に依頼して計算して貰ったんですね。そのとき出た公益評価額と云うのが、年間76兆円という驚くべき数字が出てきてしまいました。これに対して国は何も支払っていないんです。

水もほとんどタダです。今、こういうペットボトルの水を、東京都が東京水という名目で売りに出しています。確か100円位で東京都の主な施設で東京都庁の中とか、後楽園ドームとか、上野動物園なんかで売っています。この100円の内訳を見ますと、ペットボトルの制作費に20円とか、小売りの手数料は幾らとか、宣伝費が幾らとか、送料が幾らとか出てくるのですが、水本来の値段は11銭です。ほとんど0に近いです。その位水というのは無視されています。空気に至ってはもっと無視されています。

だけど、これは実は払われるべき対価なんですね。たとえば、滝川市がどの位山林を持っているのか知りませんが、滝川市の山林に対して、これはきちんと取った税金から払われなければいけないはずのものなんです。ところが、道路特定ガソリン税というものが道路特定財源として、次のCO₂排出に向けられるというような、こんな間違っただけの話は無いと私は思います。これは森に還元すべきだと思います。そうしないと植物と人間のバランス、動物のバランスが崩れてしまいます。

世界には不毛の地というものがあります。ゴビの砂漠とかサハラ砂漠とか、一杯不毛の土地というものがあります。日本にはあまり不毛の土地と

いうのは無かったんですね、鳥取の砂丘位でしか。

今、どんどん増えているのはご存知ですか。今、すごい勢いで増えています。都会が全部不毛です。不毛とは辞書で引くと植物が生えないということ、を言うんです。アスファルトで固めた地べたというのは植物を生やしません。ですから都市は不毛です。道路が不毛です。つまり文明社会と云うのは、どんどん植物が育たない不毛の土地を増やしてしまっている訳です。

こういうものを解消しようと思って、大した役には立たないけれども、僕たちは葉っぱを創るために今、森を創っています。木材を作るためではなくて。森を創るという行為は、実は植樹というのはよく緑の日なんかにはやりますが、偉い方が来て重たそうに鍬を入れて、苗を植えるっていう事をやりますが、あれ以前にもっと重大な仕事があります。僕らは植樹をするに当たって、森の中を見て歩いて、種をつけそうな木をまず探します。そして種を取る作業を一番先にします。そしてその取った種を畑に蒔きます。その芽が出るのを待ちます。

一方植物には天然更新といって普通種を飛ばす訳ですね、風や何かで。それからリスが埋めるんです。リスが埋めたところから、健忘症で埋めたところを忘れたそのリスの穴から出てきたりだとか、鳥が糞の中に溜めて出てきたりとか、そういった形で自然林というのは出てきます。これを実生というのです。

大体実生というのは木の陰なんかに移ると養地が悪くて死んでしまうものですから、この実生を取って来て畑に植えて苗を作ります。苗と云うのは大体長いもので本当に5、6年かかります、きちんと育てるのに。それを現地に移植する訳です。

これは、僕たちも本当に散々に苦労しています。

ここ5、6年やってきて、今4万本近くも植えたんですけれども、自然林と人工林が違うのは、自然林とはバラバラに風に任せたり、動物の糞に任せたりするのですが、アトランダムに木が出てくるんです。人間がやろうとすると、どうしても直線とか非科学的な模様の形になってしまいます。自然に近くしたいんだけど、どうしても自分でやるとなると非科学的になってしまうので、これをどうしようかと考えているうちに、うちはゴルフ場の跡地なので、土を掘っているとロストボールが一杯出てきます。そのロストボールを貯めておきまして、ゴルフの出来る奴も出来ない奴も、9番アイアンで皆に打たせまして、落ちたところに植えていったら非常に自然な形になりました。

ここは本当に鹿が一杯出てきて、すごい勢いで鹿が植えたばかりの苗を食べてしまうんです。北大の名誉教授の東先生という方の指導を受けているんですが、鹿は人間の髪の毛の臭いを嫌うというので、ヘアトニックを薄めて植えた木の周りに撒いたのですが全然ダメで、床屋へ行って人間の頭の髪の毛の切りくずを一杯集めてきて撒きましたら、1週間位減っていたのですが、すぐに学習しましてダメになりました。で、最終的にその先生曰く、絶対に効くのはライオンのオシッコだと言い始めまして、ライオンのオシッコを探ろうかと言って、旭山動物園の小菅園長に相談しましたら、「馬鹿なことを言うな。エゾシカがどうしてライオンのオシッコの臭いを知っているんだ。大体うちでライオンのオシッコは尿瓶で採っている訳ではないからそんなもの出来ない」と言われまして、「ヒグマならどうでしょう」と聞いて、「ヒグマならいいかもしれない」と言っていたのですが、結局そうやって考えているうちに、鹿が出てきて



自由に歩き回ってくれる。そういう森を僕たちは望んでいるのだから、鹿が出てきて食っちゃったらそれに対抗するだけ。また植えればいいんだということになりまして、今はそのままほったらかしておきます。

このようにして、本当に苗を作るということは、生まれたばかりの赤ん坊を幼稚園児まで育てる位の大変な手間が掛るんですよ。でも、それを今必死にやっております。これが10年から15年経つと、植えた木が種をつけるようになります。今既にナナカマドが1本、種を付け始めています。これが付け始めると、そこから天然更新が起こるのです。ですから、後はネズミ算的に増えて行くだらうと云う希望なのですが、大体きちんとした森になるには50年かかると思います。この50年というのは僕がとても生きていない年月なんですね。この生きていない未来のことを考えるということが、実は僕らには中々出来ない。だけどそれを考えないと人類というものは永続していかない。

アメリカ原住民が必ずこういう言葉を言います。「地球は子孫のための借り物である」という言葉です。それからアイヌの萱野茂先生かやのしげるという、最近亡くなられた参議院議員までやられた先生が、僕のある種のお師匠さんなんですが、この先生に言



われたことは「アイヌは昔、その年の自然の利子の一部だけで、食うことも住むことも着ることもやってきた。つまり自然の一部の利子、情けで生かされていた。

しかし今、日本人は自然という元金に手を付けちゃっているじゃないか。元金に手を付けたら利子がドンドン減っていくと云うことを、どうしてこれだけ経済観念の発達した日本人は気が付かないのだろう。」ということをおっしゃられて、僕は頭を殴られたような気になったことがあります。まさにその通りだと思うのです。そしてそれを未来に続けなければなりません。

僕たちは本当に葉っぱを創るためにやっておりますが、これはエクアドルの民話にある『ハチドリ一滴』と同じ発想です。どういう民話かと云うと、山火事が起きたときに大騒ぎになるんですが、小さなハチドリが自分で何処かへ行って水を取ってきて、その大きな山火事に一滴ずつ水を垂らしていた。そんな馬鹿なことをやったって火事が消えるかと言われたときに、自分たちで今出来ることはこれだけだと言って続けていた、と云う有名なエクアドルの民話です。まさに僕らのやっていることは、ハチドリ一滴だと思うのです。しかしそれを誰かが少しずつでも始めないと、物事は動いて行かないのではないかなというのが僕の考えです。

そこで今、同時に環境教育というものも始めております。数年前にドイツに、ドイツは環境先進国なんです、環境教育の仕方を勉強に行きました。そのとき文部次官の方にお会いして、お話を伺ったのですが、ドイツは国民の環境意識を変えるのに30年かかったと言います。

「どうやって変えたのですか」と聴いたら、環

境というのは余りにも多岐に亘っていて、環境と言う学問をつくってもダメだと言うのです。ですから、あらゆる授業、地理から歴史から技術から数学まであらゆる学問の中に環境と云うものをバラ撒いて、しかも小さいときからずっと教育しないと、それは変わらないと言われました。どんな事をするのかと聴いたら、例えば小学校の初期の算数で「 $5-3=2$ 」と云うのを教えるのに、「家の前に生ごみの袋が5つあります。今日収集車が来て3つ持って行ってくれました。生ごみの袋は幾つ残ったでしょう。」「 $5-3=2$ 」という教え方をする。あまり僕はピンと来なかったのです。日本に帰ってしばらく考えても。日本ではどんな教え方をしているだろう。「銀行に5万円の預金があります。3万円引き出しました。銀行に幾ら預金が残っているでしょう。」「 $5-3=2$ 」という教え方をしている気がするのです。僕が戦時中に受けた軍事教育では「藪の中に敵兵が5人います。3人殺しました。敵兵は何人残っているでしょう。」「 $5-3=2$ 」という、こういう教育を現実を受けているのです僕は。と、すると「 $5-3=2$ 」ということ教えると云うことは、そのこと自体を教えるのではなくて、その他のそこに付随したことを教えることによって人の頭を洗脳していくという、そのことが非常に重大なんだなということ、僕はそのドイツの方の話から教訓として受けました。今、学校の教育なんてものはやたら数字を教えます。そして、色々なものを暗記させます。知識を一杯詰め込みます。知識を一杯知っている人間だけがいい大学に入れて、いい就職が出来て、出世が出来て汚職ができるという、そういう状況になっています。しかし、その知識というものが果たして人の心に落ちているのかというところは、とっても疑問なのです。

今、僕たちが作っている自然塾の中に地球の道というのがあります。これは46億年の地球の歴史を460年、丁度ロングコースのホールの後だったものですから、460年の道に置換えてそこを歩かせながら地球の歴史をずっと見て行くのです。そうすると、ホールのつまり現在ゴールの60年手前で、やっと地球上の酸素濃度が20%という今の状態になります。それから原人類、つまり類人猿の属する人類の元の形が出てくるのが、460年歩いたところのわずか現在から20年手前です。そしてホモサピエンス、つまりホモサピエンスとは今の我々の直接の祖先ですけれども、言語を覚えた人間ですね。同じ時期にネアンデルタール人なんて云うのも出ていますけど、この人達は言葉を喋らなかったので滅びてしまいました。ホモサピエンスが出てきたのは、今からわずか2年手前です。西暦元年と言うのは0.2年手前です。産業革命は0.02年手前です。この0.02年のところの今が、それ以前の地球環境をおかしくしているのですね。つまりその間の2年間の、急激な変化で人間は脳を肥大化させました。そして色々なことを発明するのですが、同時にサボるということを始めました。つまり人間が我々本来持っているエネルギーがある訳ですけれども、これを使うことを出来るだけ抑えて、それを何か代替りのエネルギーにやって貰うということを考え始めます。サボるということを考え始めます。ですから産業革命が蒸気、機械に繋がってそれが画期的に出来るのですが、産業革命以前は捕虜があったり、拉致してきた他の民族だったり、奴隷だったりします。

産業革命の始まったのはイギリスのリバプール、マンチェスターですけれども、蒸気機関が発明されたって産業革命を推進するお金が要ったはずだったのです。あそこは何で金があったか。あれは



奴隷貿易港なのです。ですから奴隷貿易によって作っていたお金を元にして、今度はそれを産業革命という形の方へ転換したのだ、という風に僕は正しいかどうか解りませんが推測しております。つまり人間は常に代替のエネルギーというものを求める訳です。それで自分のエネルギーが消費することを抑える。5年行けばテレビを押せるのに、リモコンということで5年行くエネルギーの消費を抑える。これを便利と言うようになった訳です。そうやって自分の体を使わなくなると、どんどん筋肉というものは衰えていきます。それで高い金を払ってジムというところに入ったりして、何の生産性もない重いものを上げたり下げたりとか、どこにも行き着かない自転車を漕いでいたりとか。そういう不可解な行動に出るんです。これを我々はホモサスペンスと呼んでいます。そういう風になってしまったのです。

それが今代替エネルギーになっている石炭、石油。これがさっきの地球にしてみますと、現在の35年手前から植物が化石化しました。植物が初めて誕生して植物が化石化したものが石炭として、わずか35年手前から貯蓄です。石油に至っては20年手前です。あれはジュラ紀に動物たちが死骸になって、そしてその動物が化学反応を起こして出来たのが石油ですから。それはわずか現代から20年手前なのです。



今、本当に石油文明の末期に近づいているんだと思うのですけれども、石油というのは大体20億年前とは2億年前なのですけれども、2億年前からつくられてきて、大体全部で2兆億という数字の石油が地上にあったのだらうと言われてます。今、ほとんど半分近くを使い果たして1兆2000億億しか残ってなくて、これで可採量は多分あと40年で石油は無くなるだらうという風に言われております。そういうことは皆さんお聞きになったことがあると思うのです。ただ、この数字だけではピンとこないのです。では、今残っている石油の量と云うのは富士山の大きさに例えたら、富士山の何杯分だと思われませんか。1000以上だと思われる方手を挙げてみて下さい。お一人。500から1000の間だと思われる方手を挙げて下さい。何人がいらっしゃいます。100から500までだと思われる方。100以下だと思われる方。10以下だと思われる方。滝川ロータリークラブぐったりとしていらっしゃいます。実は富士山の7分の1しか残っていないのです。信じられないでしょ。でも計算しますと1兆2000億億というのは容積に変えると、富士山わずか1個の7分の1なのです。7分の1と言いますと、3合目が4合目あたりから上です。新幹線を通っていて富士山が見えます。手前には下の方に色々な山があります。あの上に見えている部分。あれが世界の石油タンクだと思って下さい。あそこから皆さんガソリンを自動車に入れたり、灯油を取ったりしているのです。

ただし富士山とは3776億かな。これは海拔です。ですから富士山を登ったという人、実は日本で滅多にいないのです。富士山を登ったというのは、3776億を0から登った人を登ったと言うのです。つまり、駿河湾から登っていないと登ったことに

ならないのです。静岡県富士宮市には、ちゃんとそういうサークルがあるそうです。0から登るといグループが。だけど、ほとんどの人が5合目までバスか何かで行ってそこから登っていますから、3776億の富士山を登ったとは言えないです。エベレストも同じです。三浦雄一郎さんには悪いけど。あれはネパールのカトマンズという1300億まで飛行機で行って、そこから登っているのです。エベレストを本当に征服したというなら、インド洋から登らないといけないのです。ですから今までいないと思います。

それはともかくとして、富士山の7分の1という数字は、皆さんこれで少し実感として持てたと思うのです。ところが今の環境教育と云うものは全部数字で教えたり、科学者が難しい言葉で教えるから、心に落ちないのです。富士山の7分の1というのは琵琶湖の水でいうと7杯分です。琵琶湖は結構深いのですけれども。それだけの量しか残っていないのです。石油が無くなったとき、どうなるかという問題です。ですから40年後に無くなるだらうというのは、僕の考えではもっと前倒しで無くなるような気がします。今インドとか中国がどんどん使い始めていますから。

先だって石油が高騰して漁民がデモをしました。これでは沖へ船で出られないというデモでしたけれども。あれはマネーゲームや色々なもので石油が高騰したから、あんなったのでしょうけれども、これはもう40年の中の20年が経ったら、石油は今の値段よりドンドン上がるだらうと思います。残りは少なくなるのですから。そうすると自分のことが変わります。皆さんも多分、今ここに座っていらっしゃる方も石油製品の洋服を大分着ていらっしゃるから。石油を全部剥ぐと更に裸に近くな

ります。余り見たい状態じゃありませんけれども。それから、ここにいらっしゃったのも車でしょし、バスでしょし、それが出来なくなります。漁民が船で沖に出られなくなったときどうなるのか。櫓か櫓か帆で出るしかないです。あるいは岸壁から釣りをするしかないです。しかも今のように重油を使って、電気を起こして、魚群探知機を使うということは出来なくなりますから、旧来の勘に頼った漁法に戻すしか出来なくなると思います。



でも、ここが非常に問題なのですが、農業も全く同じです。

先だって中富良野の農家の40代の人で10町歩やっているのですが、その人に「石油が無くなってトラクターやブルドーザーが使えなくなって、あるいは重油が使えなくなって、ビニールハウスが出来なくなったら、あなたは今10町歩もやっているけれども大丈夫」と聞いたのです。そしたら考えておまして、「うちの親父だったら10町歩やるだろう」と言うのです。「親父はまず馬を飼うだろう。親父は馬の使い方を知っているし、馬の飼育を知っているから。何よりも親父には根性があるから出来るだろう」と。「俺は根性が無いから、それに馬を飼ったりする技術を知らないから、1町歩も無理だ」と言うのです。「うちの息子ときたら土日は休ませろなんて奴なのだ。とてもとても無理だ」と言うんですね。

農業と云うのはアグリカルチャーと云って一つ

の文化なのです、カルチャーですから。折角今まで延々として育ててきた農業という文化が、石油を使うことによってストーンとここで絶たれていたのです。そうすると石油が無くなったときに、その文化に戻れないという状況が今起きています。まして日本は65歳以上が今58%です。あと10年経ったら農業就業人口が皆70歳になってしまいます。75歳になってしまいます。そうすると若い世代と云うのは農業からいなくなります。ドンドン物凄く減ります。この人間たちが、しかも石油が使えなくなったときに、一体どうやって日本の農業自給率を上げていくのだろうと考えたら、本当にゾッとします。

何故農業の後継者がいないのか。考え起せば昭和30年代に日本が工業化するという事で、集団就職とか、つまり金の卵と言われて農村から都市へドンドン人口が移動したのです。その状態が今もって続いている訳です。そして農業みたいなものの作業を3Kという嫌な言葉で言ったりして、肉体労働というのが忌み嫌われるようになりました。しかし、先だって丸紅研究所の食糧問題の第一人者と言われる人とお話したのですが、食料に関して言うならば2030年、あと20年ですね。ここが臨界点だと言っています。世界の食料の輸入と、それから日本の、地球と、そこの臨界点に来るだろうという風におっしゃっています。そのときに、僕たちは本当に怖い状態にいるわけです。

西洋にはこう云う言葉があります。真の文明社会と云うのは、三つの柱がバランスよくお互いを支え合っている。一つはエコノミーであって、一つはエコロジーであって、一つはカルチャーだと言うんです。この三本がしっかりと三脚を立

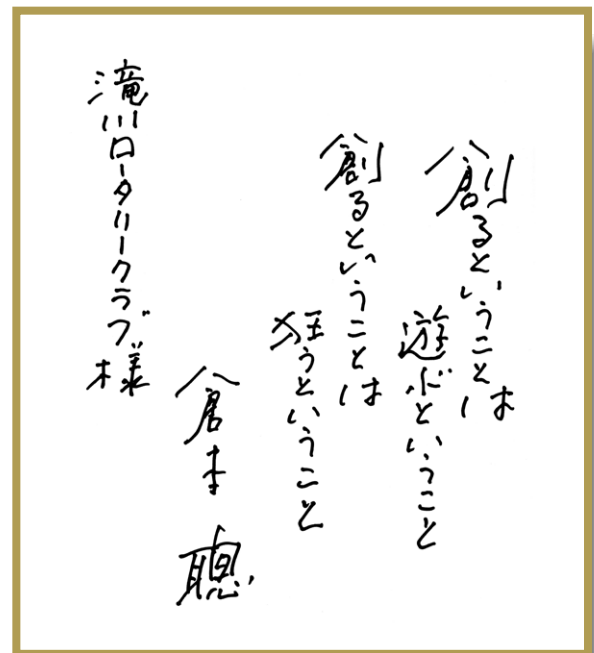


てて、お互いを支え合っている社会を真の文明社会というわけです。しかし日本の場合には経済ばかりを皆考えて、カルチャーもエコロジーもひしゃげてしまっています。カルチャーとは今言ったように芸術論だけではなくて、農業もカルチャーですし様々なことがカルチャーです。職人の技も色々なことがカルチャーです。そういったものが出来たときに、初めて豊かな国ということが出来るのだと思います。豊かなというのは辞書で引きますと裕福、つまりリッチにして幸せなことという風に必ず出てきます。しかし今、日本人が考えている豊かというのはリッチの方だけを考えているような気がします。これに非常に根本的な問題があるような気が僕はいたします。

最後になりますが、僕の尊敬する先輩である開高健さんという作家が、こういう素晴らしいエッセイを残されています。

パリのシャルル・ド・ゴール空港で、一人の旅人が疲れ果ててトランクに腰を下ろしているんです。空港の係員が近づいて「どうなさいましたか。どこかお加減が悪いのですか」と聞くのです。「そうじゃないのです。今やっと遠くから来たのですが、体は到着したのですが、心がまだ到着しないので、今ここで心の到着を待っているところなのです。」

今僕たちは物凄い勢いで、情報とか物質とか進歩というものに、先へ先へと押されて否応なく流れて行っていますけども、果たしてここに本当に心と言うものは付いて来ているのだろうかということを、いつも僕は疑問に思います。たまにはトランクに腰を下ろして、のんびりと心の到着を待つてやる必要があるのではないかなと思います。ご清聴有難うございました。



小児ガンと闘う子ども達の喜びを 豊かにする「そらぷちキッズキャンプ」 支援へのお願い

国際ロータリー第2510地区

ガバナー 渡 邊 恭 久



私は今期四つの重点目標を掲げました。
その第一は、小児ガンや難病を持った子どもに夢
や希望を与える「そらぷちキッズキャンプ」を支
援することです。

幼くして限られた命に少しでも「生きる喜び」を、
また来年もキャンプに来ようと「自らが生きよう
とする力を創る機会」を提供するという活動は、
ロータリアンに与えられる最もふさわしい使命と
考えます。

「そらぷちキッズキャンプ」は、東京や北海道
の医療関係者、そして趣旨に共鳴した企業や団体
の篤志家、さらに多くの個人の賛同によって設立
されました。しかも全国の数ある候補地の中から
北海道の滝川市江部乙町にある標高286mの丸加
高原が最適地として選ばれました。同時にアジア
における最初の専用キャンプ場であることも大き
な誇りでございます。私は、この雄大なキャンプ
場で子どもたちが生き生きと遊び、喜ぶ姿を心で
描き、この目で確かなものとするためにロータリ
ーをあげて支援できないものかと考え続けて参り
ました。

裾野に広がる16ヘクタールの用地が滝川市よ
り無償提供されました。私はこの地での活動を一
地方のものとしてせず、志を同じくする者の共有の財
産であり、子どもたちへの遺産にと考えております。

子どもたちには、このキャンプ場で、人間の尊
厳を大切に思いつつ、力強く生きることを、豊か
に体験して欲しいと願っております。

ロータリアンの皆様におかれましては、何卒、
私の意図を十分にご理解いただき、ロータリーの
大きな視野で、いささかでも支援していただけれ
ば幸いと存じます。

具体的な活動は地区社会奉仕委員会に担当して
頂くことにいたしましたので、ご協力の程お願い
申し上げます。

以下は幾つかの支援のヒントを列挙したもので
ございます。決して強制するものではなく、各ク
ラブが自主的にご検討頂き、お取り組み下さるこ
とを願っております。



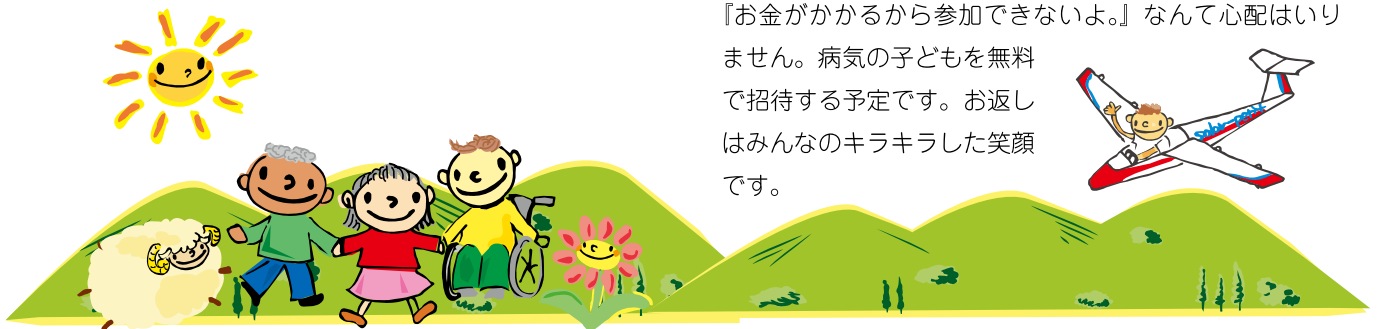
病気とたたかう子どもたちに夢のキャンプを!

そらぷちキッズキャンプ

外で遊びたい

それが夢だと言つ、子どもたちがいます。

soar petite kids camp



Q きらぷちキッズキャンプってなあに？

緑いっぱいの森の中で、どこまでも続く原っぱで、あなたなら何をして遊びますか？虫とり、花つみ、魚つり、木のぼり…楽しいことはたくさんあります。でも、全国にいる約 20 万人の難病とたたかう子どもたちは病気のためにそれができません。一人でも多くの難病の子どもたちが安全に安心して自然の中で遊べるように、医師や看護師がいつも見守ってくれる特別なキャンプ場、それが『そらぷちキッズキャンプ』です。友だちや家族と自然の中でゆったりした時間を過ごして、楽しい思い出とがんばる元気を持ち帰ってほしいのです。



Q どんな子どもたちが遊べるの？

小児がんを始めとする血液、循環器、消化器、免疫不全、肝不全などの難病のため、自然とふれあうことが難しい子どもたちが対象です。つらく苦しい闘病生活を送る彼らに、抜けるような青空のもと風が運ぶ草花の香りや陽射しのぬくもりを体いっぱいに感じてほしいと思います。『お金がかかるから参加できないよ。』なんて心配はいりません。病気の子どもを無料で招待する予定です。お返しはみんなのキラキラした笑顔です。



Q キャンプでは どんなことをするの？

夏はグライダー、乗馬、釣り、カヌー、ハイキング、農作物の収穫体験、酪農見学、バーベキュー、キャンプファイヤー etc…冬はスキー、スノーボード、スノーモービル、雪合戦、そり滑り、かまくら作り etc…たくさんの楽しいプログラムが用意されています。ほかにも芝生でお昼寝したり、冬の夜空に星座を見つけたり、子ども自身が探し出すオリジナルイベントは無限大です。

Q キャンプ場は どうやってつくるの？

施設の建設やキャンププログラムなどの運営にかかるお金は、そらぷちを応援する全国の個人・企業・団体・法人のみなさまの会費や寄付金によってまかなわれます。宿泊施設、集会場、ダイニングルーム、医療施設などの建設費は一部開設時で約5億円、プログラム年間の運営費は約1億円を見込んでいます。

Q どんな協力の方法があるのかなあ？

キャンプ場をつくるには人手や物資も必要です。支援の方法は実際に子どもたちをキャンプで支えるほかに、

- ① 会員に登録する
- ② 専門的な知識や技術を提供する
- ③ チャリティーイベントの企画や運営に携わる
- ④ 事務用品、食品、衣服などの物資を提供する
- ⑤ 身近な機会に広報活動を行う

など様々なカタチがあります。
ご自身のできる時間にできる範囲で未永く子どもたちを
応援して下さい。

Q キャンプ場はどこにつくるの？

北海道のほぼ中央、滝川市丸加高原。なだらかな丘で馬や羊、牛たちがのんびりと暮らす自然に恵まれたこの場所はグライダー、乗馬、カヌー、スキーなどを楽しめるところがキャンプ場の近くにあつて、札幌市や旭川市、富良野市などにもアクセスしやすく、全国から訪れる子どもたちや家族にとって利用しやすいところといえます。



キャンプ場予定地がある丸加高原



「そらぷち(Solar-Petite)」ってどんな意味？

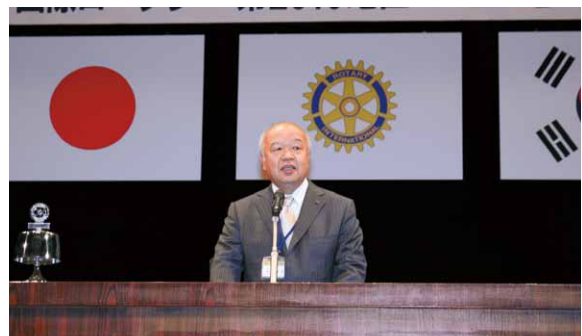
石狩川と空知川に囲まれた滝川市は昔『そらぷち』と呼ばれていました。アイヌ語で『滝のある川』という意味です。またSolarは『太陽』、Petiteは『小さな』を意味し、2つの言葉を合わせると『小さな太陽』。この場所で子どもたちの笑顔が太陽のように光いっぱい輝くことを願いこの名前をつけました。





表彰者









ガバナーエレクト挨拶

ガバナーエレクト 佐々木 正 丞

2510地区2010-2011年次のガバナーエレクト、佐々木正丞と申します。所属は札幌クラブであります。

入会后25年以上経ちましたけれど、歳は多いんですが未熟でございます、今一生懸命研修中でございます。

来年1月にアメリカの新しい会長さんの元で研修を終えまして、2月3月に12人のガバナー補佐、それから73人の会長予定者と議論いたしまして

7月から皆様のところに公式に訪問いたす予定でございます。

また今日のような地区大会もやはり10月、来年の10月いっぱいには行いたいと思っております。

いろんな情報が飛んでおりますが難しい事態だと思います。

皆様のご指示ご協力が必要だと思っておりますので、是非よろしく願いいたします。



次期ホストクラブ会長挨拶

札幌ロータリークラブ

会長 中田 輝 夫

次年度、佐々木ガバナーエレクトの元で地区大会を開催させていただきます、札幌ロータリークラブの会長をやっております中田でございます。

今朝、家を出るときにうちのお母さんが「あなたの話なんか誰も聞いていないんだから余計なことはしゃべるんじゃない。話を短くしなさい」と言うことをきつく言われてきましたので、簡単にご挨拶申し上げますけど、申し上げたいことは2つございます。ひとつは私ももう間もなく70歳の人生を迎えようとしております。

70の人生の中に、どれだけ多くの思い出を思い出箱の中にこれからの人生に貯めていくかということが大事なことでございます。

今日、渡邊ガバナーの元にすばらしい地区大会を開催していただき、不良会員であります私にロータリーの思い出をたくさんいただきました。

そしてまた、多くの友情を育むことができました。本当にありがとうございました。心から滝川ロータリークラブのメンバーの皆さんに篤く御礼を申し上げますのでございます。

もうひとつは、今日RI会長代理の田口パストガバナーのお話を聞いておまして、問題は中身ですよというお話をいただきました。

佐々木ガバナーエレクトの元に、来年はきっと124名の私ども札幌クラブのメンバーが10月15、16、17日の3日間にわたります開催に、きっと中身の濃い思い出をお持ち帰りいただけるように、全力で頑張ることをお誓い申し上げ、そして最後になりましたけどもう一度、滝川ロータリークラブに感謝の拍手を皆さんに頂いて、私のご挨拶にさせていただきますと思います。

来年お待ちしております。ありがとうございました。



ガバナーノミニー挨拶

ガバナーノミニー 熊澤隆樹

只今ご紹介頂きました、小樽ロータリークラブ会長の清水でございます。

本来であれば当クラブ会員であります、熊澤ガバナーノミニー自身がここでご挨拶を申し上げるところでございますけども、急遽よんどころ無い事情がありまして、本日出席できないということで連絡が入りました。

「関係各位には、大変ご迷惑お掛けしたことをお

詫び申し上げます。」との伝言を承っております。

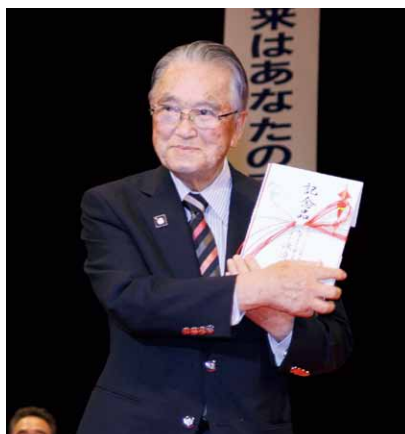
「次回皆様にお会いできる日に改めてご挨拶をさせていただきます」というふうに言っておりますので、またその節はよろしくお願い申し上げます。

ひとことご挨拶申し上げます。

ありがとうございました。



代理：清水 雅章
小樽ロータリークラブ会長



記念品贈呈後の挨拶

R | 会長代理 田口良一

そこに来ておられる人から私に、一通の手紙と一枚の写真を見せていただきました。それは、この方はここに来る一週間前に亡くなりました。というお母さんからの手紙でした。

お母さんはこの写真を持ってこの地に来て、もう子供は亡くなったけれども、今度来るときは子供たちにボランティアとして働きたい、こういう有難い言葉をいただきました。自分の子供を亡くして、そして且つまた、それで悩んでおられる人にボランティアとして活動する。本当に感動しました。

そこで私、少しでもお役に立てばということで、少しばかりですけれども、100万円を地区を通じてご寄贈申し上げたいと思います。

以上でございます。

再度出てまいりました。ただいま記念品をいただき、本当にありがとうございました。

実は私、万感・・・胸がいっぱいなのです。

それは、小児ガンの子供たちに少しでも夢を与え、ということで、これに一番早く地区で手を上げて、その推進をしているのが渡邊ガバナーでございます。私も孫もおりますし、たくさんの子供たちを抱えて、その思いをいたせばじっとしてられません。盛岡に帰りましたら、まずは病院、そしてクラブから募金活動をしようと、このように思っております。

この間、施設を訪れましたときに、市役所から

記念懇親会

会場／ホテルスエヒロ

司会：細田 光人

16：30	開 場		
16：35	開会の挨拶	ガバナー	渡 邊 恭 久
	歓迎の言葉	大会実行委員長	篠 島 弘
	乾 杯	ガバナーエレクト	佐々木 正 丞
	アトラクション		
17：55	閉会の挨拶	地区代表幹事	神 部 洋 史
	「手に手つないで」	ソングリーダー	鷲 尾 昌 法





開会の挨拶

ガバナー 渡邊 恭久

こんばんは。いよいよフィナーレであります。
今日まで滝川クラブ、100人を切りましたけれども96名であります、一丸となってこの日のために準備を続けてまいりました。
ようやく最後のフィナーレになりました。
食べ物の恨みは末代までも言いますけれども、

十分用意しております。
どうかこの2日間の出会い、或いは真面目なセミナーへの参加、そのような汗を流してくつろいで下さい。
どうもありがとうございました。



歓迎の挨拶

地区大会実行委員長 篠島 弘

皆様、お疲れ様でした。
この雨の中バスに乗りながら、それから車に乗りながらこの会場に辿り着いたと言いますか、かなり疲れきっているんじゃないかと思えます。
一昨日のゴルフ大会、それから昨日、と毎日札幌から通ってこられた会員もいまして非常に感激

しております。
今日のこの会場は全館ロータリークラブで貸し切って、地区大会のために用意をしております。
長い話は止めにして、食べて飲んで語って楽しい時間を過ごしてください。



















表彰者名簿

10月4日(日) たきかわ文化センター

■ R I 会長賞 (2008-2009年度)

千歳セントラルRC 白老RC

■ ローターリー財団表彰 (2008-2009年度)

● 財団一人当り寄付額優秀クラブ

第1位	札幌西RC	\$ 278.52
第2位	芦別RC	\$ 220.67
第3位	苫小牧北RC	\$ 199.50

● 財団寄付優秀クラブ

第1位	札幌RC	\$ 21,400.00
第2位	札幌西RC	\$ 17,989.77
第3位	札幌東RC	\$ 15,540.00

● メジャードナー表彰

矢橋 温郎 (札幌西RC)
池垣 清信 (函館東RC)

■ (財)ロータリー米山記念奨学会表彰(2008-2009年度)

● 達成クラブ表彰

札幌RC (4千万円達成)
室蘭北RC (1千万円達成)
苫小牧北RC (2千万円達成)

● メジャードナー表彰

西川 昇 (岩見沢RC)
矢橋 温郎 (札幌西RC)
谷口 二郎 (札幌西北RC)
神谷 英光 (札幌真駒内RC)
吉村 洋吉 (札幌真駒内RC)
岩城 秀晴 (札幌南RC)
福田 武男 (千歳RC)
太刀川善一 (函館RC)
酒井 正人 (函館五稜郭RC)
池垣 清信 (函館東RC)
小笠原 孝 (函館北RC)
伊藤 長英 (苫小牧北RC)

■ R I 会員増強推進計画表彰(2008-2009年度)

江別西RC
室蘭北RC

■ R I 会員増強・拡大賞 (2008-2009年度)

江別西RC
札幌RC
札幌大通公園RC

■ R I 小規模クラブ会員増加の表彰(2008-2009年度)

札幌大通公園RC

■ R I 会員増強目標達成賞 (2008-2009年度)

江別西RC	えりもRC
札幌大通公園RC	様似RC
千歳セントラルRC	室蘭北RC
由仁RC	白老RC

■ ガバナー特別表彰

(1) 個人表彰

- ① 室蘭北ロータリークラブ：廣瀬 禎会員
表彰理由：長年にわたり室蘭市内を貫流する「知利別川」の環境整備に対して
- ② 江差ロータリークラブ：今川 徳郎会員
表彰理由：クラブ創立以来48年間、指導者として活躍。また赤ひげ先生と呼ばれるほど、町医として地域に貢献されたことに対して

(2) クラブ表彰

- ① 札幌東ロータリークラブ
表彰理由：他地域の先頭に立って、ヒブワクチン接種促進運動を展開した社会奉仕活動に対して
- ② 函館北ロータリークラブ
表彰理由：長年にわたる洞爺丸慰霊碑の補修、清掃に取り組んでいる活動に対して

永年出席100%会員表彰 (敬称略)

40年

クラブ名	名	前	クラブ名	名	前
赤平	西沢	良知	札幌東	吉山	八郎
余市	柳田	貞夫	函館北	森	秀樹

35年

クラブ名	名	前	クラブ名	名	前
芦別	小西	修身	札幌西	佐藤	裕一
	森沢	勲	札幌真駒内	金井	義司
札幌	荒	紀男		黒田	一夫
倶知安	中井	宏治	室蘭	鴨井	清成
函館亀田	江瑞	章	苫小牧北	伊藤	竹雄

30年

クラブ名	名	前	クラブ名	名	前
赤平	岡田	知治	当別	泉亭	俊徳
	藤永	貞治		千葉	一男
札幌西北	富岡	公治	札幌南	畑中	俊介
	大橋	陸男	札幌東	青木	功一
札幌幌南	田中	賢一		関堂	勝幸
小樽	鮎谷	佳一	洞爺湖	三浦	昭三
蘭越	堀川	強太郎	苫小牧	斑目	広行
函館亀田	西川	忠弘		畠山	則繁
浦河	前田	紘陽			

25年

クラブ名	名	前	クラブ名	名	前
羽幌	伊原	重孝	深川	大西	道祥
	佐々木	武		渡辺	一義
赤平	田中	良一	美唄	阿部	稔
	渡部	芳巳	札幌西北	西岡	憲廣
	宮川	徹	札幌南	西川	哲也
岩見沢	小坂	昭男		武部	實
札幌真駒内	藤井	久弥		坪田	幸栄
余市	森	義彦		末廣	孝
室蘭北	川本	康裕	千歳	矢萩	富士雄
室蘭	斉藤	修弥	室蘭東	川畑	武裕
函館	百合	宣博	函館五稜郭		貞森
函館東	菅原	憲夫			晃
					酒井
					正人

20年

クラブ名	名	前	クラブ名	名	前
赤平	尾崎	清富	滝川	篠島	弘
	武藤	哲雄		佐藤	佳朗
	伊藤	和敏		鈴木	英也
	布施	洋一		伊藤	広志
	若林	弘基	岩見沢	荒岡	春雄
	横岡	潤一		西尾	行夫
当別	近藤	勝宏	岩見沢東	碓井	佚弥
札幌モーニング	堀川	孝明	札幌北	城木	浩一
札幌	廣川	雄一	札幌手稲	丹羽	祐而
	杉野目	浩		酒井	孝夫

クラブ名	名	前	クラブ名	名	前
新札幌	五十嵐	勤	小樽南	大黒屋	宏玄
余市	高見	祐司		福島	正紘
蘭越	志比川	武	静内	市毛	満
室蘭北	久保	隆司		北村	和也
	加藤	栄吉	室蘭	木下	博
伊達	川岸	洋一		国田	雅弘
函館	工藤	敏夫	函館北	小笠原	孝
	額賀	康之	函館五稜郭	今	均
苫小牧	板谷	實			

15年

クラブ名	名	前	クラブ名	名	前
赤平	石野	茂	岩見沢	荒木	敏博
岩見沢東	竹村	正義	滝川	今野	正一
江別西	上田	芳明	江別	金田	敏雄
	後藤	一昭		林	重樹
札幌モーニング	吉田	義一	札幌西北	小川	眞治
	中田	繁一	札幌北	片岡	是充
札幌はまなす	戸部	アマリヲ	札幌西	高下	泰三
札幌	濱野	信二	札幌手稲	長谷川	壽朗
	田嶋	忠義	小樽南	斎田	義孝
	櫻井	政経	蘭越	本間	義明
札幌東	藤井	英勝	千歳	浅沼	廣幸
	島田	保久		菅原	文雄
	須田	幸男	由仁	大坂	直人
室蘭北	野村	滋	函館セントラル	鍋谷	操子
	松島	茂	函館五稜郭	坪内	繁
洞爺湖	阿野	康春	苫小牧	紺野	誠一
浦河	今	朝光		千葉	辰一

10年

クラブ名	名	前	クラブ名	名	前
赤平	大坂	晃	岩見沢	五十嵐	閣
江別	奥野	一嘉		竹内	友康
	松山	敏則		武蔵	輝彦
札幌北	高橋	麗秋	当別	辻	伸行
札幌西	橋本	信夫	札幌	長井	伸樹
	武藤	順		指川	司
札幌手稲	阿部	光行		吉田	宏
	中川原	憲	札幌南	ト・ト・カ行	池
札幌真駒内	中原	孝	札幌東	佐藤	芳郎
札幌清田	阿部	哲夫		和田	雅博
小樽南	加藤	正幸		矢橋潤一郎	
	相馬	哲也	室蘭北	神島	章
室蘭	内山	博	函館五稜郭	後平	幸太郎
	鴨井	清貴	苫小牧	市町	峰行
	平野	和典	浦河	大谷	律子
千歳	酒井	宏			



ロータリー財団表彰 (敬称略)

<マルチプル・ポール・ハリス・フェロー>

クラブ名	名	前	回数	クラブ名	名	前	回数
深川	川	児島	俊一 (1)	札幌あけぼの	安澤	正美 (2)	
		成田	雅敏 (1)	札幌はまなす	戸部アナマリア	(2)	
羽幌	幌	成澤	卓爾 (2)	札幌北	福田十太郎	(2)	
		武田	秀夫 (1)		樋口	正明 (3)	
留萌	萌	中川	勝美 (1)		谷口	良一 (3)	
		関野	政人 (2)	札幌モーニング	藤森	敏昭 (1)	
赤平	平	赤川	清介 (1)	札幌西	伏木	忠了 (3)	
		西沢	良知 (1)		石丸修太郎	(1)	
芦別	別	川島	昭二 (1)		高下	泰三 (4)	
		櫻井	祝 (1)	札幌西北	小川	真治 (3)	
		関口	孝八 (1)		大島	利一 (2)	
砂川	川	竹田	俊一 (1)	札幌手稲	阿部	光行 (1)	
		山田	信一 (1)		石田	誠 (5)	
滝川	川	細田	光人 (3)	札幌東	朝倉	正人 (2)	
		泉	敬止 (1)		広瀬	清 (4)	
		神部	洋史 (4)		名塩良一郎	(4)	
		中島	健 (6)		西村	孝治 (1)	
		野田	富夫 (1)		関根	光晶 (1)	
		和作	康市 (1)		白石	正勝 (4)	
		柳	義文 (3)	札幌清田	阿部	哲夫 (2)	
		吉田	正治 (8)		三戸	和昭 (2)	
江別	別	金田	敏雄 (1)		西澤	寛俊 (1)	
		柏尾	隆史 (1)	札幌幌南	深貝	亨 (1)	
		佐伯	宮彦 (1)		近藤	浩 (1)	
江別西	西	増山	柳 (1)		三国	信樹 (1)	
		島崎	修 (1)		土谷	享 (3)	
岩見沢	沢	北市	宗三 (2)		内田	豊 (1)	
		小林	弘明 (3)		山下	信行 (1)	
		佐藤	紀征 (7)	札幌真駒内	吉村	洋吉 (8)	
岩見沢東	東	稲垣	政敏 (1)	札幌南	川井	一男 (2)	
		坂口	堅一 (2)		南舘	全次 (2)	
		渡辺	博人 (2)		夏井坂	信幸 (1)	
		渡辺	劭 (2)		山口	潔 (1)	
栗山	山	小寺	進 (1)	新札幌	梅田	鉄夫 (1)	
当別	別	近藤	勝宏 (1)	小樽南	福島	正紘 (2)	
		泉亭	祐司 (1)		岡崎	芳明 (2)	
札幌	幌	市川	唯行 (5)		大橋	一弘 (1)	
		松本	脩三 (5)		斎田	義孝 (2)	
札幌あけぼの	の	秋野	公孝 (1)		立森	成芳 (2)	
余市	市	谷川	淑郎 (4)	室蘭東	金澤	智光 (1)	
千歳	歳	末広	孝 (1)		黒田	秀雄 (1)	
恵庭	庭	藤井	哲夫 (2)		松田	幹人 (1)	
		弘中	正利 (2)		村木	一夫 (1)	
		大川	健一 (2)		佐々木	勝男 (1)	
		山澤	興治 (1)	函館セントラル	伊藤	道雄 (3)	
長沼	沼	天野	敦子 (1)	苫小牧北	菊地	芳彦 (2)	
		青木	雄一 (1)		紺野	誠一 (5)	
		清水	彰 (1)		高橋	康則 (1)	
		高木	繁秀 (1)		田辺	信夫 (1)	
室蘭	蘭	木下	博 (1)				

<ポール・ハリス・フェロー>

クラブ名	名	前	クラブ名	名	前	
深川	川	大西	祥太	札幌西北	小林	義伸
羽幌	幌	工藤	喜一		谷口	恵美子
		忠津	章	札幌東	関根	光晶
赤平	平	佐藤	元紀		安田	經
芦別	別	荒川	忠義	札幌清田	小島	健
		角幡	裕明		三澤	龍子
		野口	英明		村本	忠
		沼前	治孝	札幌幌南	佐々木	雅之
		滝	勝美		下出	道弘
砂川	川	山崎	義彦	札幌南	榎引	拓禎
滝川	川	宮崎	英彰	新札幌	伊藤	豊
		相馬	隆男	倶知安	石本	要
		菅原	章二		斎藤	知之
		山口	清悦		鈴木	保昭
江別西	西	服部	涉	小樽南	工藤左	千夫
		滝沢	仁	余市	本多	宏行
岩見沢	沢	北澤	治雄		清水	義信
		竹内	友康	千歳	本宮	輝久
		山本	辰勇		酒井	宏
栗山	山	山崎	信治		瀧澤	順久
当別	別	浅野	政一	千歳セントラル	須藤	丈
		見上	喜久雄	恵庭	宮内	光則
		永上	巖		斉藤	茂生
札幌はまなす	な	松尾	浩之	由仁	蜂谷	光雄
		光川	眞量	静内	天野	晴緒
		柳井	康晴		在田	恒昌
札幌西北	北	秋山	秀雄		大森	康正
伊達	達	浅水	勝男	函館亀田	金澤	浩幸
室蘭	蘭	吉澤	政彦		笹川	哲二
室蘭東	東	橋本	昭道	森	近藤	宣明
		小林	進		野田	剛
室蘭北	北	中田	孔幸	江差	前川	敏雄
		斎藤	泰成	函館五稜郭	鈴木	良二
		菅原	悦子	北斗	佐藤	竜也
登別	別	千葉	泰二	白老	山手	康
		仲川	弘誓	苫小牧	渡辺	健治
函館亀田	田	円馬	正博	苫小牧北	朝倉	瑞昌

<ベネファクター>

クラブ名	名	前
札幌はまなす	遠島	芳然

(財)ロータリー米山記念奨学会表彰 (敬称略)

<米山功労者マルチプル>

クラブ名	名	前	回数	クラブ名	名	前	回数
深川	板倉	克宏	(2)	岩見沢東	津元美智代	(2)	
	中澤	清	(4)	栗沢	井形昇	(5)	
羽幌	田原	昇一	(3)	札幌	伊藤義郎	(4)	
留萌	関野	政人	(2)	札幌あけぼの	安澤正美	(4)	
	田中	公一	(9)	札幌はまなす	大石春雄	(5)	
砂川	山田	信一	(2)	札幌北	福田十太郎	(7)	
滝川	細田	光人	(5)		樋口正明	(5)	
	川口	義弘	(3)		長太義雄	(3)	
	中島	健	(8)		竹原巖	(9)	
	篠島	弘	(5)	札幌モーニング	藤森敏昭	(4)	
	鈴木	忠男	(5)		平田博史	(4)	
美唄	大竹	繁夫	(5)		梅津征夫	(4)	
江別	郷	和平	(2)	札幌西	石丸修太郎	(2)	
岩見沢	青木	司	(4)		森谷明弘	(6)	
	北市	宗三	(4)		矢橋温郎	(14)	(メジャードナー)
	向田	甚市	(4)	札幌西北	谷口二郎	(36)	(メジャードナー)
	西川	昇	(10)				
			(メジャードナー)	室蘭	木下博	(7)	
札幌手稲	網干	要	(2)		松岡健一	(6)	
札幌東	荒岡幹史郎	(4)		函館	太刀川善一	(13)	(メジャードナー)
	広瀬	清	(5)	函館亀田	黒川則男	(2)	
	奥村	義夫	(6)	七飯	上野一義	(6)	
	平	公夫	(4)	函館セントラル	伊藤道雄	(4)	
札幌清田	阿部	哲夫	(2)	函館五稜郭	後平幸太郎	(3)	
札幌幌南	羽部	大仁	(5)		石尾清広	(3)	
	近藤	浩	(4)		川上誠	(3)	
札幌真駒内	神谷	英光	(11)		河村隆平	(4)	
			(メジャードナー)		菊地喜久	(3)	
	金坂	和正	(5)		小坂三男	(3)	
	中原	孝	(7)		大日向豊吉	(3)	
	吉村	洋吉	(19)		酒井正人	(11)	(メジャードナー)
			(メジャードナー)		鈴木良二	(2)	
札幌南	青木	健次	(2)		當摩浩平	(3)	
	岩城	秀晴	(10)		藪下明	(3)	
			(メジャードナー)	函館東	池垣清信	(21)	(メジャードナー)
	小林	昌志	(9)				
	熊本	努	(2)		松山茂	(2)	
	黒田	忠	(2)		宮崎あけみ	(2)	
	トキカグサケン	(9)			森元浩	(7)	
	澤田	隆一	(2)		渡辺友子	(5)	
	佐藤源五郎	(4)		函館北	小笠原孝	(11)	(メジャードナー)
小樽南	新倉	吉晴	(2)				
千歳	藤本	敏廣	(2)	苫小牧北	伊藤長英	(31)	(メジャードナー)
	福田	武男	(13)				
			(メジャードナー)				
	中山	和朗	(2)				
長沼	清水	慧子	(4)				

<米山功労者>

クラブ名	名	前	クラブ名	名	前
深川	林	憲雄	札幌北	阿部	弘
	宮岸	徹二	札幌西北	出口	修
留萌	河部	勲		小林	義伸
砂川	川	島山		横山	勲
		豊	札幌手稲	阿部	光行
		高橋	札幌東	西村	孝治
滝川	川	藤井	札幌清田	小仲美智子	
		照也	札幌幌南	松根壽史男	
		菅原	札幌真駒内	柴田	薫心
札幌	幌	佐々木	浦河	大針	道生
札幌あけぼの	秋野	公孝		富田	輝次
札幌南	菊池	恒	伊達	新井田	孝
	三浦	義昌	室蘭東	遊佐	潤
	中道	博	室蘭北	及川	力
	山口	潔	函館亀田	松田	武
札幌大通公園	田中	利男	函館五稜郭	蝦名	康夫
小樽南	荒田	一正		林	真彦
	福島	正紘	函館東	池垣	信一
	野村	定玄	白老	加藤	信雄
	白石	亨一	苫小牧北	朝倉	瑞昌
余市	本多	宏行		広島	薫
千歳	浅沼	廣幸			
静内	在田	恒昌			

<米山功労クラブ>

クラブ名	回数	クラブ名	回数
深川	(13)	札幌真駒内	(23)
滝川	(25)	新札幌	(14)
美唄	(9)	小樽南	(9)
札幌	(25)	余市	(3)
札幌北	(24)	千歳	(6)
札幌モーニング	(14)	長沼	(3)
札幌西	(22)	室蘭	(7)
札幌西北	(14)	函館五稜郭	(17)
札幌東	(35)	函館東	(21)
札幌清田	(3)	苫小牧北	(15)
札幌幌南	(17)		



物故会員ご尊名



札幌幌南（第5グループ）

名誉会員 ^{あさ い まさ お}
浅井 雅 雄

平成20年8月17日ご逝去（享年82歳）



札幌手稲（第4グループ）

バスターガバナー ^{しら いし きん いち}
名誉会員 **白石 欽 一**

平成20年11月6日ご逝去（享年89歳）



札幌東（第5グループ）

^{つち くら ひろ ゆき}
土倉 裕 之

平成20年11月7日ご逝去（享年57歳）



滝川（第2グループ）

^{ささ き かず ゆき}
笹木 和 幸

平成20年11月27日ご逝去（享年64歳）



新札幌（第5グループ）

^{はら ぐち しん いち}
原 口 伸 一

平成20年12月4日ご逝去（享年73歳）



函館五稜郭（第11グループ）

名誉会員 ^{たき の とし や}
瀧野 敏 弥

平成20年12月10日ご逝去（享年85歳）



函館亀田（第10グループ）

^{ほり よし お}
堀 好 夫

平成20年12月10日ご逝去（享年57歳）



倶知安（第6グループ）

^{す どう ひさ お}
須藤 久 男

平成21年1月14日ご逝去（享年74歳）



札幌はまなす（第4グループ）

名誉会員 ^{さか た ひろし}
坂 田 博

平成21年2月5日ご逝去（享年88歳）



室蘭東（第9グループ）

^{より き せい じ}
寄 木 清 二

平成21年2月15日ご逝去（享年60歳）



函館（第10グループ）

^{さ はら しょう ぞう}
佐原 正 三

平成21年2月22日ご逝去（享年74歳）



岩内（第6グループ）

^{ひら の さとる}
平野 了

平成21年2月28日ご逝去（享年79歳）



札幌東（第5グループ）

^{ふじ た やっ か}
藤田 八 束

平成21年3月11日ご逝去（享年87歳）



恵庭（第7グループ）

^{たけ うち とし お}
竹内 敏 雄

平成21年3月21日ご逝去（享年83歳）



函館五稜郭（第11グループ）

名誉会員 ^{やま がた みち ふみ}
山形 道 文

平成21年3月30日ご逝去（享年81歳）



函館北（第11グループ）

^{ち ば あきら}
千葉 昭

平成21年3月30日ご逝去（享年56歳）



岩内（第6グループ）

^{みや たに さとる}
宮谷 悟

平成21年5月2日ご逝去（享年45歳）



滝川（第2グループ）

名誉会員 ^{かん べ こう じ}
神部 弘 二

平成21年6月26日ご逝去（享年94歳）



小樽（第6グループ）

^{かみさんごう まさ あき}
上参郷 真 章

平成21年7月21日ご逝去（享年84歳）

来賓・招待者ご芳名 (敬称略)

《来 賓》

北海道知事 高 橋 はるみ 様
滝川市長 田 村 弘 様

国際ロータリー会長代理 田口 良一 様
(第2520地区パストガバナー 盛岡北RC)

国際ロータリー会長代理令夫人 田口 絢子 様
(第2520地区会長エレクト 盛岡北RC)

《招待者(地区外)》

第2590地区ガバナー 野坂 定(横浜中RC)
第2640地区ガバナー 村上 有司(田辺RC)
第2640地区ガバナー令夫人 村上 和子
第2500地区ガバナー 山本 信男(旭川東RC)
第2500地区ガバナー令夫人 山本 陽子
第2500地区パストガバナー 足立 功一(釧路北RC)
第2500地区パストガバナー令夫人 足立 柳理
第2590地区パストガバナー 亀ヶ谷邦博(横浜港北)
第2590地区パストガバナー令夫人 亀ヶ谷純子
第2500地区パストガバナー 小船井修一(釧路RC)
第2500地区パストガバナー 清水 幸彦(釧路RC)
RI日本事務局 財団室室長 片岡 暎子(川口西RC)
(財)米山記念奨学会事務局長 坂下 博康(東京北RC)
ロータリーの友 編集長 二神 典子

韓国第3700地区

総 裁 宋 俊 起(大邱NEW八公)
前 総 裁 南 星 姫(大邱睡蓮)
前総裁夫君 金 潤 起(大邱)
前 総 裁 朱 七 錫(大邱東成)
次期総裁 李 相 喆(北大邱)
総裁補佐 金 喆 鎬(西大邱)
総裁補佐 都 載 英(大邱天馬)
地区広報委員長 金 重 坤(大邱大原)
地区研修リーダー 崔 鳳 洵(東大邱)
ロータリー家族委員会委員長 李 貞 常(大邱木蓮)
事務次長 千 萬 福(中大邱)
事務次長 宋 春 姫(大邱美知)
事務次長 金 福 南(大邱睡蓮)
会 員 田 英 子(大邱美知)
会 員 姜 鎬 榮(大邱NEW八公)
会 員 朴 海 淑(大邱美知)
会 員 郭 明 花(大邱美知)

〈地区外〉

第2500地区地区幹事 太田 英司



特別参加者名簿

■インターアクトクラブ

- 札幌龍谷学園高校 I A C (札幌モーニング)
岡部 文佳 赤坂 大介 家藤アユミ
田口 佳奈 亀井 茉琳 松尾ひより
- 札幌山の手高等学校 I A C (札幌西北)
森 勝繁 金城 綾佳 太田麻奈美

■ローターアクトクラブ

- 赤平 R A C (赤平)
布施 年啓 立川真由美 関戸 祥子
工藤 睦美 三浦佐知子
- 札幌幌南 R A C (札幌幌南)
安藤由香里 川下 和光 小坂 規裕
三田 宏和 相馬 孝江
- 千歳 R A C (千歳)
吉岡 毅 丹野 夏海
- 室蘭北 R A C (室蘭北)
有賀 佑樹

■交換留学生

- 札幌北 レイチェル・バーケート
- 札幌西 エンニ・セツパラ
- 札幌手稲 サイモン・バーグ
- 新札幌 リンジー・ニコル・マーズ
- 札幌東 ティファニー・ミッシェル・サーベン
- 千歳セントラル エミー
- 由 仁 ジョナサン・ポートン
- 白 老 服巻 星伽
- 恵 庭 村山はるか

■ROTEX

- 恵 庭 村本 麻衣 久野 翼

■米山奨学生

- 札幌北 裏 卿辰
- 札幌はまなす 金 銀珠
- 札幌 陳 敏
- 札幌手稲 グイエン・ティファン
- 札幌あけぼの 趙 希鵬
- 新札幌 司 娟瑤
- 札幌南 ミヒライ・ウィーリ
- 小 樽 侯 勇
- 恵 庭 閨 露
- 登 別 フタバラット・ナウアス・
ドムマリホット・ロマウリ
- 函館セントラル 金 誠勇

■米山学友

- 札幌清田 林 岳毅

■RCC

- 苫小牧北 吉本 正勝 伊藤 惇

■GSE

- 羽田野真須美 (札幌東RC推薦)
- 松本 かな (札幌北RC推薦)
- 鈴木 洋史 (札幌手稲RC推薦)
- 竹内 孝 (札幌清田RC推薦)

地区大会登録者名簿 (敬称略)

■第1グループ

深川RC

昨年創立50周年を迎える事ができました。今年は「エンジョイ・ロータリー、アゲイン」をスローガンとし、次の半世紀に向け、決意を新たにスタートを切りました。

板倉克宏	渋谷賢治	長谷川幸央
伊藤崇	水村修	水上真由美
大西祥太	鈴木聡	藪口俊二
大西道祥	寺岡義人	村中俊祐
小野昭郎	永井久之	森田圭二
北村幸雄	中公一郎	山田圭二
轡田光章	中澤清彦	吉本勲
児島俊一	成田昭雅	水渡一
佐々木弘	成田雅敏	

羽幌RC

1979年創立以来、30年の歴史を歩んでまいりました。これからの地域社会を担う子供達に「お父さんやお爺ちゃん達楽しそうだね」と言われるような活動を続けてゆきたいと思います。

有澤護	斉藤彰	芳賀光雄
石川士史	藤原照	長谷川裕忠
伊原重孝	佐々木俊一	端原田正
梅田初男	佐野吉庄	東福井俊隆
大石洋健	白幡内秀樹	福井橋川隆智
逢坂健夫	高竹武秀	舟堀本間憲幸
大橋幸紀	竹田津英	堀本間橋
小川原克美	忠立茶	本松森山
小原隆一	治彦一	本松森山
加藤健勝	盛成	
鎌田勝彦		
木田勝喜		
工藤盛		

妹背牛RC

少人数のクラブですが、それを活かし、「会員と家族の融和」と「家族の理解」を図っています。今期は「友誼と奉仕」をテーマに活動していきます。

伊藤馨	三堂	佐藤義明	真鍋	剛
梅澤見	堂	田宗正	村椿	勉
大崎公	介	藤岡明	渡良	和

小平RC

会員数は11人と極めて少なく、会員の増強に頭を悩ましております。しかし、創立以来35年、小平ロータリークラブの歴史の灯を消さないよう、努力して参ります。

板垣良二	東海林孝一郎	元道	勉
伊藤義晴	空橋仁	山内	裕
今村武新	名博	横濱	磨
籠川健二	藤田貢		

留萌RC

「世界三大怒濤と数の子日本一のまち」留萌ロータリークラブは来年50周年を迎えます。「親睦でクラブの活力と結束を、そして奉仕は足もとから。」をテーマに、職業奉仕を通じて地域の再生を目指しています。

明河石遠大行串越斎斎佐々木佐	澤部藤嶋徳橋野藤藤木藤藤	正健光孝幸伸俊清敏寛	樹勲治一広治幸興蔵夫繁潔明	澤清対鈴関高武田中中西	田水馬木野田橋井中川出谷	茂陸一伸人潔佳哲一子美彦治	西二ノ原平深宮森森山渡渡	谷宮田井瀬尾	英清誠晏幸之助俊幹讓英裕	樹信功治男助二雄二次久
----------------	--------------	------------	---------------	-------------	--------------	---------------	--------------	--------	--------------	-------------



第2グループ

赤平RC

まもなく半世紀を迎えようとしている赤平クラブの自慢は、今年で齢（よわい）92歳のチャーターメンバーが現役会員として健在である事と、ローターアクトの若い力の両方を持っている事です。

赤川清介	佐藤節子	藤原洋	税一
石野義雄	藤田哲元	施尾和	俊二
伊藤泉	江島智和	上川三	洸
宇藤啓	隆晃	宮武横	哲
大岡田	知富	若渡	潤
尾崎島	好盛	渡部	弘
木村盛	雄	渡	芳
			巳

芦別RC

創立52年の芦別クラブは、新たな歴史を創造すべく「楽しい例会」を目指しています。ロータリーの森整備事業や駅前花壇整備事業など自然環境の美化活動を行っています。

荒川忠	義雅	小坂雅	規身	道島尚	光吉
石岡垣	勝一	小畑西	修陽	中根中	弘弘
石川洋	一	小斎木	達憲	根橋早	勝之
稲津寿	一	坂坂櫻	一	宗沼早	孝
岩間田	孝	神野	一	森沼早	勲
岡本幸	男	瀬戸	一	山吉渡	進
門田岩	雄	滝竹	勝		二
角幡正	明	多田	康		茂
北村憲	男	土	一		一
北村秀	一				

砂川RC

砂川ロータリークラブは今年、創立40周年を迎えます。来年5月には、記念式典並びに都市連合会の開催を予定しています。多くの皆様にご参加頂けますよう、宜しくお願い申し上げます。

阿石伊	部家藤	博裕德	一二博	近神佐	藤原藤	俊二正	継三夫	福二鉾	家橋井	幹邦直	夫征作
岩内瓜	瀨野	健	悦司	沢沢	田本	幸広	一郎	二鉾堀	江井	和利	美雄
大岡	大橋	俊	雄彦	杉曾	我橋	悦俊	工美	増松	原島	重孝	俊嗣
尾沖	山田	知比	行志	高竹	橋田	秀俊	明一	水三山	塚崎	郁	夫晃
沖奥	中山	呂	馨二	武千	田葉	昭	二清	山山山	下田	義真	史司
小梶	原尾	幸幸	克文	西西	村森	淳直	溢弘	山山山	山田	尚信	二久
北木	谷村	好正	勝喜	二信	川宮	悦博	郎久	山山山	山本	正	洋雄
五小	小林	公	洌民	島	太山	健英	志樹	山山山	川野	富繁	夫
小	林		俊				豊	吉	野		

第3グループ

美唄RC

美しき唄のまち「美唄」は、春と秋にはマガンが飛来する宮島沼や世界的彫刻家 安田侃（やすだかん）氏の作品が並ぶアルテピアッツァ美唄などがある、田園風景の美しい街です。今年は「自他共栄」をテーマに活力あるクラブ運営に取り組んでいます。

阿井海	部門老	義英	一明	高武	田橋	正雄	則誠	本円	田子	俊武	朗保
大岸北	名竹	繁一	元夫	中野	市村	勝廣	弘明	三毛	浦利	清	美德
鬼城高	野原	保静	一郎	坂東	川東	野川	吉浩	森山	田村	誠正	豊進
	野瀬	裕謙	好二郎	二宝	崎	秀錠	碧樹	吉米	森	正	治夫

江別RC

創立50周年を間近に控えた江別クラブです。私達の宝である石狩川や原始林など、緑豊かなこの江別の地を守る為、地域の「良心」たらんと研鑽し、信頼関係作りを邁進しております。

安孫子 建雄 佐伯 宮彦 久富 文子
加藤 正勝 石堂 了正 藤原 敏雄
金田 一夫 武田 孝代 松山 裕則
金田 敏雄 武田 泰一 最上 裕壯
菊田 政徳 津川 清一 島田 欣之
木村 和貢 野村 昌志 人樹
郷平 治 林重
佐々木 光 治 林重

江別西RC

18年目を迎えた会員30名の江別西ロータリークラブです。今年度は「ロータリー活動を身近に感じよう」を目標に、ひとりひとりがロータリー活動を楽しむこと、そして友情を深め、円滑な活動を行えるよう心がけます。

金子 善一郎 鈴木 良二 長谷川 直紀
上田 芳明 添田 則行 支部 英孝
後藤 一昭 高田 寛司 服部 涉
坂本 与市 滝沢 仁一 古石 允雄
穴戸 昭寺 岡秀 一増 山柳
白旗 隆夫 野村 義次 森木 潤一

岩見沢RC

55年の永きにわたり地域社会に、国際社会に多くの活動をしてきました。今年「百年に一度」の世界不況の中「今こそ、我等会員の結束を！」を合言葉に「みんな目指そう明るい未来」を会長方針としました。

青木 稔 嵯峨 義輝 原保 昌
赤山 登 佐藤 紀征 藤田 亨 敦
荒木 敏 博 澤田 慎一 村嶋 亮 哉
五十嵐 閣 田子 敬 三嶋 甚 巖
岡本 等 竹内 守 向田 輝 市
賀好 守 穂 谷 勲 武蔵 部 一 彦
金刺 秀 明 玉 田 忠 矢山 岡 秀 一
兼行 四男 美 中 塚 力 山 根 良 隆
菅野 聖 人 中 路 幹 興 成 裕
倉増 昭 一 中 村 屋 成 裕
倉増 秀 昭 西 方 洋 昭
小坂 昭 男 西 方 洋 昭

岩見沢東RC

会員数35名と決して多くありませんが、団結力があり、アットホームなクラブです。スリランカに於けるブラックボードプロジェクトを実施し、今年で第12回目となる地元サッカー大会の開催など、より地域に密着したロータリークラブを目指します。

稲垣 政敏 滝本 妙子 早坂 哲
上野 弘美 田口 剛志 藤田 文
碓井 佚弥 竹村 正義 古御堂 弘
勝田 秀樹 津元 美智代 松重 彰
坂野 知樹 豊岡 義博 松重 彰
柴野 美智子 西原 宗幸 渡辺 勝
渡辺 治

栗沢RC

会員数24名の小さなクラブですが、会員相互の親睦を深めながら、地域に根ざした活動を心がけ、オープンで和やかな雰囲気、新しい世代にも共鳴してもらえるようなクラブを目指して努力しています。

井形 昇 川幡 直 林 義 明
五十嵐 敏 樹 佐野 邦 夫 本 田 正 一
岩田 隆 鈴木 正 夫 宮 森 俊 一
氏家 則之 高山 松 雄 宮 森 忠 裕
片山 義範 中村 良 臣 吉 永 野 邦
金山 和 西 島 義 孝 吉 野 頭 隆
金山 英 昭 西 村 康 徳 若 浦 俊 夫

栗山RC

栗山ロータリークラブは今年40周年を迎えます。創立以来「職業を通しての奉仕」と「出席率の向上」を柱としてクラブ運営を行ってきました。今後も地域社会の安心・安全に協力するとともに、新会員の増強に努め、財政基盤の強固なクラブにしたいと考えています。

阿部 式良 小寺 進 松下 留 雄
磯野 武司 小室 雅 裕 松原 正 和
今井 敏明 佐坂 卓 史 丸山 紘 司
太田 ヒロ子 関 吉 一郎 山崎 信 治
椀澤 忠彦 利国 奈美子
小島 茂 広岡 秀博

当別RC

当別町を開拓した伊達藩とのつながりで、岩出山RCと姉妹クラブとなり交流を深めています。また姉妹都市であるスウェーデン・レクサンド市のRCとも交流しています。今年は「福祉まつり」への参加、町内花壇の植栽など、地元地域に密着した活動を活発に行っています。

浅野 政一 島田 裕司 福井 昭 和
大澤 勉 島 義 慈 六 角 英 一
近藤 勝 宏 泉 亭 俊 徳



第4グループ

札幌RC

昭和7年日本で8番目のクラブとして創立され77年目を迎えました。創立以来、会員の親睦とロータリーの綱領の実践に努め、これまで道内10クラブの創立にスポンサーの役目を果たして参りました。現在120名の会員が、その長い歴史と伝統を継承し、その活動を実践しております。

相天荒淡井岩荻柿勝加久栗小小齋櫻佐	茶野路垣崎谷本木藤保林澤橋藤井	俊雍一男均二充剛昭也昌健司寛男之経子	介一郎均二充剛昭也昌健司寛男之経子	佐々川清水新高高武武田土富鳥中中夏	木川水蔵薄橋田見島原部井田山目	正佳博浩雄圭幸錠隆千伸隆輝祝	丞司人雅志介策紀二男治三薫司尋樹博夫茂夫	波成西野橋原平廣古三村倭山山横吉渡	岡地岡村本塚川野好川中本沢田留辺	滋勉明孝明享努一幸裕次則夫裕朗宏夫悟
-------------------	-----------------	--------------------	-------------------	-------------------	-----------------	----------------	----------------------	-------------------	------------------	--------------------

札幌あけぼのRC

札幌あけぼのクラブは20年前、札幌手稲クラブを親クラブに誕生、さらに40年遡る札幌西クラブの孫クラブになります。昨年から石屋製菓「白い恋人パーク」で例会を行っています。天然芝の美しいグラウンドを眺めながら食事をする快感を是非一度メーカーキャップで味わって下さい。

秋笠久斉鈴	野原住藤木	公嘉淳徹	孝郎博一雄	砂高高柘永	原坂橋植田	雅輝徳保省	治雄友昭三	中三蓑安	野浦輪澤	裕永眞正	之一子美
-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	------	------	------	------

札幌はまなすRC

石狩市と札幌北区にまたがる地域の19名の会員で構成されております。例会はアットホームな雰囲気です。ユーモアが溢れ、出席率もぐんぐん上昇しています。石狩市ボランティア活動、米山奨学生の世話クラブ、カウンセラーなどの活動に積極的にかかわっています。

愛青大岡小山	須木石西内	一貞春繁	史康雄功樹	金菊北坂玉	盛地川田造	克為敏文啓	之次夫正子	丹野光	羽村川	勝眞	肇隆量
--------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-----	-----	----	-----

札幌北RC

女性5名を含む会員43名で「ロータリーライフを楽しく」をテーマに今年度の活動をスタートしました。来年40周年を迎えるにあたり、ロータリーをより理解し、各々の委員会活動を知り、活性化を図りたいと考えています。

相阿大栗小小佐	沢部西原小林川	芙すみ清幸俊晋	束弘勲昭子之博一	佐々木藤味木原橋原田	仕宏宏明一治秋巖侍	出長灰樋深福牧	村太野口浦田野	知佳子義正信十太郎一
---------	---------	---------	----------	------------	-----------	---------	---------	------------

札幌モーニングRC

創立22年、会員数51名、平均年齢が60才になりましたが、まだまだ若いクラブです。北海道では唯一朝例会を行っています。植樹活動を積極的に展開し、地元小中学校の他、礼文島でも行っています。旭川・青森・川口・京都の各モーニングクラブとは友好クラブ締結をし、共に行う社会貢献を模索しています。

石川大太加賀亀川	川野田泉田我來川村	雅幹芳勝昌紀	啓二智史清久稔亨一幸	児齋酒神塩篠田武田	玉藤井山野原上田中	芳貴誠悠紀達建燈裕	明之一士寛雄夫司一之	露平広藤堀山吉若	木田瀬森川賀田松	博敏孝英義	茂史進昭明司一孝
----------	-----------	--------	------------	-----------	-----------	-----------	------------	----------	----------	-------	----------

第5グループ

札幌西RC

創立1960年9月27日、30余名にて発足以来、来年度50周年を迎えるに至る。会員数最大145名を擁するも時の流れと共に以後漸減、現在60余名となる。日出ずる東に非ずと雖も、日没する西に非ずと、奉仕の理想に燃ゆる思いは聊かも衰えず、一騎当千の武者一同日々奉仕の活動に専念す。

浅雨石石伊上大岡川川北工	野貝黒谷丸藤出岡田端島藤	元尚直邦修千利武繁忠憲	広子文彦太郎秋光夫美弘範清生	阪佐三高高武田徳中中中浜	崎渡瓶下橋田宮田道村松	健宏広泰清慎哲禎雅浩真義	治樹幸三子智子夫久克一規弘	朗樹幸三子智子夫久克一規弘	福伏舩前宮武村森八矢矢吉	井木越原崎松藤上谷木橋橋村	文忠裕綯善明昌登温己	弘了勝子昭忍順登弘興美子郎己
--------------	--------------	-------------	----------------	--------------	-------------	--------------	---------------	---------------	--------------	---------------	------------	----------------

札幌西北RC

「明るく、楽しく、出席しやすいクラブ」をモットーに活動を行っております。家族含めた親睦活動が充実し、女性会員も4名が在籍、重要な役割を果たしております。メーカーに訪れるビジターから「雰囲気が良い」とお褒めの言葉を頂きます。

穴池上大大大小加	倉上野島野橋川藤	彌喜勝利裕義陸眞武	彌重邦一子雄治久	茅久小林嶋谷多	野保小林和恵美朗豊修	紀秀義和恵美朗豊修	行隆樹伸幸美子朗豊修	遠中松三森八吉渡	島嶋岡下上本木田邊	芳成憲徳直正建聡葉	然実廣良彦夫真子
----------	----------	-----------	----------	---------	------------	-----------	------------	----------	-----------	-----------	----------

札幌手稲RC

1970年に創立、40年を迎えます。現在の会員数は34名で、会員の所在地は札幌市全域に及びます。当クラブの最大の特徴は土曜日例会です。平均年齢は60才を超えていますが、先輩会員の元、まとまりの有るクラブとして奉仕活動を行っています。

粟池宇小三高	津野山戸橋	健太郎陽昭昭美雄	中長肘平福尾	村谷川井川福尾	和壽博香敬俊	雄朗行織悟太郎	山地山吉渡	庸本田辺	夫雅守里	章宏代子
--------	-------	----------	--------	---------	--------	---------	-------	------	------	------

札幌東RC

創立50周年を終え、「個の輝きで、更なる魅力あるロータリー」の会長方針の実現に向け、新たな一歩を踏み出しました。会員同士、職業倫理を正した職業紹介を行い、お互いの「絆」を深め、信頼を醸成し、情報発信する事に取り組んでいます。

赤泊史昭小池明夫蓮井智己	朝倉正人齋藤隆聖林東博己	荒岡幹史一郎齋藤正裕純一坂東宗清	伊藤栄清修一幸一進行正之	犬岩上梅大奥小笠柏加川河菊熊	嶋崎嶋崎田沢山貫切原藤幡原地谷	英泰一房昇誠國宏清	一彦一光章滿	尾堂根公俊孝房碩孝	昌勝光一郎徹朗子樹喜治	矢山山山吉吉米和渡	八山山山吉吉米和渡	井本橋口田中野山澤田辺	潤史範次泰八佳一哲	高勝松徹一郎保樹郎司郎晃仁則
--------------	--------------	------------------	--------------	----------------	-----------------	-----------	--------	-----------	-------------	-----------	-----------	-------------	-----------	----------------

札幌清田RC

1997年札幌南ロータリークラブをスポンサーとして創立しました。今年会長・幹事とも女性で、家族との親睦と交流に力を入れ、楽しくきめ細やかなクラブ運営をして参りたいと思います。児童養護施設への支援としてスポーツ観戦招待を行います。

阿部小高	部口島仲藤橋	哲美洋宣	夫洸健智子之充	玉丹中永中西	井治島見村澤	清久昭昭隆俊	沼真三三宮村	錦鍋澤戸村本	昌龍和素	菜市子昭子忠
------	--------	------	---------	--------	--------	--------	--------	--------	------	--------



札幌南RC

来年1月創立45周年記念式典、祝賀会を挙げていただきます。記念事業として小学生による親子暗唱大会を札幌市教育委員会、小学校校長の後援をいただき実施します。当クラブでは札幌市内唯一RACを有しており、RACも参加する移動例会、奉仕活動を積極的に行っております。

伊藤嘉英	黒濟敏秀	中野	勉
内田豊小	林司	野部大	仁
海野英爾	関田功	針谷博	毅
梅原次男	高島英	深田恒	司
大作佳範	田澤泰	前田恒	雄
大友建	淳谷明	舛田雅	彦
奥村建	夫尾壽	三国信	樹
鎌田英	寺嶋忠	柳孝	一
北川好	戸井敏	我妻	章
熊谷泰	中川信	和田	三
熊坂峻	長沢祐		純

札幌真駒内RC

少数ながら親睦を中心とした家族的なクラブです。会員の減少を食い止め新しい会員の増強と各奉仕活動を充実させていきたいと考えております。丸山パストガバナーの楽しいお話を聞くためにも、是非メーカーキャブに訪れてください。

金坂和正	渋谷良治	丸山恭子
神谷英光	中川雄一	丸山淳士
黒田一夫	中村孝一	吉村洋吉
齋藤康嗣	中村裕視	
柴田薫心	南部昭憲	

札幌南RC

1956年34名の会員で発足し、以来50年余年にわたり、「なごやぎ」の精神をモットーに会員相互の親睦、交流を深めて参りました。今年は「ロータリーは私たちの心のオアシスです」をテーマとし、ロータリーが楽しい時代を生き抜く心の糧になればと考えています。

網野泰文	黒田忠	富樫昭	夫之
荒井井	藤元護	徳中征	幸也
岩城節	佐藤嘉	夏井坂	哲二
岩城秀	嶋津幹	西川本	耕明
大谷庄	杉目義	橋羽山	英良
折戸利	田井秀	本松	良次
金井英	平昌	夫樹	義昌
川崎秀	田部大	朗典	圭一
北浦浦	田中克	師山	尾純
榎引拓	田辺俊	山山	本勤
熊本努	田幸	山山	谷英
黒澤勝	トールクリステンセン	吉尾	弘

札幌大通公園RC

若い人達でも参加できるように、経済的にあまり負担がかからないクラブ作りを目指してきました。例会は夜だけ貸会議室を借り、弁当を届けてもらっています。創立8年目33才から72才平均年齢50歳のバイタリティ溢れたクラブです。

遠藤雅文	菅原秀二	橋口とも子
オイドフ・パトバヤル	高橋宏	長谷川美栄子
霜山龍志	田中利男	

札幌セントラルRC

少人数で女性会員の比率が高いと云う特徴があり、その為意思の疎通がはかりやすく、賑やかなクラブです。例会では幅広く豊富な内容の討論が行われ、会員はそれを楽しみに出席しています。外国人の卓話の機会を多くもうけて国際交流を図ったり、車いすマラソン大会に支援協力をしています。

東ミツエ	上野了	高橋逸子
荒又重雄	内山滋子	
石垣博美	小坂祥司	

新札幌RC

創立25周年を迎えました。これからも自由で柔軟な雰囲気の中で、新会員も古参の会員もそれぞれの持ち味を出せるクラブ運営を目指したいと思います。社会奉仕では「割り箸回収」、国際奉仕では、「水資源援助」などそれぞれの活動を重ねて参りました。

有田京史	清水昭子	田中由彦
伊藤豊	瀬川俊男	宮川明
梅田鉄夫	武田充広	村山亀雄

第6グループ

岩内RC

後志の日本海に面し、古くは鯨漁で栄えた町岩内を中核とした個性あふれる地域を土台に活動しています。

井戸 幸夫 野澤 幸平 広田 正
大橋 由政 東山 洋徹 吉田 栄治

倶知安RC

創立45周年を迎え、新たなクラブ運営を考える節目の時期を迎えました。会員数40名、内女性会員4名・オーストラリア会員2名です。小学生を対象とした地球環境セミナーや高校生を対象としたエネルギー有効利用研修を記念事業として企画し、又地域で有効活用できる記念品の贈呈を考えております。

旭 克久 鈴木 保昭 長谷 一
小野塚 清一 滝口 直久 古谷 眞司
斉藤 知之 名畑 圭啓 吉田 聡

小樽RC

昭和8年札幌ロータリークラブをスポンサーに、日本で10番目のクラブとして創立され、昨年75周年を迎えました。先輩が築いてきた歴史と伝統を継承しつつ、今年度からCLPの実践により、時代にあったクラブ作りに取り組んでいます。また「例会は心のオアシス」をモットーに楽しい例会作りを目指しています。

飴谷 佳一 西條 文雪 半田 善行
海老名 敏男 坂田 道昭 平松 正人
遠藤 友紀雄 佐藤 慶一 堀岡 秀之
小川 修生 清水 雅章 松倉 弘
笠間 茂 下中 博文 三浦 雅彦
金久保 兵士郎 末永 通山 田雅敏
熊澤 隆樹 谷内 馨一
菰田 尚正 秦 健一郎

小樽南RC

創立50周年を迎えます。スポンサーの小樽クラブ、第2510地区の皆様はじめ関係者の方々に深く感謝致します。先輩諸氏が、奉仕と友情を目的に礎を築き、永年に亘り良き友情を育んできました。いま時代を超えて「相互理解」「思いやり」の心を継承して参ります。

東 慶広 加藤 正幸 廣部 隆夫
荒田 一正 斎田 義孝 福島 正紘
石崎 悦子 坂口 栄一 本間 彰
板垣 明 柴田 達朗 松浦 光紀
大橋 弘 千葉 峻三 見延 庄三郎
岡崎 芳明 浜口 貞雄 山吹 啓之
小笠原 俊介 広瀬 保男

小樽銭函RC

創立34年を迎える会員数は23名の小規模クラブです。周辺地域は小樽市の重要な工業地域になっていますが、札幌市手稲区と隣接するがゆえに、周辺の小規模商店の空洞化も進んでいるのが現況です。この不況下、会員増強もままなりません、会員一同、一致団結しクラブ運営にあたっています。

上村 百合子 多田 武夫 藤中 博文
江刺家 俊輔 濱田 洋幸 松倉 正広
笈川 長生 藤川 正二 村田 昌敬
斉藤 芳男 藤田 政昭

蘭越RC

会員数9名の少人数クラブです。会員が少ないので活動は全員で当たります。高齢者施設や、児童福祉施設への慰問、また子供たちの文化活動も支援し小倉百人一首大会への協力など地域に根ざしたクラブ活動を行っています。小さいクラブですが、地区委員を輩出するなど積極的なクラブです。

佐藤 義久 志比川 武本 間義明
白石 勇

余市RC

余市は果実の生産と優秀な水産加工品が数多くある立地に恵まれた土地柄です。わがクラブは30代40代がメンバーの約3割と将来を担う会員が多くおります。また女性会員も4名と活気あふれるクラブです。来年は50周年という大事な節目の年でもあり、まさにベテランと若手がうまくかみ合っているクラブです。

川向 基紀 寺山 淳子 本多 宏行
木村 信一 中井 克雄 森 義彦
清水 義信 林 正秀 安田 貞夫
高見 祐司 土方 敬久 柳田 貞夫
竹内 俊彦 北條 久篤 吉原 伸
谷川 淑郎 彫 谷 吉英



第7グループ

千歳RC

1968年創立以来、交換留学生やロータクトクラブ提唱、プロバスクラブ支援など地域に根付いた幅広い奉仕活動を重ねてきました。しかし、ピーク時に128名だった会員数が現在では58名と半分以下に減るなど転機を迎えています。今年度は、会員個々の意欲を喚起しようと「浩然の気～ロータリアンは茄子の花」の会長テーマを掲げ、他団体とも連携した魅力ある活動を展開していきます。

浅沼廣幸	佐々木昭	中村堅次
今村静男	佐々木金次郎	中山和朗
岩崎暉久	佐藤晴一	羽山昇蔵
大西信也	佐藤秀雄	平岡伸弘
加藤武仁	下藤徹哉	宮本伸司
川端清末	廣廣孝	本宮輝久
木村照男	瀧澤順久	山田睦雄
今野良紀	長澤邦雄	

千歳セントラルRC

「チャレンジ精神で地域づくりに貢献する」を基本骨子とし、①市民協働 ②アイドリングストップ啓発運動 ③ロータリーふれあい農園 ④緑化推進事業 など、2年前にスタートしたCLP基本理念である事業の継続性に沿った形で、これらのプロジェクトを推進してまいります。

井上英幸	佐々木俊哉	羽芝涼一
大野馮也	須藤丈彦	坂坂忠敏
柏田欣也	高塚信和	松坂敏之
斉藤博司	田口廣	
坂井治	土居栄治	

恵庭RC

今年は創立40周年ですので会員数も40名以上を目標にしています。「青少年育成」のため独自の募金積立をしており、地元に着した、子供相撲大会、少年野球大会、交換留学生等幅広く活動をしています。良いところを吸収し良い環境作りに努めて、退会防止及び会員増強につながるよう活動していきます。

伊藤進	鈴木毅	前田利和
大川健一	田中利富	三浦孝治
菊池勝利	中川富武	水野内光
日下健三	雛田谷武志	宮内光則
久野健等	弘中正直	村上利雄
斉藤茂生	藤井哲夫	村本満男
柴田弘道	前田元照	

北広島RC

1980年創立、現在創立会員4名を含む会員数16名。駅前公園に時計塔寄贈、バス停ゴミ入れ設置や少年野球・少年剣道・緑十字啓発少年団など…主催あるいは後援と、社会福祉のためのチャリティー活動・青少年健全育成のための支援事業・交換留学に力を入れています。

池崎正弘	斎藤	瀧馬場	信吾
石谷正敏	鈴木浩司	真木孝	男
大塚恵一	瀬川五水	宮崎	雅好
加々見盛幸	竹内	宮崎	雅好
加藤寛治	橋本		
菊地重敏	秦正		

長沼RC

小さな町から世界に目を向けて長沼クラブは創立されました。以来毎年続けている、国際交流フェスティバルは17回を数えました。今年度のガバナー公式訪問では、5年以上退会者ゼロというクラブは他に例がなく素晴らしいと、渡邊ガバナーから絶賛されました。

池内昌之	田嶋俊美	古川大之
清水彰	辻野つね子	政角勝雄
清水慧子	中舘誠治	三輪直美
高木繁秀	花輪博一	望月良典

由仁RC

17年目を迎え、会員11名と弱小クラブですが、女性会員の入会で例会も楽しく明るくなりました。昨年からの町の公園施設の草刈奉仕作業を行っていますが、継続していけるよう努めています。現在4人目の交換留学生をオーストラリアから受け入れています、帰国までのホストに全力を尽くして行きたいと思っています。

大坂直人	佐藤良恵	蜂谷光雄
後藤篤人	庄司弘	本間好道

第8グループ

えりもRC

「海の幸山の幸」いっぱいのえりも町が地域です。会員数22名の小規模で和気あいあいとしたクラブです。特に夜間例会での親睦活動は強烈です。奉仕活動は地味ながら、青少年育成、町内美化活動という地域貢献型で持続性に主眼を置いたものとなっています。平均年齢が66才で、若い会員の増強に力をいれています。

菊地竹勇 西川一郎 山内重保
旬坂将史 柳昌好

三石RC

会員数が15人と小さなクラブですが、まとまりが良く意思の疎通のとれたチームワークの良いクラブです。年に数回開催する夜間例会は大変盛況で、親交を深める格好の場となっています。そのなかでも1月のチャリティーオークションはその売上を町の図書館の図書購入費として寄付しており、今年で31年目を迎えます。

明石秀男 志田力 山田信行
榎本恵子 富永信 山田博継
亀田浄 中村一重
小島安彦 八木一洋

様似RC

1968年創立以来、地域への奉仕を主体として活動して参りました。最近は次代を担う子供たちの育成や地域の貴重な財産であるアポイ岳のジオパーク活動にも積極的に参加し、地域が元気になるような奉仕を目指して活動しています。

泉澤洋介 小嶋仁 田中正之
遠藤力治 島田一省 中村茂
川崎正春 島田武 久野俊昭
工藤仁 下條登喜夫 山本康仁

静内RC

今年39周年を迎える名誉会員2名、女性会員1名を含む会員数76名のクラブです。今年は原点に立ち返り、「出席向上とロータリーの理解」をスローガンに、明るく楽しい、魅力あるクラブづくりに取り組んでいます。

會澤 實 近藤 忠 義 平野井 繁
天野 晴 緒 佐藤 雅 裕 樋渡 裕二
嵐 田 忠 一 澁井 郁 夫 福田 義
池田 征 隆 高田 夫 達 藤沢 澄
石垣 勝 英 武 岡 大 信 藤 動 信
河田 勝 男 土井 昭 五 郎 細川 好
菊地 祥 二 富岡 豊 山 口 俊
黒澤 公 雄 中島 滋 吉 田 隆
草野 喜 昭 西村 和 夫

浦河RC

地域の「夢をかたち」にするために、今一度地域の環境を見つめ直し、34名と少人数ながら「奉仕」というロータリーの原点に立ち返り、運動を展開していきます。①地域の環境や産業文化を考え、その中から、ロータリーにふさわしい運動を実践します。②身近にある国際交流を実践します。③積極的な委員会活動をしています。

秋山靖典 小林忠雄 種本尚志
梅田和義 今林朝光 永井崇一
大谷律子 佐藤尚毅 新田一
大針道生 佐藤尚志 福士幹
大木田尚孝 蘇田又栄 前三好
久保佳幸 高杉保 廣三好
桑田美智代 武田 豊 村井正明



第9グループ

伊達RC

人口3万7千人「北の湘南」伊達はとても住み良い街です。40歳から80歳まで会員55名、とくに先輩会員は元気がよく、運営にも積極的でロータリーライフをエンジョイしております。来年6月創立50周年をお祝します。

安宅修治	川南忠三	須藤芳巳
阿部三紀夫	栗橋義徳	中嶋康
新井田孝	栗本茂生	早瀬芳泰
伊藤金蔵	佐久間重行	平口泰研
小野寺隆之	笹木俊治	福井者賢
堅田進	菅木啓一	武山崎満
川岸洋一	鈴木	

室蘭RC

「ロータリーの活動はあなたの手で、英知ある行動を進めよう」をテーマに、原点に戻り、思いやりと優しさを持ち、市民との交流を第一に考え、地域社会との一体化を目指して、楽しく活動していきたいと思っています。会員みんなで会員増強にも力を注ぎます。

飯尾哲也	斉藤修弥	平野和典
鴨井清貴	佐藤一彦	松田敏司
亀田健司	佐藤知雄	村井敦政
菊入剛	濱中實	吉澤政彦

室蘭東RC

来年度創立50周年を迎えます。会員数は現在39名と会員減少と高齢化の荒波が押し寄せてきていますが、半世紀に渡り、諸先輩が築いた奉仕の伝統を引き継ぎ、様々な活動を展開しています。室蘭大谷高校インターアクトクラブを長い間支援し、地域の様々な悩み相談「あれこれなんでも相談」を毎年開催しています。

北村則男	奈良泰哉	矢萩富士雄
黒田秀雄	板東晃	遊佐潤
小熊達也	真柄優子	
佐々木彰夫	松永英樹	

室蘭北RC

今年で38周年を迎える室蘭3クラブの中では一番若いクラブです。平均年齢63歳、会員数37名、女性会員3人は各委員会の中核として活動し、クラブの元気の一因です。みんなの力を結集し「ときめきのある」クラブを目指し、会員増強、継続事業の献血運動、知利別川の清掃、水の浄化運動を実践します。

及川力	斎藤泰成	西尾静枝
加藤栄吉	笹谷豊明	野村滋
川田寿之	澤山豊廣	瀬瀨禎
川本康裕	志水朋子	松島茂
齋藤俊一	菅原悦子	村井乙
齋藤崇	附田博	

登別RC

日本屈指の温泉地を擁する登別クラブは、本年12月に創立40周年を迎えます。その記念すべき新年度に、会員31名中唯一の女性会員が、第9グループ初の女性会長となり華を添えています。早くも、女性ならではの細やかな感性を生かした奉仕活動を計画・実践しているところです。40年の歩みを再確認し、更なる発展を目指します。

石井憲一	斎藤正史	増田千工子
石田佳久	高岸満則	山瀬隆幸
上田博子	高橋恒夫	若木日出男
遠藤征子	千葉泰二	和田浩一
遠藤秀雄	仲川弘誓	

洞爺湖RC

今年創立40周年の節目を迎えました。例会日には各週ともロータリーソングのほかに「洞爺湖ロータリーの歌」「哀愁の洞爺湖」「洞爺湖畔の夕日に」「洞爺湖畔の誓い」「洞爺湖みれん」と、ご当地ソングを歌います。

秋田昌昭	川南明則	三浦昭三
阿野康春	前谷休市	吉田聡



第10グループ

函館RC

10月24日の創立75周年式典・祝賀会・記念事業等の準備に、会員一丸となって取り組んでいます。歴史と伝統に甘んずることなく次なる80周年に向けて、理事会を先頭にクラブの継続発展の為に、変化・対応を模索しています。

石橋 多喜雄	坂本 修康	藤井 方雄
稲荷 康弘	佐藤 公郎	松田 俊司
白木 哲人	柴田 繁男	松本 秀雄
遠藤 正二	菅野 剛造	宮崎 昌昌
加賀谷 聰徳	玉村 正吾	室田 浩三
工藤 敏夫	中山 壮一	渡邊 兼一
黒崎 敏雄	中山 浩一	渡部 禎一
小林 敏夫	南部 聖一	

函館亀田RC

年齢に関係なく、大変仲が良いクラブです。家族同士の交流も大切にし、夏の家族会、クリスマス会、ボウリング大会等を開いています。手打ソバの実演や餅つきを通しての留学生との交流や福祉施設の児童を招待してのイモ掘り体験、その他に会員の仕事をいかした「無料なんでも相談会」などを行っています。

秋田 正悦	小倉 正信	月館 正男
井上 司	金澤 浩幸	出戸 秀光
遠藤 美根雄	坂本 幸夫	前田 健二
太田 等	玉井 清治	山田 隆保

森RC

噴火湾は海産農産品の宝庫で、毛がに・かれい・帆立貝・助宗鱧は、国内はもとより海外まで、都南瓜・じゃがいも・ブルーベリー等は全国各地に出荷されています。クラブは諸先輩が築き上げた歴史のなか今年で46周年を迎え、強固な連帯を持って「奉仕の理想」に努力しています。

川邊 守	西村 正史	向中野 貴夫
近藤 宣明	平井 克宏	吉田 豊
高山 健太郎	福地 隆祐	

七飯RC

国立大沼公園・14km余の赤松並木など、風光明媚な名所を有する七飯クラブは、今年40周年を迎えます。記念事業として、昨年は「でんじろうサイエンスショー」今年七飯町へ寄贈を計画しています。また、5回目のチャリティーカレンダー市の開催を考えています。

石川 強	川又 修治	菅原 昭
上野 一義	佐藤 幸雄	

長万部RC

毛がにとかにめしの町長万部でミニクラブながら、昨年創立40周年を迎えました。

井上 正範	角 健	村松 和弘
-------	-----	-------

函館セントラルRC

創立5周年を迎え、前年度25名に対し32名となり会員増強を達成することができました。30～40代が約半数の14名と若い会員が多いクラブです。記念事業として高齢者福祉センターへのツツジの植樹、交通安全月間に交通安全啓蒙活動を行います。奉仕と親睦に重点を置き活動致します。

浅野 翼	大楠 雅彦	鍋谷 操子
飯田 義雄	葛西 功	野崎 均
伊藤 智亮	小泉 護太郎	能戸 英樹
伊藤 道雄	坂下 賢二	南 茂樹



第11グループ

江差RC

その昔北前船や鯨漁で栄え、江差追分や姥神大神宮大祭は、全国に知られます。19名と小規模クラブですが48周年を迎え、女性会員も2名となり、チャーターメンバー1名もクラブの知恵袋として活躍中です。小クラブですので、全員が役員、委員長などになって活動し、例会は話もしやすく、親睦を深めやすい雰囲気です。

赤石 智恵美 田畑 裕士 水谷 賢嗣
佐藤 英志 半澤 慎太郎

函館五稜郭RC

本年度創立40周年を迎え、来年5月記念祝賀会が開催されます。記念事業として西波止場美術館前に設立された「赤い靴の少女像」設立費の一部を寄付致しました。「五稜郭」で開催される野外劇にペリーの副官役などとして毎年参加しています。本年度も地区WCS事業への参加、各委員会活動も活発に行い、奉仕の心を持ち、地域貢献を行います。

石尾 清広 酒井 正人 中川 正光
石坂 仁 上加 淳悦 林 真彦
工藤 将幸 田嶋 英人 牧野 康宏
小林 大輔 土家 康宏 山本 能史
酒井 信子 當摩 浩平

函館東RC

今年度のクラブテーマ「変革とチャレンジ 皆でクラブの未来を創りましょう！」創立52年目にあたり、クラブ創始からの伝統である「和気あいあい」として、会員相互の友情を大切に守り、時代に沿った変革を進め、伝統の「肩肘の張らない楽しいクラブ」「会員同士の仲の良さ」を継承しています。

安保 裕一郎 佐藤 美子 宮崎 徳三郎
五十嵐 稔 田中 治 安田 信弥
池垣 信一 林 完治 古田 清一
今井 義憲 松山 茂 吉田 昇
黒島 一生 宮崎 あけみ 渡辺 友子

函館北RC

昭和39年東京オリンピックの年に生まれ46年目を迎えました。今年のテーマは「ロータリーの和を大切に」です。昨今の会員減少の例にもれず、現在会員数は30名で、チャーターメンバーと同数です。新たな心を持つ少数精鋭集団として、奉仕の理想に向かいクラブの拡大を図っていきます。

阿部 誠太 中川 洲平 松見 修二
石橋 輝夫 成田 豊南 木哲雄
泉 彰 藤田 正男 森 秀樹
小河 博保 弗田 和則 山下 清司
柴崎 晃 増田 定雄

北斗RC

2006年に上磯町と大野町が合併して出来た、海と山に囲まれた自然豊かな街北斗市です。当クラブの最大の特徴はアットホームなクラブである事です。奉仕活動は新世代を対象としたプログラムを重点的に行っています。

秋田 厚也 鈴木 憲明 増田 幸久
光 銭健三 竹原 力也 米塚 弘悦





地区大会 記念囲碁大会

囲碁大会委員長 伊藤和男 (滝川RC)

平成21年9月20日、今年度のR I 第2510地区「地区大会」プログラムの先頭を切って、記念囲碁大会が日本棋院北海道本部囲碁会館で開催された。

大会は、神部地区代表幹事および篠島地区大会実行委員長の挨拶で始まり26名の登録参加のもと、

A・Bクラスに分かれての対戦となった。

力を出し切った5時間半にもおよぶ熱戦が繰り広げられ、場所を近隣のKKRホテル札幌に移動し表彰式と懇親会が開催された。

上位の成績は次のとおり。

順位	Aクラス	Bクラス
優勝	戸井敏夫 六段 (札幌南RC)	中垣陽一 二段 (滝川RC)
準優勝	伊藤長英 六段 (苫小牧北RC)	石田実 三段 (室蘭東RC)
3位	高島英寿 六段 (札幌南RC)	戸部謙一 初段 (札幌西RC)
4位	五十嵐達明 四段 (滝川RC)	日下健三 初段 (恵庭RC)
5位	南部昭憲 四段 (札幌真駒内RC)	伊藤進 初段 (恵庭RC)

表彰式および懇親会においては、毎年度ご参加いただいている伊藤長英DPGの講評と乾杯で宴に入った。表彰式を終えると恒例の優勝者の喜びの挨拶や、次年度ホストクラブ(札幌RC)吉田副会長による次年度大会へ向けての意気込みがご披露されるなど、終始和やかなうちにも記念囲碁大会の全過程が終了した。

囲碁と言う競技は、碁石のごとく白黒をつける

真剣勝負であるが、懇親会では趣味を同じくするロータリアン同士の友情と懇親を深める「中間色」に思える。

この記念囲碁大会の開催にあたり、囲碁会館のスタッフに勿論多くの仲間にお世話になった。特に、札幌南RCの創立45周年記念囲碁大会が共催され、花を添えていただいたことに感謝したい。







地区大会記念ゴルフ大会を終えて

ゴルフ大会委員長 佐藤 茂



平成21年10月2日降水確率60パーセントの朝、今日雨が降れば何人のキャンセルが出るだろう、組合せをどうしようか、懇親会また表彰等いろいろと考えながらゴルフ場に向かうと意外と天気が持ちそうな空模様なので一安心。

始球式のボールを落下するセスナ機と地上との無線連絡をして、無事に成功し拍手喝采を頂き、パイロットの池田会員もたいへん喜んでおりました。

あとは渡邊ガバナー、川口会長の始球式を経て参加メンバーが順次スタートして行けば、とりあえずは50%の成功とっておりました。

71名のエントリーで当日は全員参加して頂き、遠くは3時間近くも車を運転して来て頂いたメンバーもおられ、心より感謝を申し上げます。最後の二組が雨に当たったのはご勘弁頂ければ幸いです。



優勝賞品「米一俵」いかがでしたか。地方からいらっしやるのに、持って帰るのが大変ではないかと思いつつ、滝川産の賞品を出したいとの思いから「滝川産ななつぼし」を選びました。

急遽、表彰式に田口良一R1会長代理がご出席戴けることになり、急なご挨拶のお願い、またプレゼンターをお願いをご快諾戴き心より感謝申し上げます。

今回会場の空知カントリークラブは山岳コースで思うようにスコアが出なかったかとは思いますが、お近くにお立ち寄りの際は地区大会を思い出して是非再度挑戦してみてください。

準備期間を含め当日早朝より集まり手伝いをしていただいた滝川RCメンバー各位に感謝いたします。ありがとうございました。

成 績 表

順位	クラブ名	氏 名	順位	クラブ名	氏 名
1	滝 川	松 尾 建 二	37	赤 平	仙 田 哲 夫
2	苫小牧	辰 巳 伸 明	38	札幌南	寺 崎 忠 雄
3	札幌手稲	宇 野 義 昭	39	三 石	亀 田 净 市
4	芦 別	荒 川 忠 義	40	岩見沢	向 田 甚 徹
5	赤 平	尾 崎 清 富	41	赤 平	宮 川 徹 清
6	赤 平	菊 島 美 孝	42	砂 川	千 葉 邦 治
7	新 札 幌	瀬 川 俊 男	43	恵 庭	中 里 邦 治
8	蘭 越	志比川 武	44	札 幌 東	朝 倉 正 人
9	砂 川	岩 淵 健 悦	45	留 萌	中 川 勝 美
10	札 幌	野 村 光 孝	46	留 萌	串 橋 伸 幸
11	砂 川	石 家 裕 二	47	新 札 幌	梅 田 鉄 夫
12	赤 平	木 村 盛 雄	48	札幌西北	小 川 眞 治
13	札 幌 東	山 口 史 朗	49	札 幌 東	川 幡 宏 一
14	新 札 幌	田 中 由 彦	50	岩見沢	嵯 峨 義 輝
15	伊 達	小野寺 隆 之	51	砂 川	高 橋 秀 明
16	札 幌 東	坂 口 孝 一	52	滝 川	篠 島 弘 樹
17	恵 庭	中 川 富 雄	53	留 萌	西 谷 英 樹
18	赤 平	佐 藤 元 紀	54	札幌西北	上 野 勝 邦
19	岩見沢	仲 屋 成 裕	55	札幌西北	三 上 直 彦
20	岩見沢	西 方 洋 昭	56	芦 別	稲 津 寿 一
21	留 萌	関 野 政 人	57	札幌西北	嶋 和 幸
22	芦 別	石 川 洋 一	58	赤 平	渡 部 芳 巳
23	札 幌	高 橋 雄 介	59	札幌西北	大 島 利 一
24	札 幌 東	八 木 徹	60	砂 川	高 橋 俊 美
25	留 萌	原 田 功	61	滝 川	宮 崎 英 彰
26	滝 川	岡 部 正 幸	62	砂 川	近 藤 俊 継
27	北 広 島	加 藤 寛 治	63	砂 川	北 谷 好 文
28	砂 川	二 橋 邦 征	64	札幌西北	久 保 隆
29	札 幌 東	菊 地 章	65	留 萌	森 俊 二
30	伊 達	栗 本 茂 生	66	赤 平	大 坂 晃
31	登 別	高 岸 満 則	67	砂 川	佐 藤 正 一 郎
32	滝 川	笹 見 孝 夫	68	留 萌	遠 藤 光 一
33	砂 川	山 田 賢 司	69	札幌西北	中 嶋 成 実
34	砂 川	鈴 井 直 作	70	札 幌 東	上 田 進 一
35	芦 別	土 山 久 男	71	苫小牧	平 木 正 一
36	恵 庭	村 本 満 男			







スパウス(配偶者)・新世代プログラム

2009年10月4日(日) 午前11時30分～午後4時00分

新世代担当委員長 山崎 修

秋風が心地良い中、スパウスと新世代で総勢55名の皆様にご参加いただきました。本会議場を予定時刻より若干遅れ気味で出発いたしました。目指すは滝川が一望できる丸加高原です。ちょうどこの時期は、チョッチャンこと黒柳朝さん(黒柳徹子さん母)の言葉がきっかけで滝川市の“市の花”となったコスモスの花が丸加高原を彩っておりました。

参加者の皆様からは滝川市中心部からこんな近くに、大自然と牧歌的な雰囲気が味わえる高原があるなんてすばらしいという感嘆のお声も頂戴いたしました。各々の皆様がコスモス畑の中で写真撮影などを楽しみながら丸加高原の景観を楽しんで頂いたようです。

その後、丸加高原伝習館にて、リストランテラ・テラの出張協力により、滝川の食材や特産を生かしたコースランチを約1時間堪能していただいた後は、皆様注目のそらぶちキッズキャンプの見学

に向かいました。このキャンプの設立のため現場の中心人物として大活躍の中佐々木健一氏にそらぶちの理念や活動内容を、スライドや動画を交えながら語っていただきました。あいにく雨天のために、昨年滝川RCもお手伝いさせていただき完成した「そらぶち木道広場」にはご案内出来ませんでしたが、そらぶちの社会的な意義などは皆様にも伝わったのではないかと思います。新生代の参加者の中には、是非ボランティアでキャンプに参加したいという方もいらっしゃいました。

雨脚が強まる中、この日最後の目的地の赤平市にある靴「いたがき」本店に見学に行きました。ここではすべての製品が自主加工ということで、靴の製造工程を皮の素材から実演を交えながら丁寧に説明をして頂きました。予定通り午後4時にはホテルスエヒロに到着いたしました。約4時間半の行程でしたが、充実したプログラムであったことと思います。





委員会ブース





地区大会 決議

【決議第1号】

『国際ロータリーのテーマを推進する件』

ジョン・ケニー国際ロータリー会長は、本年度のテーマとして「ロータリーの未来はあなたの手の中に」を示されました。我々第2510地区のロータリアンは、このテーマをよく理解し積極的に推進して、ロータリーの奉仕活動に最大限の努力を傾けることを決議致します。

【決議第2号】

『ジョン・ケニー国際ロータリー会長並びに田口良一国際ロータリー会長代理ご夫妻に感謝する件』

2009-2010年度の国際ロータリー第2510地区、地区大会を滝川市で開催するにあたり、ジョン・ケニー国際ロータリー会長は会長代理として田口良一・バスター・ガバナーを派遣されました。同氏は令夫人絢子様と共に本大会にご臨席下さり、ジョン・ケニー国際ロータリー会長のメッセージを伝えられ、さらに国際ロータリーの現状についてのご講話と共に格調高い所感を表明され、大会参加者に多大な感銘を与えられて本大会を成功へと導かれました。

本大会はジョン・ケニー国際ロータリー会長に心からの謝意を表すると共に田口良一国際ロータリー会長代理ご夫妻に記念品を贈り、感謝と敬意を表することを決議致します。

【決議第3号】

『2008-2009年度の地区資金収支報告並びに監査報告を採択する件』

2008-2009年度の地区資金収支報告並びに監

査報告は別紙の通りであります。

本大会は国際ロータリー細則第15条第6節第4項の規定に則り、正式に採択することを決議致します。

【決議第4号】

『国際ロータリー第2510地区直前ガバナー矢橋温郎氏に感謝する件』

2008-2009年度地区ガバナー矢橋温郎氏は、李東建直前国際ロータリー会長のテーマ「夢をかたちに」を地区内ロータリアンの理解に努められ、ご在任中は当地区のロータリーのリーダーとしてその卓越した手腕をロータリーに対する情熱を持って激務を見事に果たされました。

よって本大会は同氏の功績をたたえ、深甚なる謝意を表することを決議致します。

【決議第5号】

『会員増強と退会防止及びクラブ拡大を推進する件』

当地区のロータリアンは、ジョン・ケニー国際ロータリー会長が本年度の最優先事項として掲げられた会員増強と退会防止およびクラブ拡大を一層推進することを決議致します。

【決議第6号】

『ロータリー財団の寄付増進に協力する件』

国際ロータリーのロータリー財団はロータリー活動の大きな柱の一つであります。

当地区の全てのロータリアンは国際理解、友好、親善、人道的援助の願いを込めて、「毎年あなた

も100ドルを」というロータリー財団の寄付増進に協力することを決議致します。

【決議第7号】

『(財)ロータリー米山記念奨学会の寄付増進に協力する件』

(財)ロータリー米山記念奨学会は日本のロータリー活動の大きな柱の一つであります。

当地区の全てのロータリアンは国際理解、友好、親善の願いを込めて、(財)ロータリー米山記念奨学会への寄付増進に協力することを決議致します。

【決議第8号】

『地域社会に対する奉仕活動を推進する件』

ジョン・ケニー国際ロータリー会長は地域社会への奉仕を積極的に遂行することを強調事項にあげています。又、小児ガンと闘う子どものための自然体験施設「そらぶちキッズキャンプ」に全面的に支援することは本年の地区重要課題であります。本大会はそらぶちキッズキャンプに一層の協力をすることと支援金の寄贈することを決議致します。

【決議第9号】

『モントリオール国際ロータリー大会への参加を推進する件』

2010年6月20日～23日にカナダ・モントリオールにおいて開催される国際大会に、当地区会員並びにご家族の積極的な参加を推進することを決議致します。

【決議第10号】

『次期地区大会開催に関する件』

2010-2011年度国際ロータリー第2510地区、地区大会は札幌ロータリークラブをホストクラブとして札幌市において開催することを決議致します。

【決議第11号】

『地区大会ホストクラブに感謝する件』

2009-2010年度国際ロータリー第2510地区、地区大会がホテルスエヒロ、滝川ホテル三浦華園、たきかわ文化センターにおいて開催され、多くの成果を収めつつあることは、滝川ロータリークラブの周到なる準備と会員とご家族のご協力の賜であります。

よって本大会はここに深甚なる謝意を表することを決議致します。



地区資金収支決算書 (2008-2009年度)

■一般地区資金

収入の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	実 績 額	差 額	摘 要
1. 前期繰越金	18,704,043	14,906,935	3,797,108	
2. 一般地区資金 上期 @4,730	13,717,000	13,319,680	397,320	2,816名
同 上下期 @4,730	13,717,000	13,362,250	354,750	2,825名
3. R I 助成金	2,400,000	2,702,671	△302,671	
4. ガバナー月信購読料	2,555,000	2,408,000	147,000	688冊
5. 雑収入	100,000	22,125	77,875	受取利息
収 入 合 計	51,193,043	46,721,661	4,471,382	

支出の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	実 績 額	差 額	摘 要
A. 地区大会				
1. 地区表彰費	500,000	500,000	0	
2. ガバナー記念品費	100,000	100,000	0	
Aの部 小 計	600,000	600,000	0	
B. 助成金				
1. 地区協議会	800,000	800,000	0	
2. 都市連合会 (I M)	0	0	0	
3. 会長エレクト研修セミナー	400,000	400,000	0	
4. 地区指導者育成セミナー	100,000	100,000	0	
5. 地区チーム研修セミナー	350,000	350,000	0	
Bの部 小 計	1,650,000	1,650,000	0	
C. 負担金				
1. ガバナー会	580,000	564,100	15,900	@100*5,641名
〳 (平和奨学生支援金)	43,500	42,375	1,125	@15*2,825名
〳 (RIJYEC維持協力金)	290,000	281,600	8,400	@100*2,816名
2. 日本ロータリー文庫	870,000	846,150	23,850	@150*5,641名
Cの部 小 計	1,783,500	1,734,225	49,275	
D. 会議費				
1. 地区ガバナー指名委員会	200,000	138,120	61,880	
2. 地区ガバナー諮問委員会	500,000	305,142	194,858	
3. 地区ガバナー補佐会議	1,000,000	788,985	211,015	
4. 地区委員長会議	400,000	383,677	16,323	
5. 地区研修リーダー会議	30,000	0	30,000	
6. 地区クラブ奉仕委員会	100,000	54,815	45,185	
7. 地区 I C 委員会	150,000	150,000	0	
8. 地区拡大委員会	30,000	0	30,000	
9. 地区会員増強委員会	50,000	50,000	0	
10. 地区職業奉仕委員会	50,000	50,000	0	
11. 地区社会奉仕委員会	300,000	213,000	87,000	
12. 地区新世代委員会	100,000	0	100,000	
13. 地区インターアクト委員会	150,000	150,000	0	
14. 地区ローターアクト委員会	150,000	150,000	0	
15. 地区青少年交換委員会	400,000	400,000	0	

支出の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	実 績 額	差 額	摘 要
16. 地区国際奉仕委員会	300,000	300,000	0	
17. 地区世界社会奉仕委員会				
18. 地区国際友好委員会	0	0	0	廃止
19. 地区ロータリー財団委員会	60,000	71,760	△11,760	
20. 地区国際親善奨学金委員会	50,000	50,000	0	
21. 地区G S E委員会	50,000	50,000	0	
22. 地区財団学友委員会	50,000	50,000	0	
23. 地区補助金委員会	20,000	20,000	0	
24. 地区米山記念奨学委員会	30,000	30,000	0	
25. 地区米山学友委員会	30,000	30,000	0	
26. 地区財務委員会	20,000	0	20,000	
27. 地区オン・ツー・パーミンガム委員会	50,000	50,000	0	
28. 地区意義ある業績賞選考委員会	20,000	0	20,000	
29. その他委員会	100,000	0	100,000	
30. 予備費	160,000	0	160,000	
Dの部 小 計	4,550,000	3,485,499	1,064,501	
E. 旅 費				
1. ガバナー会	150,000	190,560	△40,560	2回開催
2. パストガバナー会	500,000	433,420	66,580	東京開催
3. ロータリー研究会	1,250,000	1,130,380	119,620	東京開催
4. ガバナーエレクト国際協議会	700,000	700,000	0	
5. 全国ガバナーエレクト会議	150,000	244,840	△94,840	
6. 全国地区連絡会議	400,000	349,020	50,980	全国青少年交換委員長会議、 財団地域セミナー、全国研 修リーダー会議
7. その他会議	250,000	246,660	3,340	RI会長主催会議、識字率向上セミナー
Eの部 小 計	3,400,000	3,294,880	105,120	
F. ガバナー事務所費	14,581,000	9,048,652	5,532,348	
G. ガバナーエレクト事務所費	4,800,000	4,800,000	0	
H. ガバナー月信発行費	3,800,000	3,793,393	6,607	13回発行
I. ガバナー公式訪問費	1,200,000	1,119,470	80,530	
J. 地区文献資料室費	1,050,000	868,680	181,320	
K. 地区I C活動費	530,000	472,527	57,473	
L. 総予備費	200,000	0	200,000	
M. 臨時支出金	0	0	0	
支 出 合 計	38,144,500	30,867,326	7,277,174	
次 期 繰 越 金	13,048,543	15,854,335	△2,805,792	
総 計	51,193,043	46,721,661	4,471,382	



■特別地区資金

収入の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	実 績 額	差 額	摘 要
1. 前期繰越金	4,877,357	4,973,583	△96,226	
2. 特別地区資金 上期 @3,820	11,078,000	10,757,120	320,880	2,816名
同 上 下期 @3,820	11,078,000	10,791,500	286,500	2,825名
3. 雑収入	0	0	0	
収 入 合 計	27,033,357	26,522,203	511,154	

支出の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	実 績 額	差 額	摘 要
A. 負担金				
1. 地区大会	5,336,000	1,255,562	4,080,438	
2. 地区協議会	3,230,600	3,230,600	0	
Aの部 小 計	8,566,600	4,486,162	4,080,438	
B. 事業費				
1. 地区インターアクト事業費	1,258,600	1,258,600	0	
2. 地区ローターアクト事業費	1,618,200	1,618,200	0	
3. 地区新世代活動事業費	327,700	0	327,700	
4. 地区青少年交換事業費	3,903,400	3,503,400	400,000	
5. 地区社会奉仕事業費	107,300	50,000	57,300	
6. 地区世界社会奉仕事業費	1,583,400	1,583,400	0	
7. 地区財団奨学生事業費	548,100	548,100	0	
8. 地区G S E事業費	849,700	806,041	43,659	
9. 地区財団学友事業費	139,200	139,200	0	
10. その他の地区事業費	353,800	200,000	153,800	
11. 世界平和奨学金事業費	37,700	0	37,700	
12. 予備費	2,862,300	90,096	2,772,204	
Bの部 小 計	13,589,400	9,797,037	3,792,363	
C. 規定審議会代議員費	0	0	0	
D. 臨時支出金	0	0	0	
支 出 合 計	22,156,000	14,283,199	7,872,801	
次 期 繰 越 金	4,877,357	12,239,004	△7,361,647	
総 計	27,033,357	26,522,203	511,154	

第2510地区資金次期繰越金

科 目	前期繰越金	本年度収入	収入合計	本年度支出計	次期繰越金
一般地区資金	14,906,935	31,814,726	46,721,661	30,867,326	15,854,335
特別地区資金	4,973,583	21,548,620	26,522,203	14,283,199	12,239,004
第2510地区資金合計	19,880,518	53,363,346	73,243,864	45,150,525	28,093,339

ガバナー事務所費の内訳細目

科 目	予算額	2007-2008 実績額	2008-2009 決算額	総合計	差 額
2007-2008年度一般地区資金	4,800,000	3,010,785		3,010,785	1,789,215
2008-2009年度一般地区資金	14,581,000		10,837,867	10,837,867	3,743,133
合 計	19,381,000	3,010,785	10,837,867	13,848,652	5,532,348

支出の部

科 目	予算額	2007-2008 実績額	2008-2009 決算額	総合計	差 額
1. 給与手当	5,000,000	500,000	3,580,650	4,080,650	919,350
2. 家賃・光熱費	3,700,000	500,000	1,797,430	2,297,430	1,402,570
3. リース料	855,000	0	549,502	549,502	305,498
4. 事務用品費	540,000	159,646	202,470	362,116	177,884
5. 印刷費	1,000,000	206,220	442,050	648,270	351,730
6. 登録料など負担金	650,000	134,000	325,000	459,000	191,000
7. 会議費	900,000	306,492	430,343	736,835	163,165
8. 通信費	700,000	37,000	508,780	545,780	154,220
9. 旅費交通費	900,000	340,220	213,520	553,740	346,260
10. 渉外費	650,000	10,000	344,220	354,220	295,780
11. 資料費	500,000	285,204	65,770	350,974	149,026
12. 備品費	336,000	0	0	0	336,000
13. 地区要覧費	700,000	0	634,461	634,461	65,539
14. ガバナー補佐事務費	1,200,000	0	1,200,000	1,200,000	0
15. 雑費	1,500,000	532,003	543,671	1,075,674	424,326
16. 予備費	250,000	0	0	0	250,000
合 計	19,381,000	3,010,785	10,837,867	13,848,652	5,532,348



第1. 決算書注記

1. 地区資金クラブ負担金の収受にかかる地区内会員数は次の通りです。

(1)会員数 上期 2,816名 下期 2,825名

(2)会員1人当たり負担額

上期 一般地区資金 4,730円 特別地区資金 3,820円

下期 〃 4,730円 〃 3,820円

2. ガバナー月信購読料 年間購読料@3,500円（13回発行、有料購読者数688冊）

3. 収入の部及び支出の部において予算額を上回った科目には△を付記しました。

第2. 資金区分別概要

1. 一般地区資金

(1)収入の部

①地区内会員数の大幅減少（予算比：上期84名、下期75名）のため、会員負担金収入は予算に対して下記の通り減収となりました。

上期 397,320円

下期 354,750円 合計 752,070円

②ガバナー月信購読者の減少により147,000円減収の2,408,000円となりました。

③前期繰越金は予算額より3,797,108円少ない14,906,935円となりました。

(1)支出の部

①会議費について、ロータリー財団委員会が支出超過しておりますが、他は予算通りに支出しております。

②旅費について、ガバナー会と全国ガバナー・エレクト会議が支出超過しております。旅費その他会議支出分については、R I 会長主催会議、識字率向上セミナーに支出しております。

③ガバナー事務所費の内訳細目には、ガバナー・エレクト事務所費を含む総額について計上しました。

ガバナー・エレクト事務所費はガバナー補佐研修セミナー、地区チーム研修セミナー、会員増強セミナーの支出超過分174,110円を会議費として計上しておりますが、ガバナー・エレクト事務所費は予算より1,789,215円支出を削減することができ、またガバナー事務所費も前年度ガバナー事務所を継続して使用することによって、予算対比3,743,133円の節減となりました。

上記の結果、収入合計金額46,721,661円から支出合計金額30,867,326円を差引いた15,854,335円を次年度に繰越しました。

2. 特別地区資金

(1)収入の部

①会員数の減少により特別地区資金も下記の通り大幅減収となりました。

上期 320,880円

下期 286,500円 合計 607,380円

②地区大会より負担金4,080,438円が剰余金として返金されました。

③前期繰越金は予算額より96,226円多い4,973,583円となりました。

(2)支出の部

①その他の地区事業費は地区米山学友委員会に50,000円、韓国第3700地区との交流補助として150,000円を支出しました。

②予備費より地区インターアクト委員会事業費の不足分90,096円を支出しました。

上記の結果、収入合計金額26,522,203円から支出合計金額14,283,199円を差引いた12,239,004円を次年度に繰越しました。

地区資金収支報告

別紙の通り地区資金収支決算書を提出します。

2009年9月10日

国際ロータリー第2510地区 2008-2009年度

地区代表幹事 大金武夫

国際ロータリー第2510地区 2008-2009年度

地区財務委員長 北島清

地区資金収支決算書監査報告

別紙の地区資金収支決算書について監査の結果、適正であると認めます。

2009年9月10日

国際ロータリー第2510地区 2007-2008年度

ガバナー 酒井正人



地区年次大会収支決算書 (2008-2009年度)

収入の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	実 績 額	摘 要
登 録 料	21,000,000	23,520,000	会員 1,568名×15,000円
	2,200,000	1,800,000	晩餐会 180名×10,000円
	1,150,000	915,000	囲 碁 25名×5,000円 ゴルフ 79名×10,000円
地 区 分 担 金	700,000	700,000	一般地区資金
	5,337,500	5,336,000	特別地区資金
新 世 代	0	280,000	56名×5,000円
家 族 会 費	500,000	500,000	50名×10,000円
雑 収 入	212,500	119,176	出店料、ゴルフチャリティなど
収 入 合 計	31,100,000	33,170,176	

支出の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	実 績 額	摘 要
総 務 部 門	4,300,000	4,098,059	
	500,000	335,205	会議費
	1,200,000	1,057,750	プログラム他印刷費
	2,200,000	1,845,370	事務費・事務所経費・通信費
	400,000	859,734	その他雑費
式 典 部 門	1,100,000	906,592	
	600,000	594,335	表彰授与品費及び感謝状・記念品
	500,000	312,257	RI会長代理ほか記念品他
登 録 部 門	1,400,000	1,039,793	
	400,000	280,298	プレート・りぼん
	1,000,000	759,495	旅費・宿泊費
会 場 部 門	6,586,000	5,877,896	
	4,586,000	4,492,700	会場設営・演出・舞台美術・展示ブース
	600,000	511,356	会場運営費
	600,000	609,000	会場美術費
	800,000	264,840	会場飲料費
行 事 部 門	12,800,000	13,159,435	
	2,150,000	2,000,000	記念講演会
		1,880,000	記念事業費、米山寄付、財団寄付
	7,250,000	7,297,635	晩餐会・懇親会
	300,000	100,000	セミナー
	400,000	237,300	スパウスプログラム
	2,300,000	1,407,000	昼食代
	400,000	237,500	アトラクション
ゴルフ・囲碁部門	1,800,000	1,225,463	
	1,500,000	905,728	ゴルフ/賞品・食事・運営費
	300,000	319,735	囲碁/賞品・食事・運営費
記 録 部 門	2,633,800	2,782,500	
	1,633,800	2,205,000	記念誌
	800,000	472,500	CD制作
	200,000	105,000	発送費・雑費
予 備 費	480,200		
支 出 合 計	31,100,000	29,089,738	

差引 4,080,438 差引残額は特別地区資金に戻し入れ

地区大会運営委員会役員

【プログラム委員会】

委員長	ガバナー	渡邊 恭久	(滝川RC)
委員		篠島 弘	(滝川RC)
委員		松原 章	(滝川RC)

【信任状委員会】

委員長	パストガバナー	酒井 正人	(函館五稜郭RC)
委員		野田 富夫	(滝川RC)
委員		中島 健	(滝川RC)

【選挙管理委員会】

委員長	パストガバナー	塚原 房樹	(札幌東RC)
委員		田中 良一	(赤平RC)
委員		杉本 勉	(砂川RC)

【決議委員会】

委員長	パストガバナー	丸山 淳士	(札幌真駒内RC)
委員		神部 洋史	(滝川RC)
委員		深澤 和範	(滝川RC)

【登録委員会】

委員長	パストガバナー	矢橋 温郎	(札幌西RC)
委員		齋木 達雄	(芦別RC)
委員		川口 義弘	(滝川RC)

【出席推進委員会】

委員長	ガバナーエレクト	佐々木 正丞	(札幌RC)
委員	ガバナー補佐	田中公一	(留萌RC)
委員	ガバナー補佐	北谷好文	(砂川RC)
委員	ガバナー補佐	嵯峨 義輝	(岩見沢RC)
委員	ガバナー補佐	荒 紀男	(札幌RC)
委員	ガバナー補佐	江口 洸	(札幌清田RC)
委員	ガバナー補佐	見延 庄三郎	(小樽南RC)
委員	ガバナー補佐	加藤 寛治	(北広島RC)
委員	ガバナー補佐	山田 博継	(三石RC)
委員	ガバナー補佐	黒田 秀雄	(室蘭東RC)
委員	ガバナー補佐	近藤 宣明	(森RC)
委員	ガバナー補佐	石橋 輝夫	(函館北RC)
委員	ガバナー補佐	菅野 嘉一	(苫小牧東RC)



地区大会実行委員会

ガバナー 渡邊 恭久 大会実行委員長 篠島 弘 大会幹事 中島 健
 大会副幹事 石黒 安雅 松原 章 細田 光人
 大会SAA 石黒 安雅 向井 辰巳 坂田 秀昭
 大会会計 細田 安人 坂本 和繁 池田 治男

【企画・調整】

明円 直志 本間 保昭

【登録・受付】

山口 清悦 藤井 照也 安立 徳章
 山本 毅 山口 恵子 安藤 井田 謙一
 奥村 敦史 末松 静夫 藤 藤田 慎一

【総務・宿泊】

川原 弘嗣 佐伯 敏和 今野 正一
 奥山 かおる

【会長・幹事会】

佐藤 佳朗 菅原 章二 宇山 昌宏
 西井 勝明 武田 晃

【指導者育成セミナー】

高山 訓正 中田 翼 林 博幸

【RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会】

松原 章 富樫 悟 塩尻 一幸
 柳 義文 池田 亨

【接待・スパウス】

米倉 慎一 鷺尾 昌法 白田 富久
 谷口 正樹

【本会議（式典）】

西村 恒則 竹田 行宏 上山 秀司
 中枝 穎司 武田 邦彦 山根 英治
 中三 浦晃裕 武田 敬止 鈴木 英也
 猪股 浩吉 田正治 鈴木 木男
 蛭原 弘福 井義昭 戎 谷 侑男

【講演会】

三品 優次 相馬 隆男 中谷 幸司
 和作 康市

【懇親会】

中島 誠一 鈴木 英光 藤岡 里美
 伊藤 藤広 岡部 正克 山本 本洋
 柳 清志 岡佐 藤野 常本 中見
 近藤 正 奥野 巧 田中 見
 岡本 皓 縄手 康照 笹 孝夫

【ゴルフ大会】

佐藤 茂 松尾 建二 竹島 義和

【囲碁大会】

伊藤 和男 小山 進 戸井 康堯
 五十嵐 達明

【記録・広報】

西田 浩二 北川 文夫 成 本 治 郎

【救援・医療】

中垣 陽一 鈴木 忠男 篠島 弘
 武田 邦彦 西村 恒則

【記録誌】

中川 一郎 松橋 和博 深澤 和範
 野田 富夫 渡辺 浩司

【新世代担当】

山崎 修 宮崎 英彰 高木 敏行



編集を終えて

人口4万人の地方小都市での地区大会。当初の不安は多くの会員が抱いておりました。

しかしながら、田口良一RI会長代理が地元出身であったことと渡邊ガバナーの卓越したリーダーシップ。さらには「そらぶちキッズキャンプ」を中心に「主張のある地区大会」となった事は後日、多くの評価をいただいたと聞いております。

さて、記録誌については、当初イメージをしていた当日配布のいわゆる記念誌とは根本的に違うというのが実感でした。挨拶や祝辞、種々な報告など大会の進行に沿って忠実に記録する事が重要との先輩の助言もありました。

当然、文字が多くなり、おもしろ味に欠ける内容となる中、ツヤのない紙質と大きめの字体を選び、少しでも読みやすくを心掛けました。パソコンと携帯電話の使えない委員長と4人のメンバー。2月頃からは大会の決算ができないとあっちこっちからお叱りの中、四苦八苦しながらも6ヶ月、なんとか発行にこぎつけました。

最後に、神部代表幹事と広小路印刷の岡村さん、このお二人の協力・バックアップがあつての発行だったと心からお礼と感謝を申し上げます。

地区大会記録誌委員長 中川記

■記録誌委員会
委員長 中川 一郎 副委員長 松橋 和博
委員 深澤 和範 野田 富夫 渡辺 浩司
実行委員会副幹事 石黒 安雅



2009～2010年度 国際ロータリー第2510地区 地区大会記録誌

平成22年5月10日発行

発行／滝川ロータリークラブ

編集／2009～2010年度 国際ロータリー第2510地区 地区大会記録誌委員会

印刷／広小路印刷株式会社

